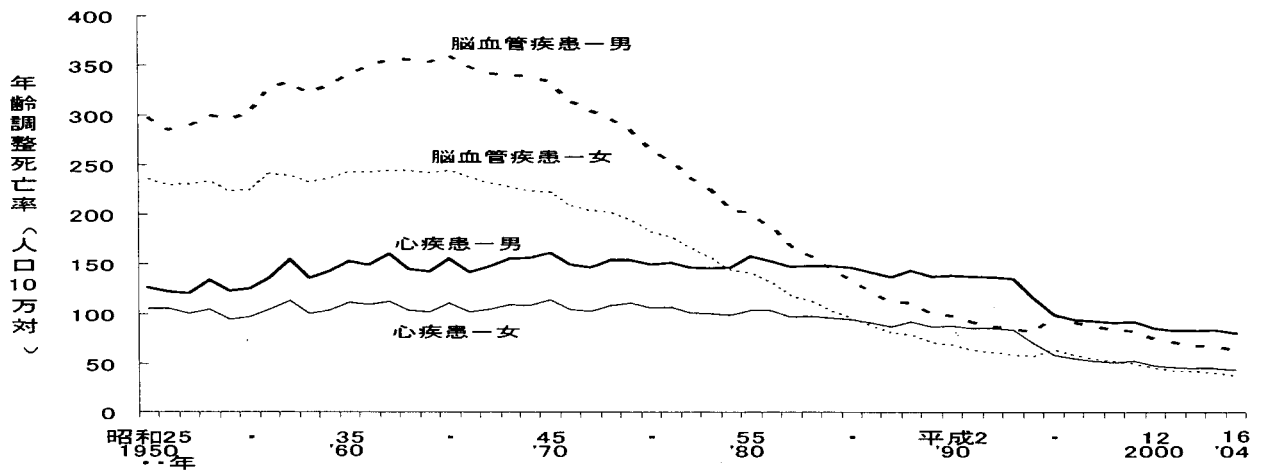


心疾患－脳血管疾患死亡統計のポイント

人口動態統計特殊報告

1 年齢調整死亡率(人口10万対)は、「心疾患」「脳血管疾患」ともに近年では低下傾向

性別にみた心疾患－脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)の年次推移



2 「心疾患」と「脳血管疾患」の死亡数を合計すると29万人で「悪性新生物」に近い

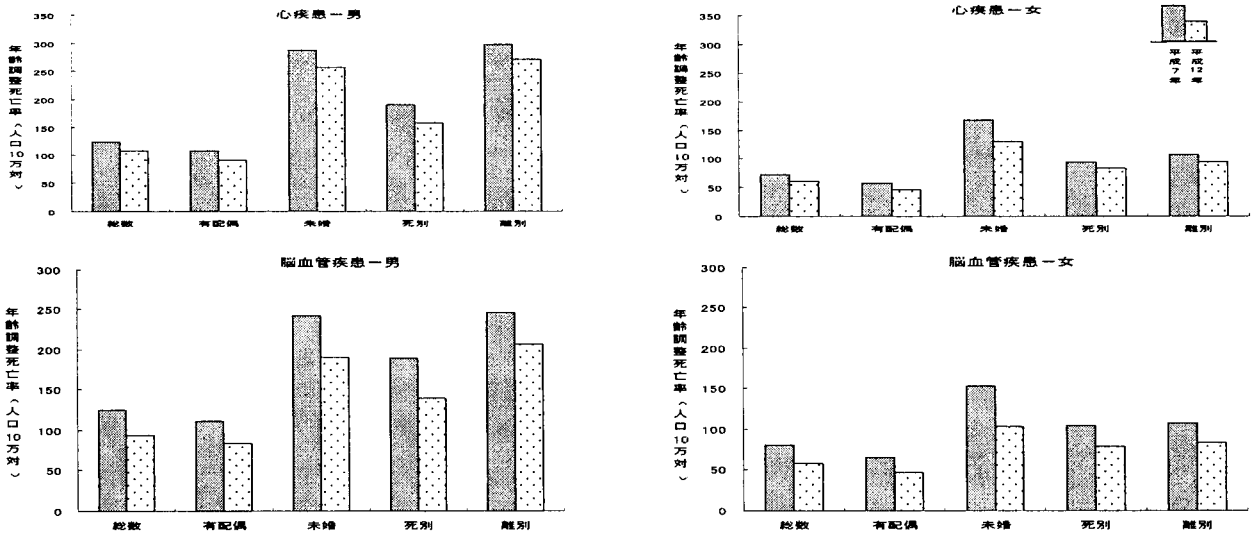
性別にみた主な死因別死亡数・粗死亡率(人口10万対)・年齢調整死亡率(人口10万対)

－平成16年－

死 因	死亡数			粗死亡率(人口10万対)			年齢調整死亡率(人口10万対)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
全死因	1 028 602	557 097	471 505	815.2	904.4	730.1	588.3	297.1
悪性新生物	320 358	193 096	127 262	253.9	313.5	197.1	202.0	99.2
心疾患	159 625	77 465	82 160	126.5	125.8	127.2	80.6	44.2
急性心筋梗塞	44 463	24 180	20 283	35.2	39.3	31.4	25.3	11.5
その他の虚血性心疾患	26 822	14 834	11 988	21.3	24.1	18.6	15.5	6.7
不整脈及び伝導障害	20 274	10 070	10 204	16.1	16.3	15.8	10.7	5.7
心不全	51 588	21 047	30 541	40.9	34.2	47.3	21.2	14.9
脳血管疾患	129 055	61 547	67 508	102.3	99.9	104.5	62.5	37.0
くも膜下出血	14 737	5 543	9 194	11.7	9.0	14.2	6.6	7.4
脳内出血	32 060	17 643	14 417	25.4	28.6	22.3	19.0	9.3
脳梗塞	78 683	36 697	41 986	62.4	59.6	65.0	35.1	19.2
肺炎	95 534	51 306	44 228	75.7	83.3	68.5	48.8	20.4
不慮の事故	38 193	23 667	14 526	30.3	38.4	22.5	28.7	11.1

3 「心疾患」「脳血管疾患」とともに「有配偶」は「未婚」「死別」「離別」に比べ年齢調整死亡率（人口10万対）が低く、平成12年は平成7年より低下

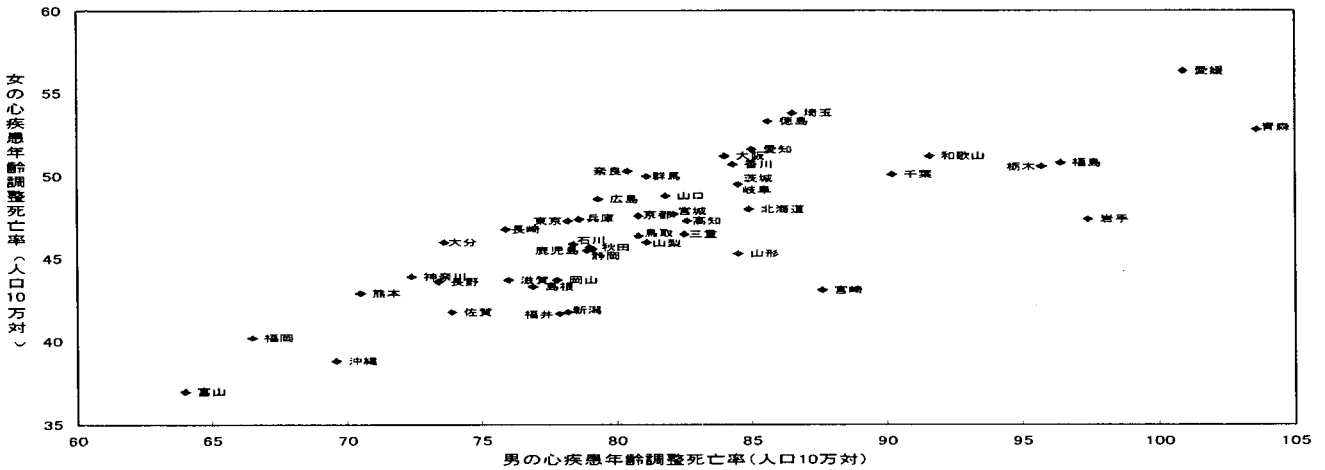
性・配偶関係別心疾患-脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)の年次比較



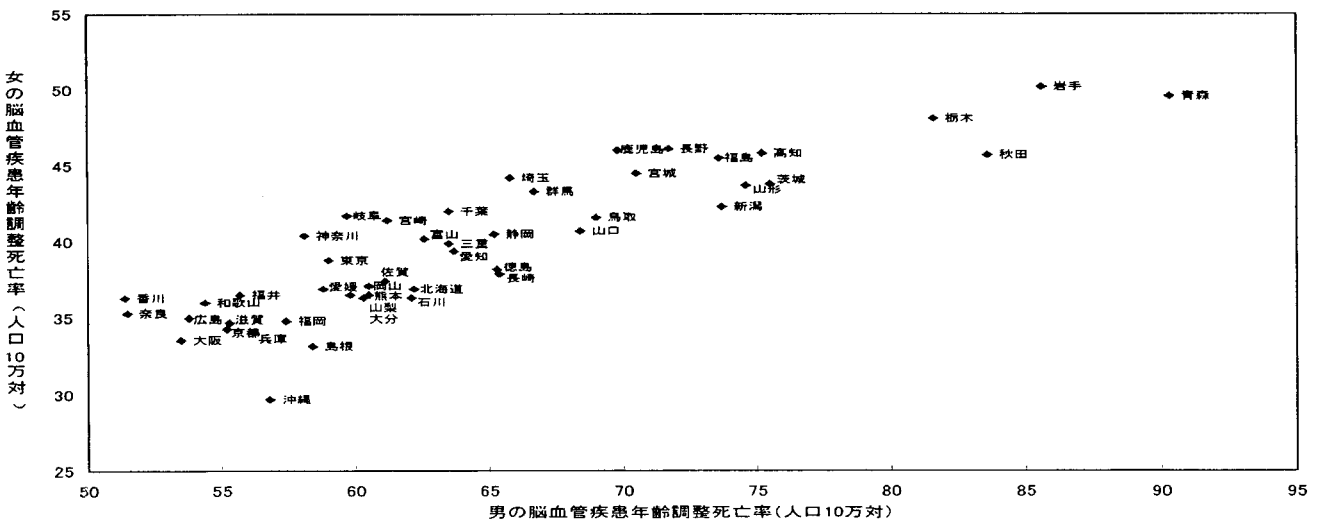
4 「心疾患」「脳血管疾患」とともに男の年齢調整死亡率（人口10万対）が高い県は女の年齢調整死亡率（人口10万対）が高い

男の年齢調整死亡率(人口10万対)と女の年齢調整死亡率(人口10万対)の関係 -平成16年-

心疾患 男一女

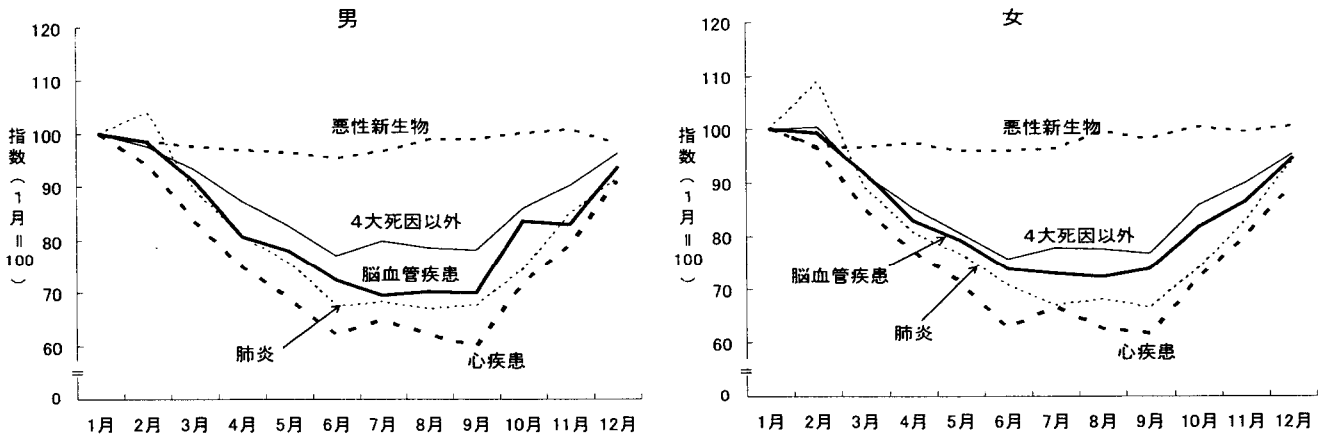


脳血管疾患 男一女



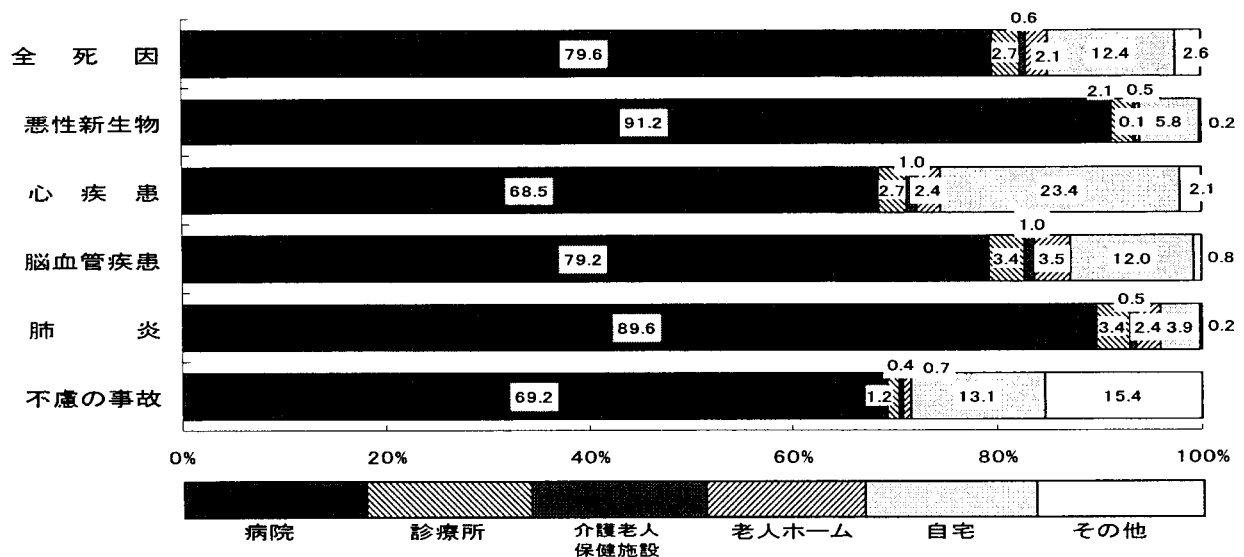
- 5 男女ともに「心疾患」「脳血管疾患」は夏季（6月～9月）に少ない、特に「心疾患」は冬季（12月～3月）と夏季の差が大きい

主な死因別にみた月別1日平均死亡指数(1月=100) - 平成16年 -



- 6 死亡の場所の構成割合はいずれの死因でも「病院」の割合が高いが、「心疾患」の「自宅」の割合は、他の死因に比べて高い

主な死因の死亡の場所別構成割合 - 平成16年 -



参考

健康フロンティア戦略

文部科学省・厚生労働省『「健康フロンティア戦略」の推進に向け取り組むべき施策について』より抜粋

施策の目標

「健康フロンティア戦略」を踏まえ、生活習慣病対策と介護予防の推進による成果について以下の数値目標を設定し、その達成を図ることにより、健康寿命を2年程度伸ばすことを目指す。

(1) 「生活習慣病対策の推進」

- がん対策 … 5年生存率を20%改善
- 心疾患対策 … 死亡率を25%改善
- 脳卒中対策 … 死亡率を25%改善
- 糖尿病対策 … 発生率を20%改善

(2) 「介護予防の推進」

- 軽度者（要支援・要介護1）の重度化予防
 - ・・・要介護2以上への移行を10%防止
- 要介護・要介護状態となることの予防
 - ・・・要支援・要介護状態にはないが、そのおそれのある者について、要支援・要介護への移行を20%防止

医療制度改革

「医療制度改革大綱」（平成17年12月1日政府・与党医療改革協議会決定）に基づき、国民が安心し、信頼できる医療を確保しつつ、国民皆保険制度を将来にわたり持続可能なものとしていくため、医療制度の構造改革を実現することとし、一連の関連法案を平成18年の通常国会に提出したところ。

この中で、治療重点の医療から、健康の維持と病気の予防に重点を置いた保健医療体系に転換を図りながら、医療費の適正化を総合的に推進していくため、平成20年度を初年度とする医療費適正化計画（5年計画）において、政策目標を掲げること等を内容とする中長期的な医療費適正化対策を盛り込んでいる。

<政策目標>

- 生活習慣病予防の徹底：生活習慣病有病者・予備群を25%減少（平成27(2015)年度）
- 平均在院日数の短縮：全国平均(36日)と最短の長野県(27日)の差を半分に縮小(同上)

心疾患－脳血管疾患死亡統計の概況

人口動態統計特殊報告

目 次

1	心疾患－脳血管疾患死亡統計について	1
2	主要死因別粗死亡率の状況	2
	(1) 年次推移	
	(2) 平成16年の状況	
3	死因順位の年次推移	3
4	粗死亡率及び年齢調整死亡率	4
	(1) 性別にみた年次推移	
	(2) 平成16年の状況	
	(3) 性・年齢階級別にみた年次推移	
5	病類別にみた心疾患－脳血管疾患死亡の年次推移	6
	(1) 性・年齢階級別にみた心疾患死亡	
	(2) 性・年齢階級別にみた脳血管疾患死亡	
6	配偶関係別にみた心疾患－脳血管疾患死亡	8
7	職業・産業別にみた心疾患－脳血管疾患死亡	10
	(1) 職業別の状況	
	(2) 産業別の状況	
8	都道府県別にみた心疾患－脳血管疾患死亡	13
	(1) 性別にみた年齢調整死亡率	
	(2) 年齢調整死亡率と65歳平均余命の関係	
9	死亡月別にみた心疾患－脳血管疾患死亡	17
	(1) 平成16年の月別1日平均死亡数	
	(2) 性・年次別の状況	
	(3) 性・年齢階級別の状況	
	(4) 性・病類別の状況	
10	死亡の場所別にみた心疾患－脳血管疾患死亡	24
	(1) 平成16年の主な死因の死亡の場所	
	(2) 病類別の状況	
	(3) 性・年齢階級別の状況	
	(4) 都道府県別の状況	
	(5) 死因別にみた年次推移	
11	入院・外来受療率との関係	29
12	諸外国との比較	32
13	統計表	34
14	参考	46

厚生労働省大臣官房統計情報部

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」

→「心疾患－脳血管疾患死亡統計の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyuu/sinno05/index.html>

1 心疾患－脳血管疾患死亡統計について

我が国では、昭和 33 年以降、「悪性新生物」「心疾患」「脳血管疾患」が三大死因となっており、平成 16 年においても、「心疾患」「脳血管疾患」は死因の第 2 位と第 3 位を占め、循環器系の疾患として死亡統計及び疾病統計上、分析対象とすべき疾患である。

現在、厚生労働省では「健康フロンティア戦略」や「医療制度改革」について全省的に取り組んでおり、生活習慣病の終末像としての「心疾患－脳血管疾患死亡」に関する基本的な分析を行い、これら政策の基礎資料とするため、初めて人口動態統計特殊報告（毎年公表している人口動態統計をもとにした報告）として「心疾患－脳血管疾患死亡統計」を取りまとめた。

「心疾患－脳血管疾患死亡」に関する特殊報告の特徴は下記の 3 点である。

- 1) 基本的な数値の取りまとめを行った。
 - 粗死亡率、年齢調整死亡率の算出
 - 性・年齢階級別の分析
 - 年次推移の観察
 - 都道府県別比較 等
- 2) 新たな分析を行った。
 - 性・年齢階級別の死亡月の分析
- 3) 他調査データとの関係について分析を行った。
 - 生命表
 - 患者調査

表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…

2 主要死因別粗死亡率の状況

(1) 年次推移

明治から現在に至る主要死因の粗死亡率（人口 10 万対）の推移をみると図 1 のとおりである。

明治から大正・昭和初期にかけては、「結核」、「肺炎」や「胃腸炎」など感染症が主であった。

「肺炎」は、大正 7～9 年にかけて「インフルエンザ」の大流行があり、その影響で高い粗死亡率を示している。

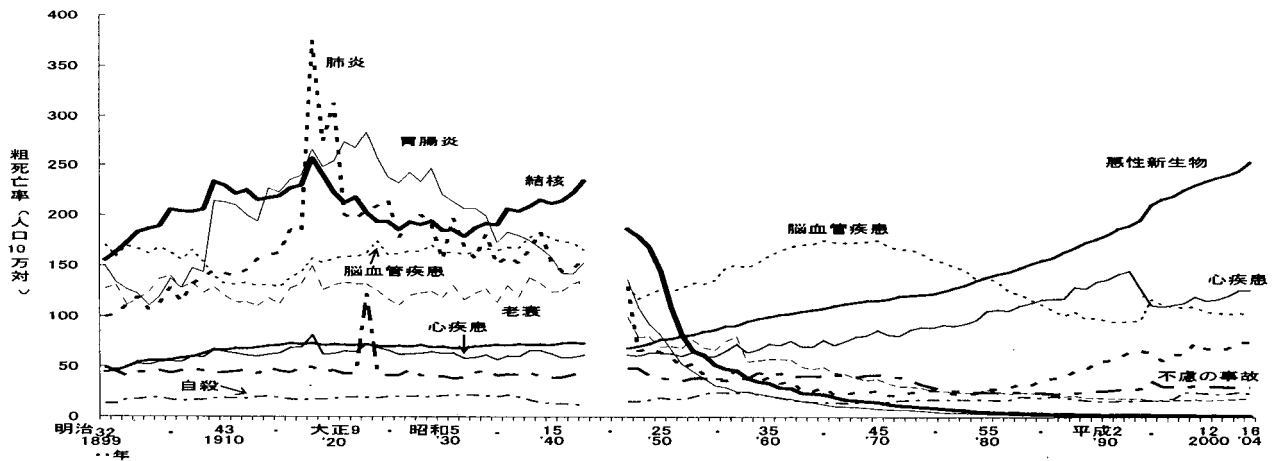
また、「不慮の事故」では、大正 12 年の関東大震災により粗死亡率が高くなっている。

その後、昭和 20 年代後半に感染症の粗死亡率は急速に低下し、かわって現在の三大死因である「悪性新生物」「心疾患」（平成 7 年以降の「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」である。以下同じ。）「脳血管疾患」が主たる死因となった。

「心疾患」は、平成 7 年 1 月施行の新しい死亡診断書において、「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響により平成 6 年に低下しているが、それ以降上昇傾向にある。

「脳血管疾患」は、昭和 40 年代をピークに低下傾向ではあるが、低下の幅は小さくなってきており、近年は低下から横ばい傾向となっている。（図 1、統計表第 1 表）

図 1 主要死因別にみた粗死亡率(人口 10 万対)の年次推移



注：平成 6 年の心疾患の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成 7 年 1 月 1 日施行)における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

(2) 平成 16 年の状況

平成 16 年の状況をみると、全死亡数 103 万人のうち、「心疾患」は 16 万人、「脳血管疾患」は 13 万人となっており、両者を合計すると 29 万人となり「悪性新生物」に近い死亡数となっている（表 1）。

表 1 性別にみた主な死因別死亡数・粗死亡率(人口 10 万対)・年齢調整死亡率(人口 10 万対) - 平成 16 年 -

死 因	死亡数			粗死亡率(人口 10 万対)			年齢調整死亡率(人口 10 万対)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
全死因	1 028 602	557 097	471 505	815.2	904.4	730.1	588.3	297.1
悪性新生物	320 358	193 096	127 262	253.9	313.5	197.1	202.0	99.2
心疾患	159 625	77 465	82 160	126.5	125.8	127.2	80.6	44.2
急性心筋梗塞	44 463	24 180	20 283	35.2	39.3	31.4	25.3	11.5
その他の虚血性心疾患	26 822	14 834	11 988	21.3	24.1	18.6	15.5	6.7
不整脈及び伝導障害	20 274	10 070	10 204	16.1	16.3	15.8	10.7	5.7
心不全	51 588	21 047	30 541	40.9	34.2	47.3	21.2	14.9
脳血管疾患	129 055	61 547	67 508	102.3	99.9	104.5	62.5	37.0
くも膜下出血	14 737	5 543	9 194	11.7	9.0	14.2	6.6	7.4
脳内出血	32 060	17 643	14 417	25.4	28.6	22.3	19.0	9.3
脳梗塞	78 683	36 697	41 986	62.4	59.6	65.0	35.1	19.2
肺炎	95 534	51 306	44 228	75.7	83.3	68.5	48.8	20.4
不慮の事故	38 193	23 667	14 526	30.3	38.4	22.5	28.7	11.1

注：粗死亡率、年齢調整死亡率については、P48「比率の解説」を参照。

3 死因順位の年次推移

死因順位の年次推移をみると、「心疾患」は、昭和30年～32年が第4位、昭和33～59年が第3位、昭和60年以降は平成7年・8年を除いて第2位と順位が上昇してきている。

一方、「脳血管疾患」は、昭和26年から「結核」にかわって第1位となっていたが、昭和56年に第2位となり、その後昭和60年に第3位となつてからは平成7年・8年を除いて第3位と順位が下降している。

性別にみると、ほぼ同様の傾向となっているが、「脳血管疾患」は、男は昭和53年、女は昭和59年から第2位となっており、「心疾患」は、男は昭和59年、女は昭和61年から第2位となっている。(表2、統計表第2表)

表2 年次別にみた死因順位(第1～5位)の年次推移

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)
総 数										
1951 昭和26年	脳血管疾患	125.2	全結核	110.3	肺炎及び気管支炎	82.2	悪性新生物	78.5	老衰	70.7
'55 30	脳血管疾患	136.1	悪性新生物	87.1	老衰	67.1	心疾患	60.9	全結核	52.3
'60 35	脳血管疾患	160.7	悪性新生物	100.4	心疾患	73.2	老衰	58.0	肺炎及び気管支炎	49.3
'65 40	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	108.4	心疾患	77.0	老衰	50.0	不慮の事故	40.9
'70 45	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	116.3	心疾患	86.7	不慮の事故	42.5	老衰	38.1
'75 50	脳血管疾患	156.7	悪性新生物	122.6	心疾患	89.2	肺炎及び気管支炎	33.7	不慮の事故	30.3
'80 55	脳血管疾患	139.5	悪性新生物	139.1	心疾患	106.2	肺炎及び気管支炎	33.7	老衰	27.6
'85 60	悪性新生物	156.1	心疾患	117.3	脳血管疾患	112.2	肺炎及び気管支炎	42.7	不慮の事故及び有害作用	24.6
'90 平成2年	悪性新生物	177.2	心疾患	134.8	脳血管疾患	99.4	肺炎及び気管支炎	60.7	不慮の事故及び有害作用	26.2
'95 7	悪性新生物	211.6	脳血管疾患	117.9	心疾患	112.0	肺炎	64.1	不慮の事故	36.5
2000 12	悪性新生物	235.2	心疾患	116.8	脳血管疾患	105.5	肺炎	69.2	不慮の事故	31.4
'04 16	悪性新生物	253.9	心疾患	126.5	脳血管疾患	102.3	肺炎	75.7	不慮の事故	30.3
男										
1951 昭和26年	脳血管疾患	126.3	全結核	121.0	老衰	85.6	悪性新生物	81.6	心疾患	64.0
'55 30	脳血管疾患	143.1	悪性新生物	94.0	心疾患	62.2	全結核	60.7	不慮の事故	56.8
'60 35	脳血管疾患	172.1	悪性新生物	111.0	心疾患	75.8	不慮の事故	64.9	肺炎及び気管支炎	53.2
'65 40	脳血管疾患	192.2	悪性新生物	122.1	心疾患	80.5	不慮の事故	63.6	肺炎及び気管支炎	40.1
'70 45	脳血管疾患	192.1	悪性新生物	132.9	心疾患	91.1	不慮の事故	65.6	肺炎及び気管支炎	37.4
'75 50	脳血管疾患	164.2	悪性新生物	140.5	心疾患	92.0	不慮の事故	45.4	肺炎及び気管支炎	36.9
'80 55	悪性新生物	163.7	脳血管疾患	142.9	心疾患	112.2	肺炎及び気管支炎	38.5	不慮の事故及び有害作用	37.0
'85 60	悪性新生物	187.4	心疾患	121.5	脳血管疾患	110.6	肺炎及び気管支炎	49.3	不慮の事故及び有害作用	36.1
'90 平成2年	悪性新生物	216.4	心疾患	135.7	脳血管疾患	95.6	肺炎及び気管支炎	70.0	不慮の事故及び有害作用	36.8
'95 7	悪性新生物	262.0	心疾患	114.4	脳血管疾患	114.2	肺炎	69.6	不慮の事故	46.3
2000 12	悪性新生物	291.3	心疾患	117.3	脳血管疾患	102.7	肺炎	76.0	不慮の事故	40.9
'04 16	悪性新生物	313.5	心疾患	125.8	脳血管疾患	99.9	肺炎	83.3	不慮の事故	38.4
女										
1951 昭和26年	脳血管疾患	124.1	老衰	107.6	全結核	100.1	悪性新生物	75.4	胃腸炎	67.1
'55 30	脳血管疾患	129.4	悪性新生物	80.3	老衰	80.0	心疾患	59.6	肺炎及び気管支炎	45.3
'60 35	脳血管疾患	149.7	悪性新生物	90.2	心疾患	70.8	老衰	70.7	肺炎及び気管支炎	45.6
'65 40	脳血管疾患	160.0	悪性新生物	95.2	心疾患	73.6	老衰	63.1	肺炎及び気管支炎	34.6
'70 45	脳血管疾患	161.4	悪性新生物	101.2	心疾患	83.1	老衰	49.2	肺炎及び気管支炎	31.1
'75 50	脳血管疾患	149.4	悪性新生物	105.2	心疾患	86.4	老衰	34.7	肺炎及び気管支炎	30.6
'80 55	脳血管疾患	136.5	悪性新生物	115.5	心疾患	100.5	老衰	35.4	肺炎及び気管支炎	29.2
'85 60	悪性新生物	125.9	脳血管疾患	113.9	心疾患	113.2	肺炎及び気管支炎	36.3	老衰	29.6
'90 平成2年	悪性新生物	139.3	心疾患	134.0	脳血管疾患	103.0	肺炎及び気管支炎	51.8	老衰	25.8
'95 7	悪性新生物	163.1	脳血管疾患	121.4	心疾患	109.6	肺炎	58.7	不慮の事故	27.0
2000 12	悪性新生物	181.4	心疾患	116.3	脳血管疾患	108.2	肺炎	62.7	老衰	23.7
'04 16	悪性新生物	197.1	心疾患	127.2	脳血管疾患	104.5	肺炎	68.5	老衰	27.8

注:1) 死因順位は人口動態統計、各種分類表の「死因順位に用いる分類項目」によるものである。

2) 昭和26～45年は、沖縄県を含まない。

3) 平成2年までの老衰は、「精神病の記載のない老衰」である。

4) 平成7年以降の「心疾患」は、「心疾患(高血圧性を除く)」である。

5) 平成7年の心疾患の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)平成7年1月1日施行における「死亡の原因欄」には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

4 粗死亡率及び年齢調整死亡率

(1) 性別にみた年次推移

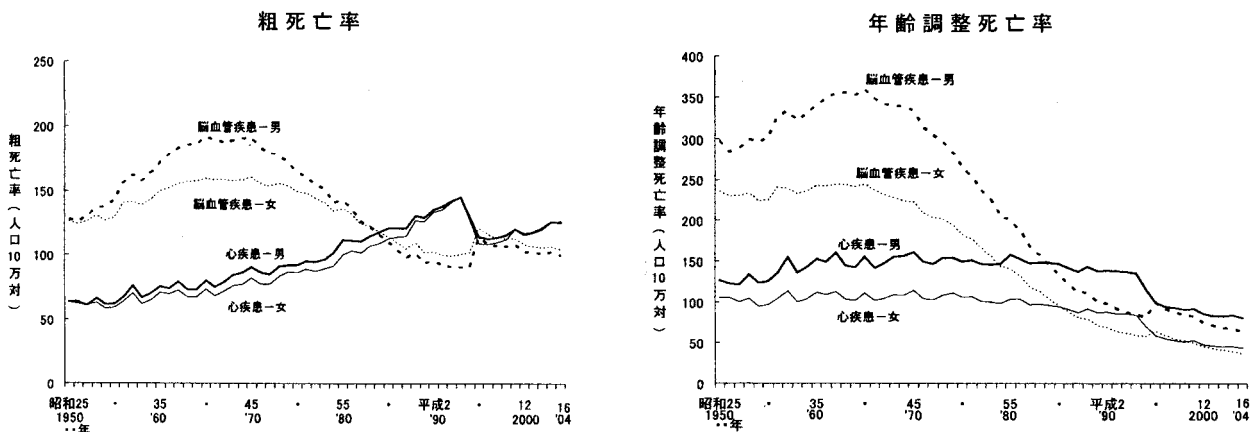
「心疾患」の粗死亡率(人口 10 万対)をみると、平成 5 年までは上昇・低下を繰り返しつつも上昇傾向となっており、平成 6 年から一旦低下したが、平成 9 年からは再び上昇傾向となっている。

「脳血管疾患」の粗死亡率をみると、男女ともに昭和 40 年代をピークに低下傾向にあり、近年は低下から横ばい傾向となっている。

「心疾患」の年齢調整死亡率(人口 10 万対)をみると、昭和 30 年代前半から上昇・低下を繰り返しつつもほぼ横ばいであったものが、平成 6 年から低下に転じている。

「脳血管疾患」の年齢調整死亡率をみると、男は昭和 40 年をピークに大きな山を形成していたが、昭和 40 年代後半から大きく低下している。近年は平成元年以降、低下の幅がやや緩やかになってきている。女は昭和 25 年以降微増傾向でなだらかな山を形成していたが、昭和 38 年をピークに大きく低下し、男と同様に近年は低下の幅が緩やかになってきている。(図 2、統計表第 3 表)

図 2 性別にみた心疾患－脳血管疾患の粗死亡率(人口 10 万対)・年齢調整死亡率(人口 10 万対)の年次推移

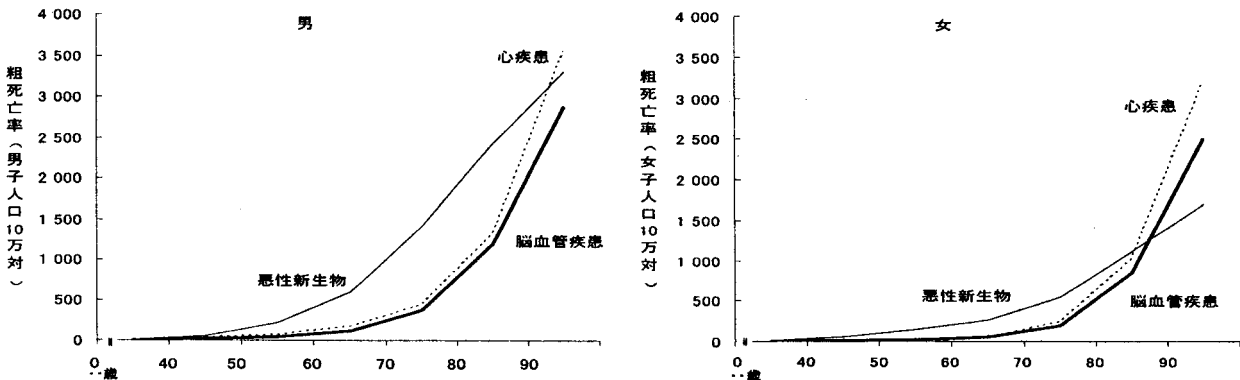


注：平成 6 年の心疾患の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成 7 年 1 月 1 日施行)における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

(2) 平成 16 年の状況

平成 16 年の三大死因の粗死亡率(人口 10 万対)を性・年齢階級別にみると、「心疾患」「脳血管疾患」は「悪性新生物」に比べ高年齢で急激に高くなっている(図 3)。

図 3 性・年齢階級別にみた三大死因の粗死亡率(人口 10 万対)－平成 16 年－



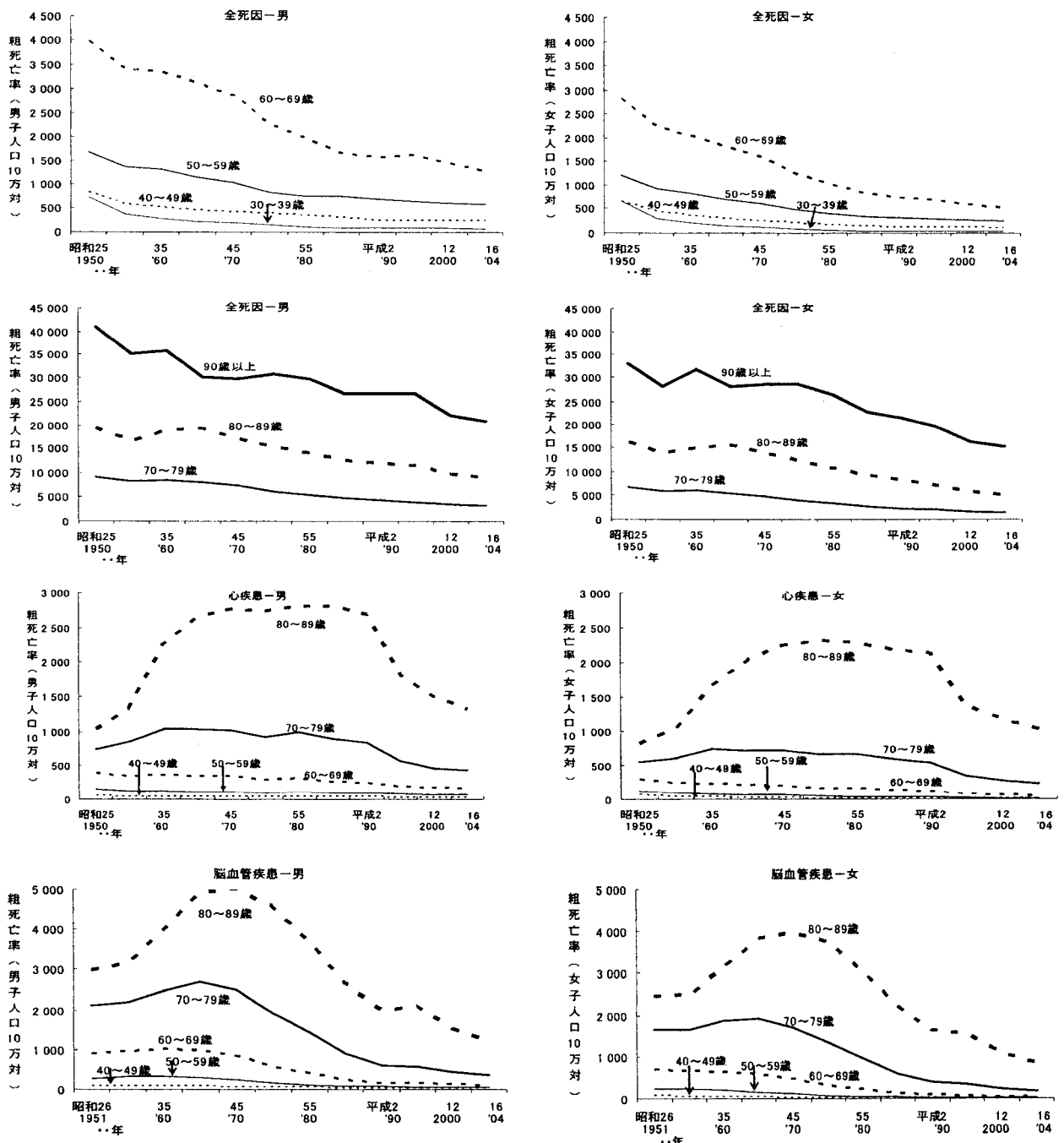
(3) 性・年齢階級別にみた年次推移

「全死因」の粗死亡率（人口 10 万対）を性・年齢階級別に年次推移をみると、男女ともすべての年齢階級で緩やかに低下傾向となっている。

「心疾患」の粗死亡率を性・年齢階級別に年次推移をみると、男女ともに 60 歳代から 80 歳代で平成 6 年に低下した後緩やかに低下傾向となっており、「脳血管疾患」は男女ともに「80～89 歳」は昭和 49 年以降、「70～79 歳」は昭和 41 年以降低下傾向となっている。

なお、「心疾患」「脳血管疾患」の「39 歳以下」「90 歳以上」については、P44・45 統計表第 4・5 表に示しているが、「39 歳以下」は数値が小さく、「90 歳以上」は数値が大きいため、図 4・5・6 では省略する。（図 4、統計表第 4・5 表）

図 4 性・年齢（10 歳階級）別にみた粗死亡率（人口 10 万対）の年次推移



注：昭和 25 年の「脳血管疾患」には、B46.b/352 の一部、B22 の後遺症及び 1 年以上経過したものを含むため、時系列観察は昭和 26 年からとした。

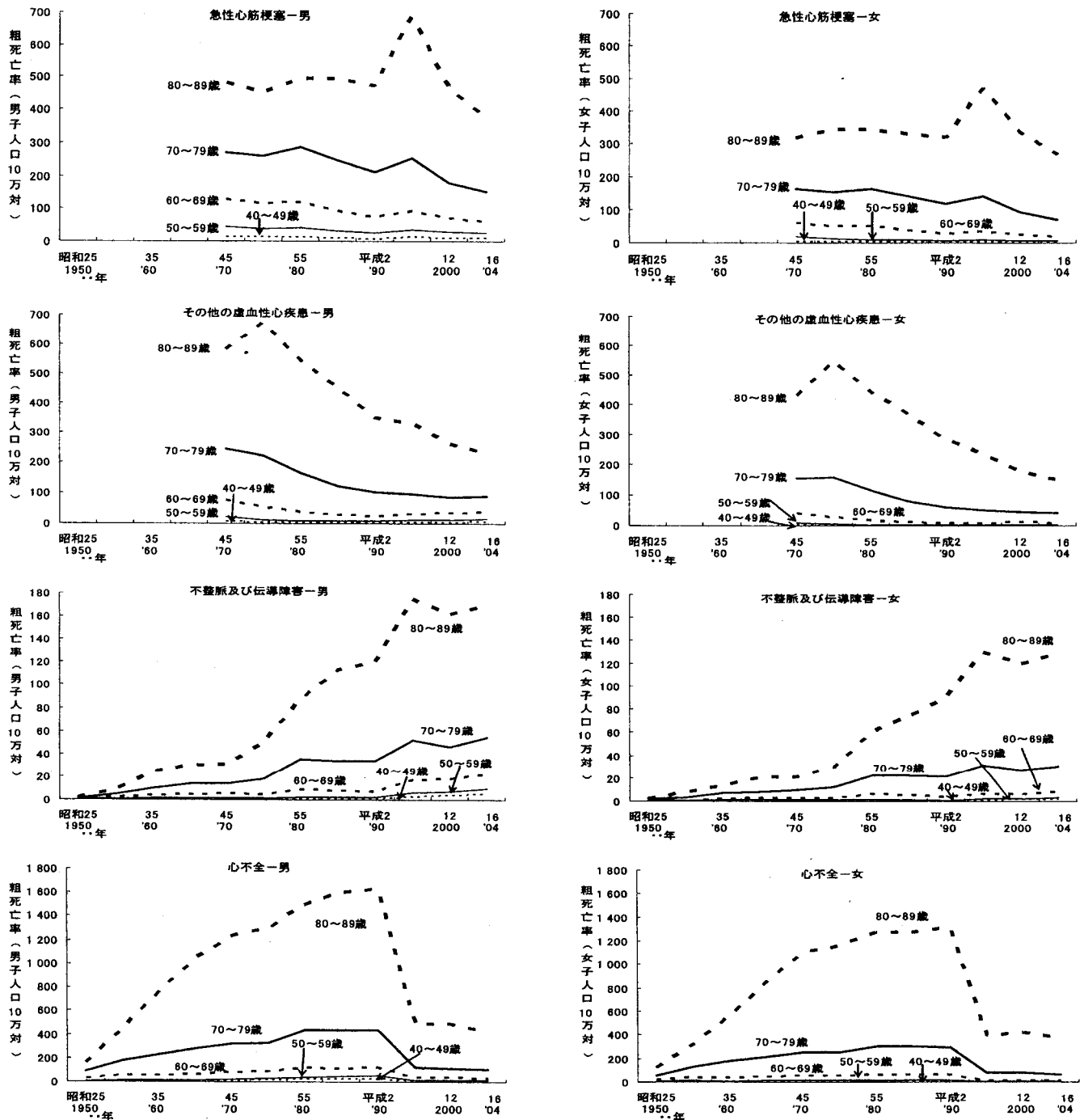
5 病類別にみた心疾患－脳血管疾患死亡の年次推移

(1) 性・年齢階級別にみた心疾患死亡

「心疾患」の病類（死因統計において選択死因と定められているもの）・性・年齢階級別に粗死亡率（人口10万対）をみると、いずれの病類においても年齢階級が高くなるにしたがって粗死亡率が高く、上昇・低下の幅も大きくなっており、性別による差はあまりみられない。

「急性心筋梗塞」は男女ともに横ばいであったものが平成6年にいったん上昇しその後低下している。「その他の虚血性心疾患」は男女ともに「80～89歳」では昭和50年以降低下傾向となっている。「不整脈及び伝導障害」は男女ともにすべての年齢階級で上昇傾向となっている。「心不全」は男女ともにすべての年齢階級で平成6年に大きく低下した後、横ばいとなっている。（図5、統計表第4表）

図5 心疾患の病類・性・年齢(10歳階級)別にみた粗死亡率(人口10万対)の年次推移

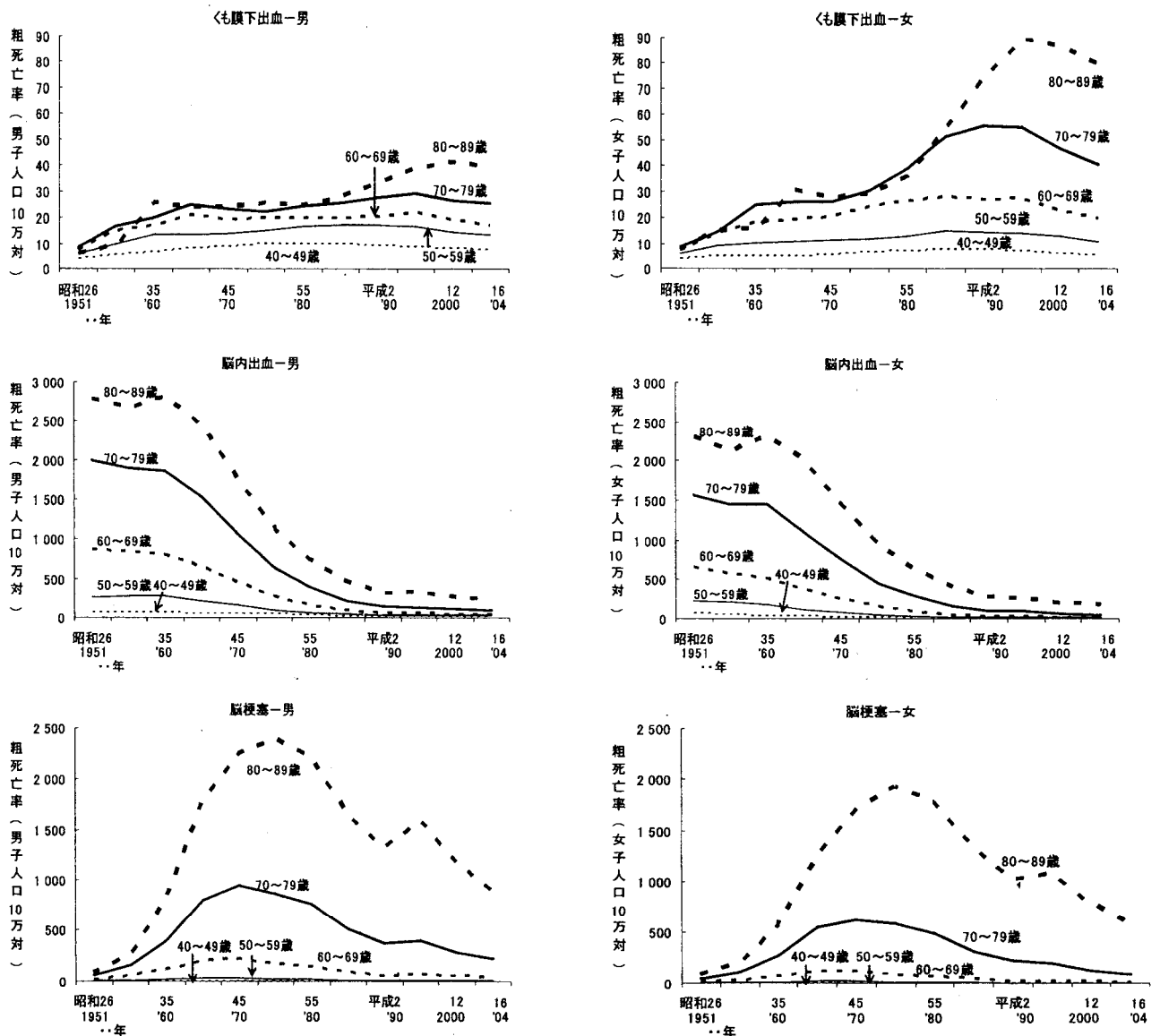


注：「急性心筋梗塞」及び「その他の虚血性心疾患」の昭和44年以前は分類項目がないため表章していない。

(2) 性・年齢階級別にみた脳血管疾患死亡

「脳血管疾患」について病類（死因統計において選択死因と定められているもの）・性・年齢階級別に粗死亡率（人口10万対）をみると、「くも膜下出血」は男の79歳以下、女の69歳以下は横ばいとなっており、女の70歳以上は昭和55年以降上昇したが、近年低下している。「脳内出血」はいずれの年齢階級も大幅に低下しており、特に高齢者の低下の幅が大きくなっている。「脳梗塞」は70歳以上で平成8年以降低下している。（図6、統計表第5表）

図6 脳血管疾患の病類・性・年齢(10歳階級)別にみた粗死亡率(人口10万対)の年次推移



注：昭和25年の「脳血管疾患」には、B46、B352の一部、B22の後遺症及び1年以上経過したものを含まため、時系列観察は昭和26年からとした。

6 配偶関係別にみた心疾患－脳血管疾患死亡

平成7年・12年の性・配偶関係別に「心疾患」と「脳血管疾患」の粗死亡率(人口10万対)をみると、どの年齢階級においても男女ともに「有配偶」の粗死亡率が低く、「未婚」「離別」「死別」の粗死亡率が高くなっている(図7、表3)。

性・配偶関係別に「心疾患」と「脳血管疾患」の年齢調整死亡率(人口10万対)をみると、男女とも「有配偶」より、「未婚」「離別」「死別」の年齢調整死亡率が高くなっており、女より男の方が配偶関係による差が大きくなっている。平成7年と平成12年を比較すると、すべての配偶関係で平成12年の方が低くなっている。(図8、表3)

図7 性・年齢(10歳階級)・配偶関係別心疾患－脳血管疾患粗死亡率(人口10万対)－平成12年－

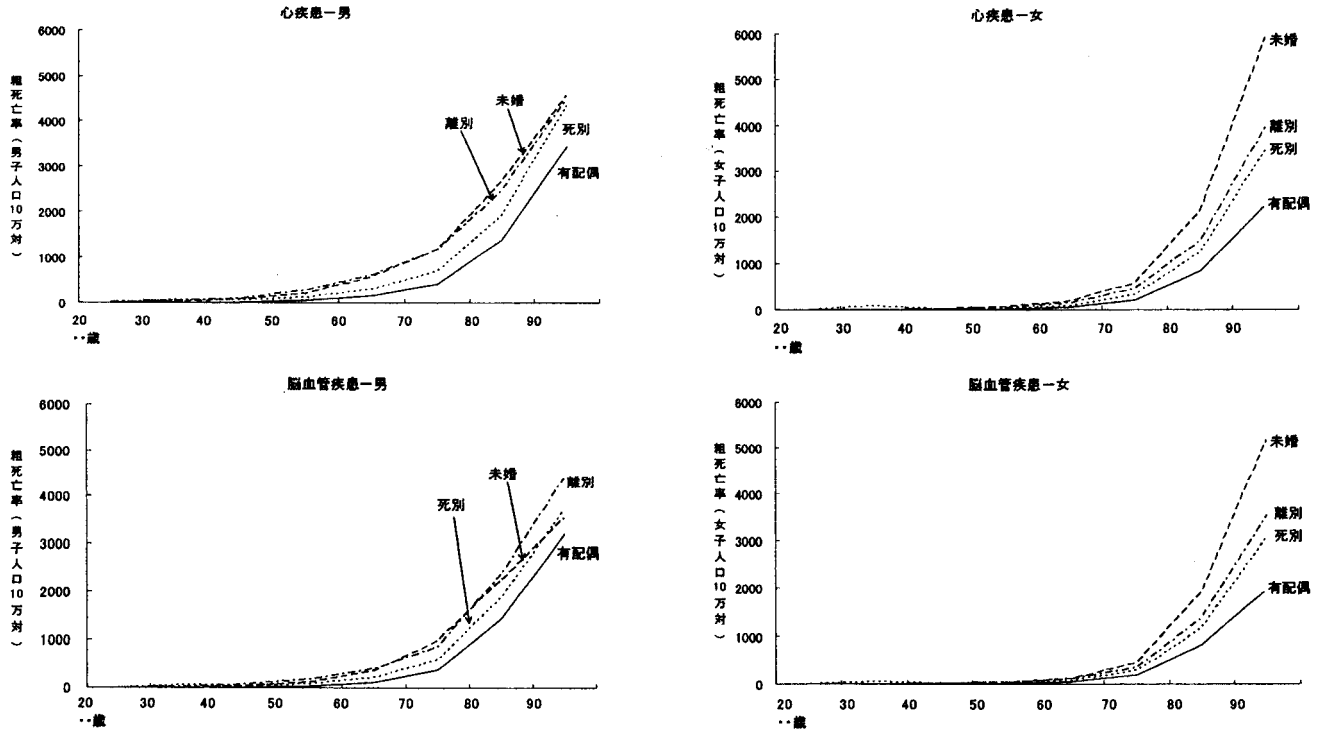
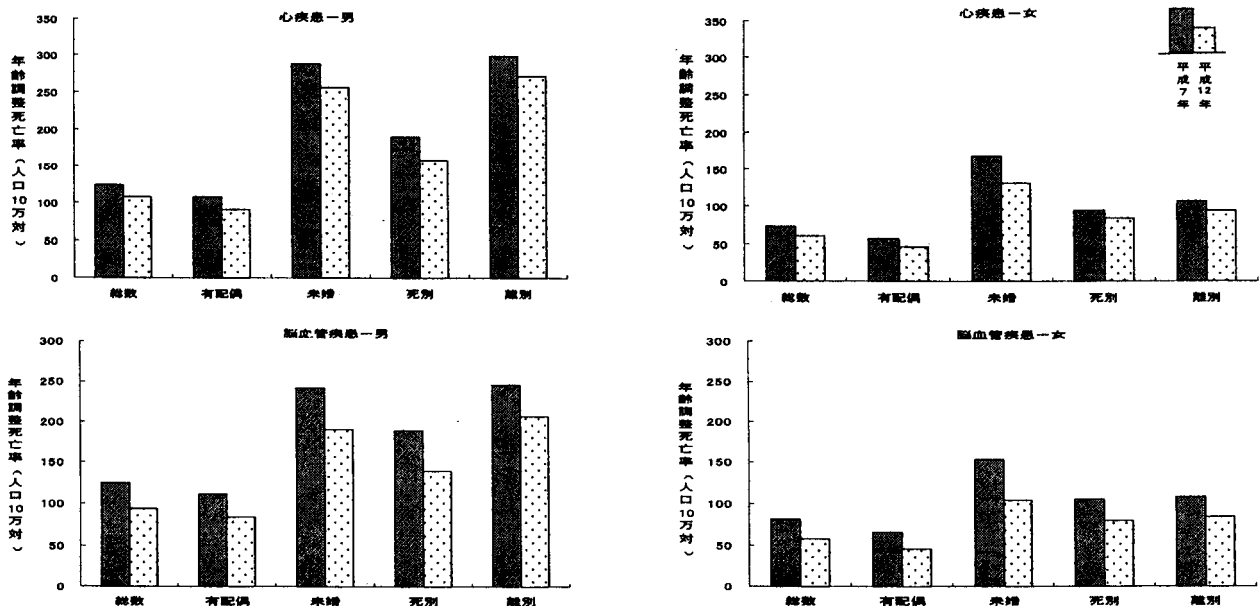


図8 性・配偶関係別心疾患－脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)の年次比較



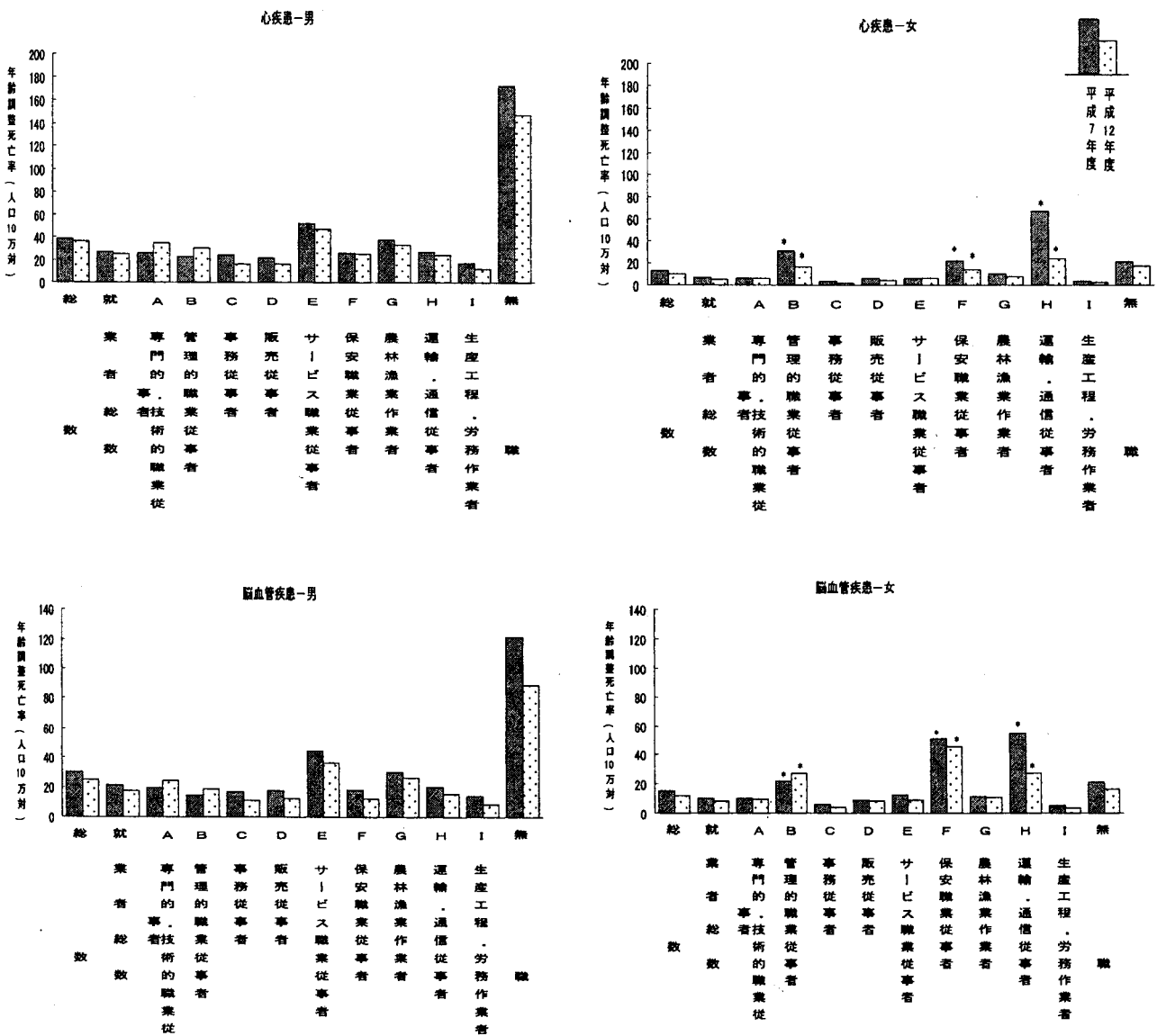
7 職業・産業別にみた心疾患－脳血管疾患死亡（平成7年度・12年度職業・産業別統計）

(1) 職業別の状況

20～64歳の者について、死亡時の職業に基づき、性・職業別に平成12年度の心疾患年齢調整死亡率（人口10万対）をみると、男では「無職」が最も高く、次いで「サービス職業従事者」「専門的・技術的職業従事者」となっており、「専門的・技術的職業従事者」「管理的職業従事者」は、平成7年度に比べ平成12年度は上昇している。

平成12年度の脳血管疾患年齢調整死亡率をみると、男では「心疾患」と同様に「無職」が最も高く、次いで「サービス職業従事者」「農林漁業作業員」となっており、「専門的・技術的職業従事者」「管理的職業従事者」は、平成7年度に比べ平成12年度は上昇している。（図9、表4）

図9 20～64歳の性・職業(大分類)別にみた心疾患－脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)
－平成7年度・平成12年度－



注:1) 図中*印の付してある箇所については、発生件数が100未満のもので数値が特に不安定であることに注意する必要がある。
2) 「職業」は死亡時の職業である。

表4 20～64歳の性・職業(大分類)別にみた心疾患－脳血管疾患死亡数・粗死亡率(人口10万対)・年齢調整死亡率(人口10万対)

職業	平成7年度						平成12年度					
	男			女			男			女		
	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患
	死亡数											
総数	134 921	16 502	13 165	64 328	5 825	6 844	131 635	16 329	11 391	60 831	4 911	5 511
就業者総数	79 277	9 808	7 808	19 717	1 566	2 479	73 130	9 046	6 445	18 633	1 360	2 146
A 専門的・技術的職業従事者	6 994	882	664	1 673	102	184	11 020	1 349	957	2 201	134	216
B 管理的職業従事者	5 225	677	508	738	* 50	* 72	5 000	602	429	695	* 46	* 66
C 事務従事者	8 018	1 018	742	2 760	181	303	6 262	758	531	2 302	122	258
D 販売従事者	8 523	1 084	897	2 409	206	298	7 330	889	691	2 011	146	272
E サービス職業従事者	6 046	767	654	2 813	221	442	6 031	765	579	2 660	230	367
F 保安職業従事者	1 346	198	139	107	* 6	* 12	1 365	228	119	119	* 5	* 13
G 農林漁業作業者	7 083	828	693	2 034	184	284	4 767	529	418	1 286	107	161
H 運輸・通信従事者	5 097	633	508	275	* 35	* 35	4 583	590	398	261	* 22	* 28
I 生産工程・労務作業者	18 971	2 265	1 932	2 497	205	381	12 489	1 563	1 107	1 872	138	256
J 分類不能の職業	11 974	1 456	1 071	4 411	376	468	14 283	1 773	1 216	5 226	410	509
無職	55 644	6 694	5 357	44 611	4 259	4 365	58 505	7 283	4 946	42 198	3 551	3 365
	粗死亡率											
総数	346.6	42.4	33.8	165.7	15.0	17.6	336.9	41.8	29.2	156.8	12.7	14.2
就業者総数	229.9	28.4	22.6	85.2	6.8	10.7	219.6	27.2	19.4	80.4	5.9	9.3
A 専門的・技術的職業従事者	163.7	20.6	15.5	51.5	3.1	5.7	248.6	30.4	21.6	61.3	3.7	6.0
B 管理的職業従事者	254.5	33.0	24.7	371.8	* 25.2	* 36.3	385.4	46.4	33.1	492.1	* 32.6	* 46.7
C 事務従事者	187.2	23.8	17.3	38.4	2.5	4.2	145.5	17.6	12.3	32.1	1.7	3.6
D 販売従事者	154.5	19.7	16.3	76.9	6.6	9.5	131.8	16.0	12.4	66.8	4.8	9.0
E サービス職業従事者	383.8	48.7	41.5	98.7	7.8	15.5	358.1	45.4	34.4	82.9	7.2	11.4
F 保安職業従事者	165.1	24.3	17.1	275.1	* 15.4	* 30.9	156.2	26.1	13.6	248.7	* 10.5	* 27.2
G 農林漁業作業者	573.3	67.0	56.1	191.2	17.3	26.7	509.2	56.5	44.7	168.5	14.0	21.1
H 運輸・通信従事者	234.1	29.1	23.3	233.4	* 29.7	* 29.7	223.2	28.7	19.4	251.8	* 21.2	* 27.0
I 生産工程・労務作業者	153.3	18.3	15.6	48.4	4.0	7.4	105.8	13.2	9.4	38.5	2.8	5.3
無職	1 344.1	161.7	129.4	286.7	27.4	28.1	1 195.5	148.8	101.1	276.5	23.3	22.1
	年齢調整死亡率											
総数	311.9	38.1	30.0	146.0	12.9	15.1	294.5	36.4	25.0	134.8	10.6	11.8
就業者総数	215.8	26.6	20.9	83.8	6.8	10.4	200.1	24.7	17.3	76.4	5.7	8.7
A 専門的・技術的職業従事者	204.0	25.7	19.5	81.0	6.1	10.5	287.3	34.6	24.6	87.2	6.2	9.6
B 管理的職業従事者	174.0	22.0	14.5	283.9	* 30.1	* 21.6	261.7	30.3	18.6	340.0	* 16.6	* 27.3
C 事務従事者	189.5	24.2	17.0	48.9	3.7	5.8	134.8	16.4	11.2	35.7	1.9	4.1
D 販売従事者	170.0	21.4	17.4	73.3	6.5	8.9	133.3	16.2	12.4	61.9	4.5	8.3
E サービス職業従事者	403.5	51.7	44.3	84.8	6.4	12.7	364.8	46.4	35.9	72.1	6.3	9.3
F 保安職業従事者	174.1	25.7	18.3	449.8	* 22.1	* 51.2	147.1	24.7	12.5	356.1	* 14.3	* 45.9
G 農林漁業作業者	334.8	37.3	29.9	112.0	10.1	11.7	318.3	33.4	25.9	95.3	7.7	10.7
H 運輸・通信従事者	212.6	26.1	20.0	394.8	* 67.5	* 54.9	187.5	23.5	15.5	298.8	* 23.2	* 27.3
I 生産工程・労務作業者	144.2	17.2	14.5	39.4	3.1	5.6	96.9	12.1	8.4	29.8	2.2	3.8
無職	1 398.7	171.5	121.8	231.5	20.8	21.1	1 172.3	147.1	88.7	221.2	17.4	16.4

注:1)「J 分類不能の職業」には仕事の有無不詳を含む。

2) 表中*印の付してある数値については、発生件数が100未満のもので数値が特に不安定であることに注意する必要がある。

3)「職業」は死亡時の職業である。

(2) 産業別の状況

20～64歳の者について、死亡時の産業に基づき、性・産業別に平成12年度の「心疾患」と「脳血管疾患」の年齢調整死亡率(人口10万対)をみると、男では「無業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「農業」が高くなっている(表5)。

表5 20～64歳の性・産業(大分類)別にみた心疾患－脳血管疾患死亡数・粗死亡率(人口10万対)
・年齢調整死亡率(人口10万対)

産業	平成7年度						平成12年度					
	男			女			男			女		
	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患	全死因	心疾患	脳血管疾患
死亡数												
総数	134 921	16 502	13 165	64 328	5 825	6 844	131 635	16 329	11 391	60 831	4 911	5 511
就業者総数	79 277	9 808	7 808	19 717	1 566	2 479	73 130	9 046	6 445	18 633	1 360	2 146
第1次産業	7 993	942	801	2 272	194	312	5 845	673	506	1 519	110	192
A 農業	6 334	777	637	1 994	170	281	4 505	517	394	1 320	* 93	166
B 林業	472	* 47	* 47	* 65	* 4	* 5	380	* 52	* 29	* 40	* 3	* 6
C 漁業	1 187	118	117	213	* 20	* 26	960	104	* 83	159	* 14	* 20
第2次産業	23 642	2 900	2 368	3 411	270	454	20 160	2 482	1 842	2 954	185	377
D 鉱業	961	122	103	157	* 12	* 23	805	* 86	* 88	123	* 6	* 14
E 建設業	11 391	1 332	1 151	924	* 79	121	9 733	1 159	846	897	* 61	108
F 製造業	11 290	1 446	1 114	2 330	179	310	9 622	1 237	908	1 934	118	255
第3次産業	31 945	4 066	3 203	8 685	647	1 131	29 410	3 697	2 596	8 050	583	974
G 電気・ガス・熱供給・水道業	1 901	226	176	219	* 12	* 26	1 649	188	152	186	* 15	* 17
H 運輸・通信業	5 697	726	550	398	* 41	* 51	5 245	689	415	408	* 32	* 38
I 卸売・小売業・飲食店	8 834	1 068	941	2 864	242	389	7 586	904	707	2 442	182	326
J 金融・保険業	1 089	129	100	394	* 29	* 42	914	118	102	291	* 21	* 37
K 不動産業	839	111	* 77	178	* 8	* 15	736	105	* 51	160	* 14	* 13
L サービス業	10 228	1 365	1 051	3 899	273	533	10 166	1 295	926	3 918	289	482
M 公務	3 357	441	308	733	* 42	* 75	3 114	398	243	645	* 30	* 61
N 分類不能の産業	15 697	1 900	1 436	5 349	455	582	17 715	2 194	1 501	6 110	482	603
無業	55 644	6 694	5 357	44 611	4 259	4 365	58 505	7 283	4 946	42 198	3 551	3 365
粗死亡率												
総数	346.6	42.4	33.8	165.7	15.0	17.6	336.9	41.8	29.2	156.8	12.7	14.2
就業者総数	229.9	28.4	22.6	85.2	6.8	10.7	219.6	27.2	19.4	80.4	5.9	9.3
第1次産業	652.6	76.9	65.4	208.0	17.8	28.6	632.0	72.8	54.7	190.5	13.8	24.1
A 農業	645.2	79.2	64.9	196.3	16.7	27.7	606.5	69.6	53.0	178.6	* 12.6	22.5
B 林業	825.9	* 82.2	* 82.2	* 549.5	* 33.8	* 42.3	921.2	* 126.1	* 70.3	* 450.0	* 33.8	* 67.5
C 漁業	638.3	63.5	62.9	328.6	* 30.9	* 40.1	682.0	73.9	* 59.0	321.9	* 28.3	* 40.5
第2次産業	179.6	22.0	18.0	61.8	4.9	8.2	163.9	20.2	15.0	62.0	3.9	7.9
D 鉱業	1 993.9	253.0	213.7	1 952.0	* 149.2	* 286.0	1 932.2	* 206.4	* 211.2	1 618.0	* 78.9	* 184.2
E 建設業	224.0	26.2	22.6	94.4	* 8.1	12.4	199.5	23.8	17.3	102.9	* 7.0	12.4
F 製造業	140.6	18.0	13.9	51.4	3.9	6.8	130.3	16.8	12.3	49.8	3.0	6.6
第3次産業	160.5	20.4	16.1	53.1	4.0	6.9	149.1	18.7	13.2	46.4	3.4	5.6
G 電気・ガス・熱供給・水道業	634.9	75.5	58.8	414.8	* 22.7	* 49.2	557.0	63.5	51.3	381.3	* 30.7	* 34.8
H 運輸・通信業	183.0	23.3	17.7	64.5	* 6.6	* 8.3	172.9	22.7	13.7	57.9	* 4.5	* 5.4
I 卸売・小売業・飲食店	132.4	16.0	14.1	44.5	3.8	6.0	121.2	14.4	11.3	37.6	2.8	5.0
J 金融・保険業	121.3	14.4	11.1	39.3	* 2.9	* 4.2	111.9	14.5	12.5	32.9	* 2.4	* 4.2
K 不動産業	246.4	32.6	* 22.6	81.6	* 3.7	* 6.9	211.3	30.1	* 14.6	71.4	* 6.3	* 5.8
L サービス業	145.7	19.4	15.0	51.6	3.6	7.1	137.2	17.5	12.5	46.2	3.4	5.7
M 公務	215.6	28.3	19.8	151.0	* 8.6	* 15.4	200.5	25.6	15.6	131.2	* 6.1	* 12.4
無業	1 344.1	161.7	129.4	286.7	27.4	28.1	1 195.5	148.8	101.1	276.5	23.3	22.1
年齢調整死亡率												
総数	311.9	38.1	30.0	146.0	12.9	15.1	294.5	36.4	25.0	134.8	10.6	11.8
就業者総数	215.8	26.6	20.9	83.8	6.8	10.4	200.1	24.7	17.3	76.4	5.7	8.7
第1次産業	404.1	46.1	37.1	145.9	9.1	13.2	425.4	46.2	33.7	123.2	7.5	13.9
A 農業	373.9	44.3	35.2	122.5	7.9	12.3	393.1	44.6	32.3	110.1	* 7.1	11.5
B 林業	548.2	* 48.9	* 55.8	* 464.0	* 16.2	* 19.0	648.7	* 70.5	* 38.9	* 291.5	* 11.1	* 54.3
C 漁業	485.0	50.5	41.8	327.8	* 23.4	* 24.5	515.7	49.1	* 39.1	262.2	* 14.4	* 36.8
第2次産業	165.4	20.1	16.2	57.1	4.5	7.4	147.1	18.0	13.0	53.7	3.5	6.5
D 鉱業	1 592.0	195.9	158.7	1 661.8	* 126.0	* 242.5	1 519.5	* 164.2	* 151.9	1 366.4	* 59.2	* 135.0
E 建設業	196.2	22.5	19.1	88.3	* 7.4	11.4	172.5	20.2	14.3	89.1	* 6.4	10.1
F 製造業	134.4	17.1	13.1	47.3	3.6	6.1	120.4	15.5	11.1	42.9	2.7	5.5
第3次産業	160.3	20.4	15.8	56.8	4.5	7.5	140.2	17.7	12.2	46.8	3.5	5.7
G 電気・ガス・熱供給・水道業	812.5	102.4	69.7	659.8	* 45.4	* 101.5	638.3	74.2	61.3	551.6	* 46.6	* 49.7
H 運輸・通信業	173.7	22.0	16.0	83.2	* 10.8	* 11.6	150.9	19.9	11.3	66.3	* 4.9	* 6.5
I 卸売・小売業・飲食店	137.6	16.6	14.4	44.9	4.0	6.0	118.4	14.2	10.9	35.6	2.7	4.7
J 金融・保険業	129.5	15.5	11.6	59.5	* 5.4	* 6.5	112.9	15.4	11.7	44.0	* 3.2	* 6.3
K 不動産業	179.1	23.1	* 16.2	65.3	* 2.6	* 5.4	150.0	19.7	* 9.2	55.1	* 4.5	* 3.7
L サービス業	144.0	19.1	14.8	56.5	4.2	7.9	130.5	16.6	11.8	47.9	3.7	6.0
M 公務	255.8	33.9	23.8	152.6	* 9.5	* 15.4	202.3	27.1	15.8	129.2	* 6.3	* 12.0
無業	1 398.7	171.5	121.8	231.5	20.8	21.1	1 172.3	147.1	88.7	221.2	17.4	16.4

注: 1) 「N 分類不能の産業」には仕事の有無不詳を含む。

2) 表中*印の付してある数値については、発生件数が100未満のもので数値が特に不安定であることに注意する必要がある。

3) 「産業」は死亡時の産業である。

8 都道府県別にみた心疾患－脳血管疾患死亡

(1) 性別にみた年齢調整死亡率

平成16年の「心疾患」と「脳血管疾患」の年齢調整死亡率（人口10万対）を都道府県別にみると、「心疾患」の男では青森県が最も高く、次いで愛媛県、岩手県、女では愛媛県が最も高く、次いで埼玉県、徳島県となっている。「脳血管疾患」の男では青森県が最も高く、次いで岩手県、秋田県、女では岩手県が最も高く、次いで青森県、栃木県となっている。（表6、図10）

表6 性・都道府県別にみた心疾患－脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)の年次比較と65歳平均余命

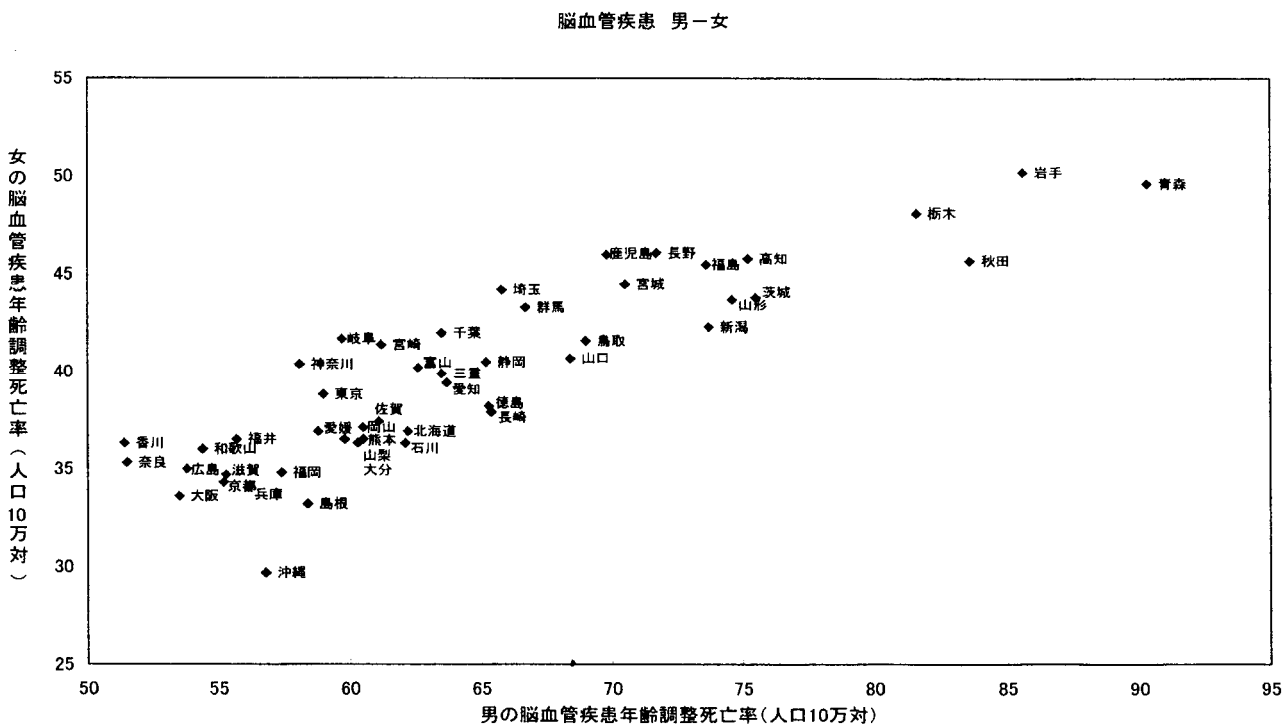
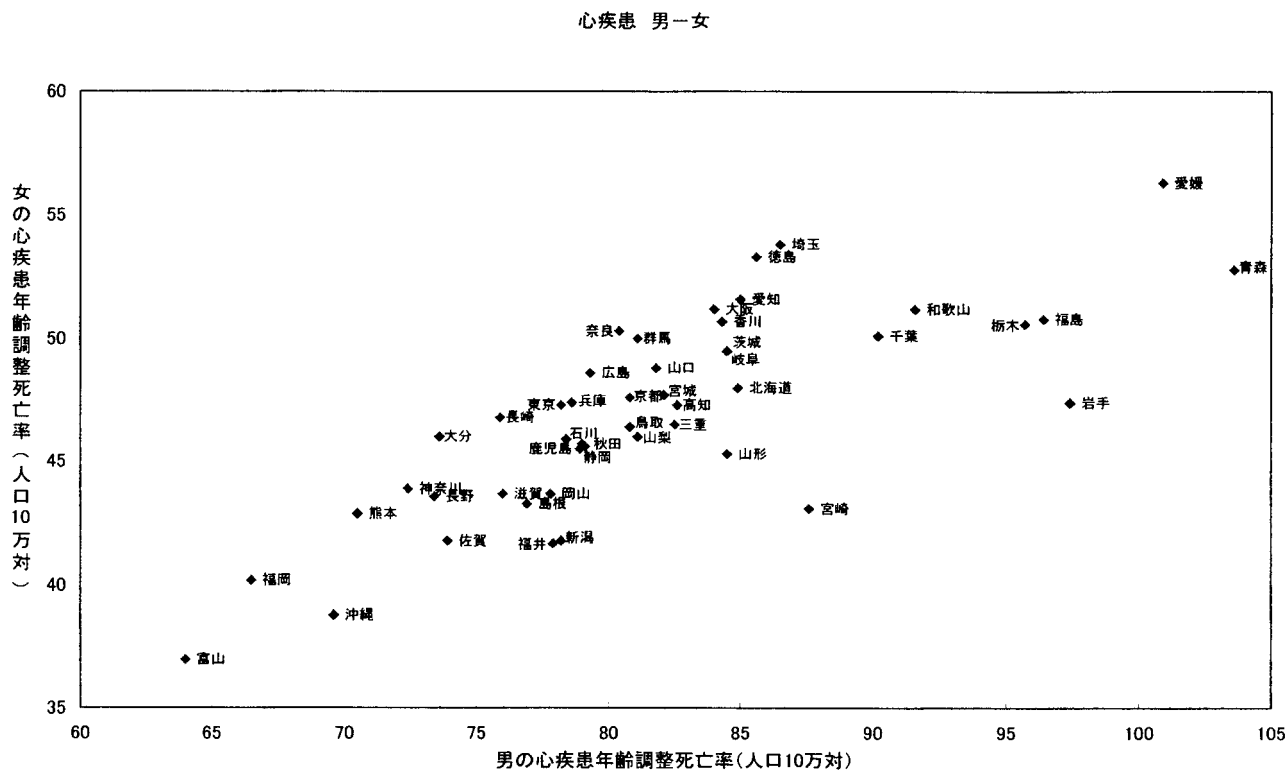
都道府県	年齢調整死亡率(人口10万対)								65歳平均余命	
	心疾患				脳血管疾患				平成12年都道府県別生命表 (単位:年)	
	男		女		男		女		男	女
	平成12年	平成16年 注:1,3) を参照	平成12年	平成16年 注:1,3) を参照	平成12年	平成16年 注:1,3) を参照	平成12年	平成16年 注:1,3) を参照		
全 国	85.8	80.6 (80.1)	48.5	44.2 (44.0)	74.2	62.5 (62.2)	45.7	37.0 (36.9)	17.56	22.46
北海道	87.3	84.9	50.1	48.0	72.1	62.2	43.7	36.9	17.79	22.87
青森県	102.5	103.6	53.5	52.8	102.7	90.3	51.6	49.6	16.52	21.87
岩手県	85.4	97.4	47.8	47.4	92.6	85.6	51.9	50.2	17.33	22.51
宮城県	81.3	82.1	47.3	47.7	87.1	70.5	50.7	44.5	17.53	22.48
秋田県	74.3	79.0	45.2	45.7	91.1	83.6	57.6	45.7	17.05	22.12
山形県	84.3	84.5	45.4	45.3	83.1	74.6	52.7	43.7	17.57	22.18
福島県	96.9	96.4	52.3	50.8	83.1	73.6	53.7	45.5	17.19	22.19
茨城県	88.7	84.5	50.3	49.5	85.1	75.5	54.6	43.8	17.29	22.12
栃木県	95.9	95.7	54.5	50.6	90.0	81.6	56.1	48.1	17.26	22.06
群馬県	88.5	81.1	49.0	50.0	77.6	66.7	53.5	43.3	17.63	22.28
埼玉県	92.7	86.5	53.8	53.8	77.3	65.8	50.2	44.2	17.55	22.14
千葉県	90.6	90.2	54.7	50.1	77.1	63.5	45.5	42.0	17.67	22.25
東京都	87.5	78.2	49.8	47.3	71.3	59.0	46.1	38.8	17.79	22.26
神奈川県	79.1	72.4	43.7	43.9	71.2	58.1	48.1	40.4	17.78	22.50
新潟県	77.9	78.2	41.2	41.8	79.4	73.7	47.0	42.3	17.60	22.85
富山県	73.8	64.0	40.9	37.0	72.2	62.6	44.8	40.2	17.79	22.99
石川県	85.8	78.4	47.9	45.9	71.8	62.1	39.3	36.3	17.55	22.90
福井県	81.7	77.9	41.3	41.7	61.3	55.7	35.8	36.5	17.93	23.05
山梨県	88.1	81.1	46.0	46.0	64.2	60.5	39.9	36.5	17.85	23.01
長野県	78.7	73.4	39.8	43.6	87.3	71.7	53.4	46.1	18.38	22.91
岐阜県	86.3	84.5	52.8	49.5	74.6	59.7	43.8	41.7	17.67	22.22
静岡県	84.0	79.1	48.8	45.6	77.4	65.2	46.9	40.5	17.67	22.60
愛知県	92.5	85.0	55.8	51.6	73.5	63.7	47.0	39.4	17.48	22.02
三重県	86.5	82.5	49.7	46.5	74.0	63.5	42.7	39.9	17.51	22.39
滋賀県	78.8	76.0	47.3	43.7	62.9	55.3	42.6	34.7	17.41	22.48
京都府	84.7	80.8	49.7	47.6	63.5	55.2	41.2	34.3	17.74	22.63
大阪府	89.3	84.0	51.9	51.2	63.4	53.5	38.8	33.6	16.98	21.93
兵庫県	84.1	78.6	50.2	47.4	64.1	56.2	40.6	34.1	17.42	22.19
奈良県	84.5	80.4	52.8	50.3	61.8	51.5	42.2	35.3	17.70	22.34
和歌山県	101.8	91.6	53.6	51.2	69.2	54.4	42.0	36.0	17.23	22.17
鳥取県	92.5	80.8	47.4	46.4	78.4	69.0	49.1	41.6	17.46	22.75
島根県	72.0	76.9	40.4	43.3	70.8	58.4	37.6	33.2	17.77	23.27
岡山県	82.1	77.8	42.6	43.7	69.4	60.5	44.0	37.1	17.73	22.97
広島県	82.7	79.3	46.7	48.6	68.6	53.8	39.9	35.0	17.66	22.82
山口県	79.2	81.8	52.5	48.8	77.1	68.4	47.7	40.7	17.21	22.49
徳島県	92.1	85.6	49.7	53.3	77.2	65.3	42.7	38.2	17.37	22.38
香川県	89.9	84.3	50.6	50.7	64.2	51.4	44.7	36.3	17.82	22.70
愛媛県	99.1	100.9	51.6	56.3	73.3	58.8	42.9	36.9	17.73	22.53
高知県	96.1	82.6	49.0	47.3	82.3	75.2	48.7	45.8	17.62	22.84
福岡県	71.2	66.5	41.3	40.2	68.1	57.4	42.4	34.8	17.31	22.60
佐賀県	79.6	73.9	42.9	41.8	67.8	61.1	44.1	37.4	17.34	22.82
長崎県	81.6	75.9	43.8	46.8	72.7	65.4	45.1	37.9	17.36	22.69
熊本県	74.4	70.5	43.4	42.9	64.9	59.8	39.8	36.5	18.15	23.08
大宮	91.1	73.6	50.7	46.0	75.9	60.3	44.0	36.3	17.70	22.41
鹿 児 島	83.4	87.6	44.8	43.1	73.5	61.2	48.2	41.4	17.72	23.05
沖 縄	84.7	78.9	44.9	45.5	85.8	69.8	49.7	46.0	17.38	22.56
	78.9	69.6	39.6	38.8	63.5	56.8	30.0	29.7	18.45	24.10

注:1) 年齢調整死亡率の基準人口は、昭和60年モデル人口である。ただし、平成16年都道府県別年齢調整死亡率算出にあたっては、80歳以上を一括して用いた。
 2) 平成12年の年齢調整死亡率と平成16年の全国の年齢調整死亡率の算出に用いている粗死亡率は、国勢調査日本人口（5歳階級、85歳以上一括）により算出している。
 3) 平成16年の都道府県（全国のカッコ書きを含む）別年齢調整死亡率の算出に用いている粗死亡率は、10月1日現在推計人口（5歳階級、全国=85歳以上一括、都道府県=80歳以上一括）の総人口により算出している。
 4) 都道府県は死亡した人の住所による。
 5) 65歳平均余命は平成12年都道府県別生命表による。

平成 16 年の都道府県別の年齢調整死亡率（人口 10 万対）を性別にみると、「心疾患」「脳血管疾患」ともに男の年齢調整死亡率が高い県は女の年齢調整死亡率が高くなっている（表 6、図 10）。

図 10 男の年齢調整死亡率(人口 10 万対)と女の年齢調整死亡率(人口 10 万対)の関係

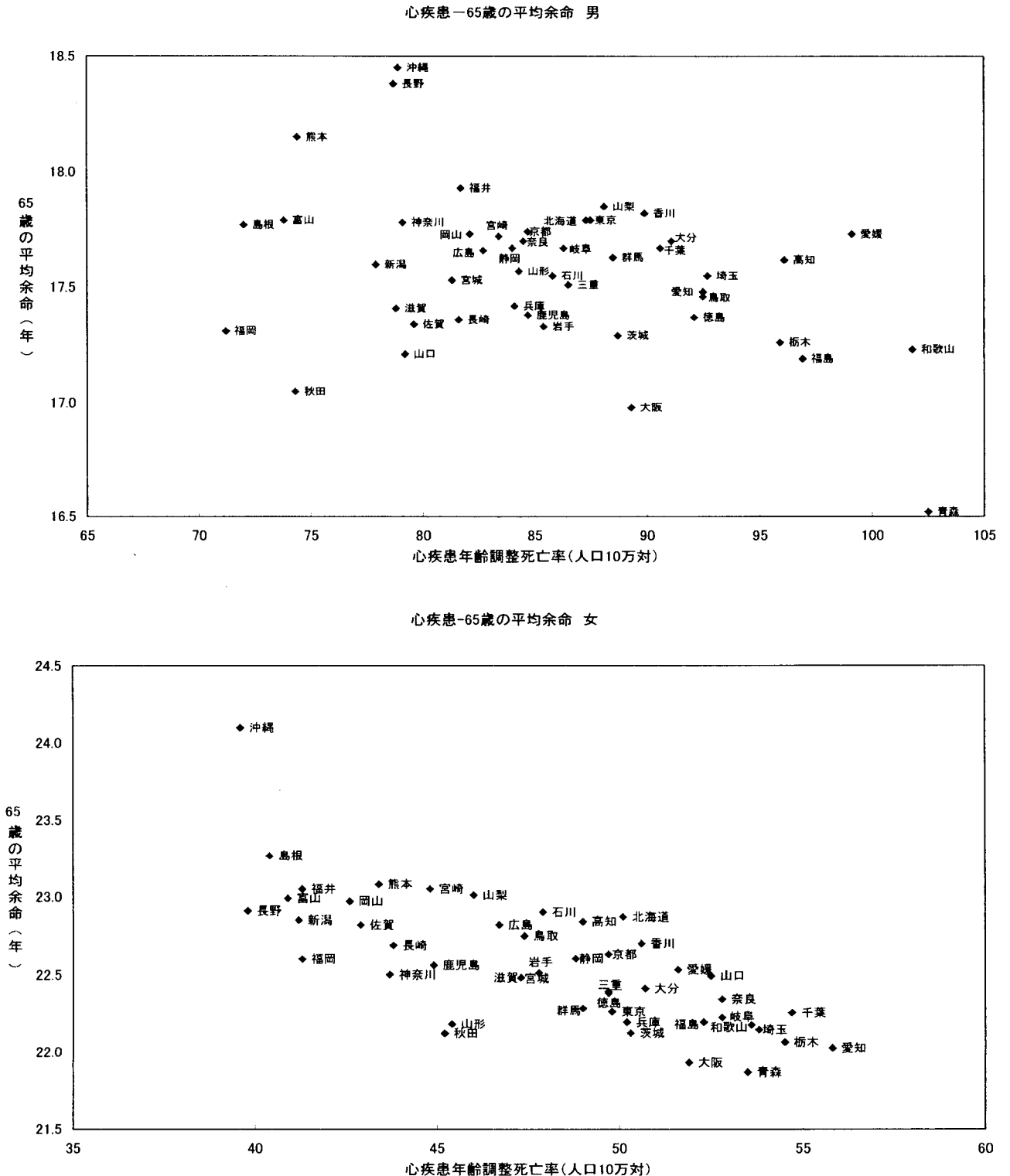
－平成 16 年－



(2) 年齢調整死亡率と65歳平均余命の関係

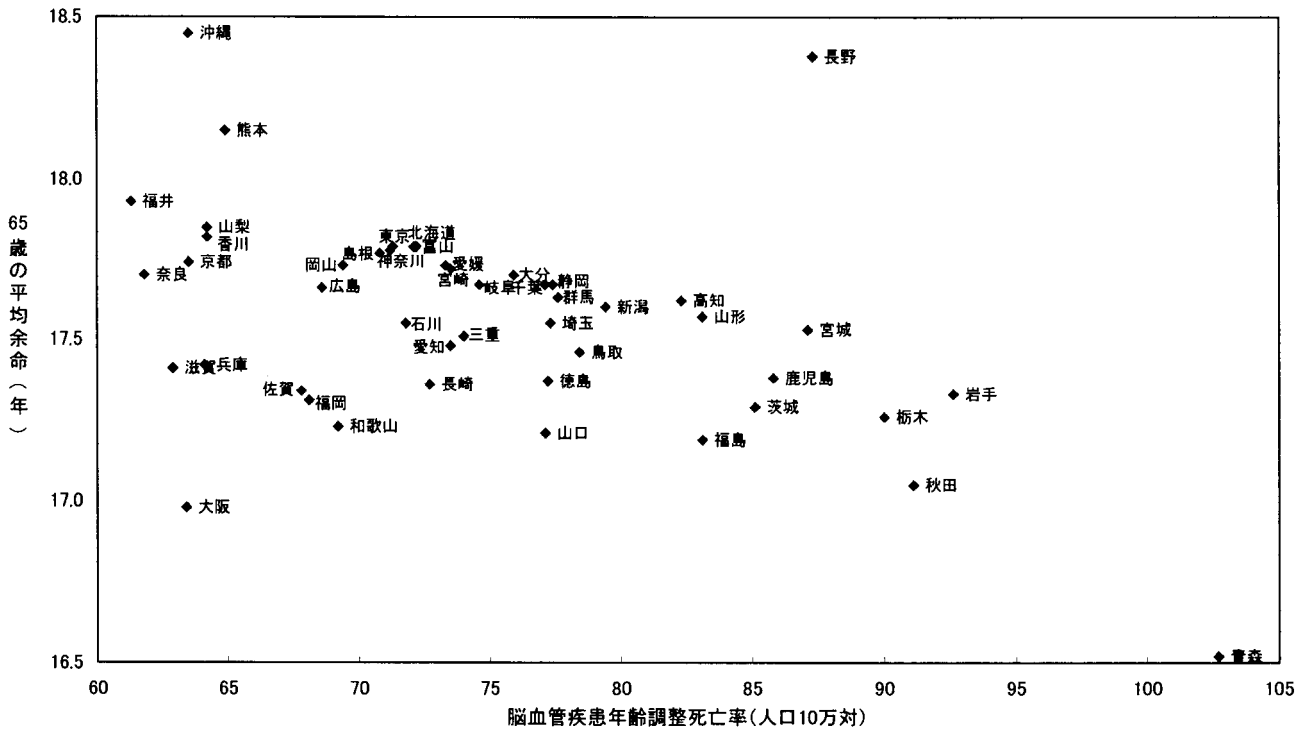
都道府県別に平成12年の「心疾患」と「脳血管疾患」の年齢調整死亡率（人口10万対）と平成12年都道府県別生命表の65歳平均余命との関係を見ると、両疾患とも女では年齢調整死亡率が低い都道府県の平均余命が長くなる傾向がある（表6、図11）。

図11 年齢調整死亡率(人口10万対)と65歳平均余命の関係 -平成12年-

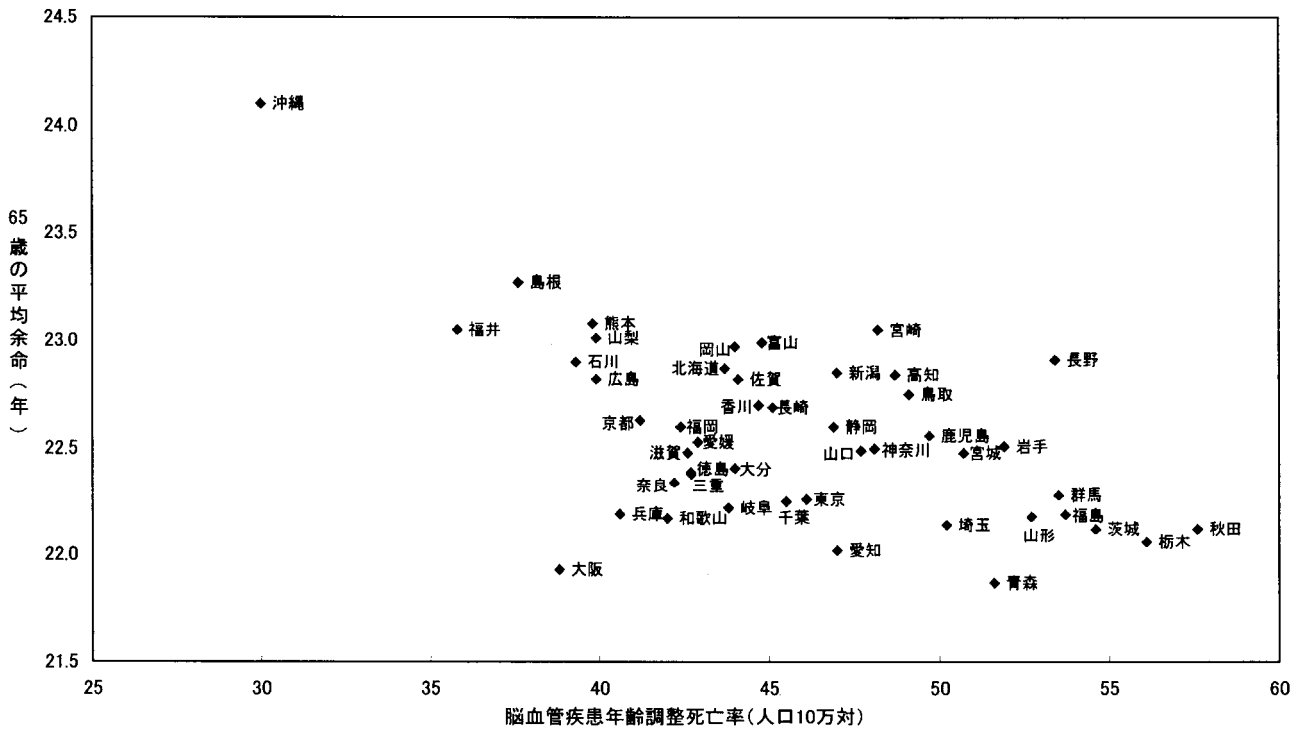


注:「65歳平均余命」は平成12年都道府県別生命表による。

脳血管疾患-65歳の平均余命 男



脳血管疾患-65歳の平均余命 女



注:「65歳平均余命」は平成12年都道府県別生命表による。

9 死亡月別にみた心疾患－脳血管疾患死亡

(1) 平成 16 年の月別 1 日平均死亡数

平成 16 年の月別 1 日平均死亡数をみると、1 月が最も多く、次いで 2 月、12 月、3 月と冬季（12 月～3 月をいう。以下同じ。）が多く、夏季（6 月～9 月をいう。以下同じ。）が少なく、性別にみても同様となっている。

これを主な死因別に 1 月を 100 とした指数でみると、男女ともに「悪性新生物」は月ごとの変動がほとんどないのに比べ、「心疾患」「脳血管疾患」は夏季に少なくなっており、特に「心疾患」は冬季と夏季の差が大きくなっている。「肺炎」は 2 月にインフルエンザの流行による山がみられる。（表 7、図 12、表 8）

表 7 主な死因別にみた月別 1 日平均死亡数 - 平成 16 年 -

死因・性		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全死因	総数	2 810.4	3 222.8	3 186.7	2 966.5	2 785.8	2 668.7	2 519.2	2 561.4	2 552.7	2 536.2	2 766.9	2 892.1	3 073.5
	男	1 522.1	1 735.0	1 705.0	1 606.2	1 508.7	1 450.1	1 369.4	1 394.6	1 389.4	1 383.5	1 504.6	1 567.2	1 655.3
	女	1 288.3	1 487.9	1 481.8	1 360.3	1 277.1	1 218.6	1 149.8	1 166.8	1 163.4	1 152.7	1 262.3	1 324.9	1 418.2
心疾患	総数	436.1	569.4	543.9	480.5	433.3	399.4	355.6	375.4	354.7	346.0	410.4	452.7	514.3
	男	211.7	278.3	262.5	232.7	208.5	191.9	172.8	180.7	172.6	166.7	200.5	219.8	253.8
	女	224.5	291.1	281.4	247.9	224.7	207.5	182.9	194.7	182.2	179.3	209.9	232.9	260.5
脳血管疾患	総数	352.6	422.9	418.9	387.4	346.7	333.1	309.0	301.7	301.7	304.5	349.6	358.3	398.8
	男	168.2	203.6	200.9	185.7	164.7	158.9	147.3	141.8	142.9	142.6	170.3	168.8	190.9
	女	184.4	219.3	217.9	201.7	182.0	174.2	161.7	160.0	158.8	161.9	179.3	189.4	207.9
悪性新生物	総数	875.3	889.9	872.3	867.6	866.8	858.9	853.8	861.3	883.0	879.5	892.9	893.0	884.2
	男	527.6	536.1	529.3	524.7	521.3	518.3	513.3	519.3	530.9	531.6	537.3	541.0	527.9
	女	347.7	353.8	343.0	342.8	345.4	340.5	340.5	342.0	352.2	347.9	355.6	352.0	356.3
肺炎	総数	261.0	321.8	342.1	286.7	259.7	244.8	221.6	218.1	217.2	216.1	238.7	269.9	298.3
	男	140.2	173.4	180.3	154.8	140.1	131.2	116.9	118.5	116.1	117.4	129.0	147.1	158.6
	女	120.8	148.4	161.8	131.9	119.6	113.6	104.7	99.6	101.1	98.8	109.7	122.8	139.6
4大死因以外	総数	885.3	1 018.9	1 009.6	944.3	879.4	832.5	779.1	805.0	796.1	790.0	875.3	918.2	978.0
	男	474.5	543.6	531.9	508.3	474.1	449.7	419.1	434.4	426.9	425.2	467.5	490.5	524.1
	女	410.8	475.3	477.7	436.0	405.3	382.9	359.9	370.5	369.1	364.9	407.8	427.7	453.9

図 12 主な死因別にみた月別 1 日平均死亡指数 (1 月=100) - 平成 16 年 -

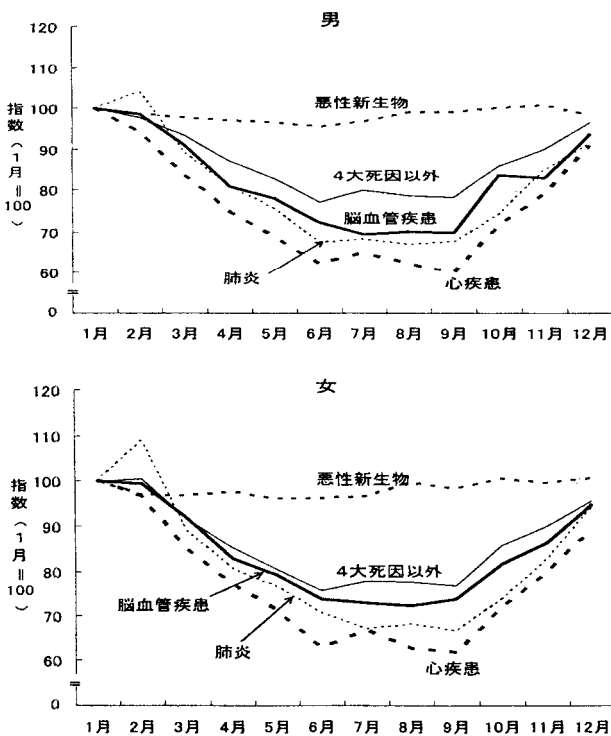


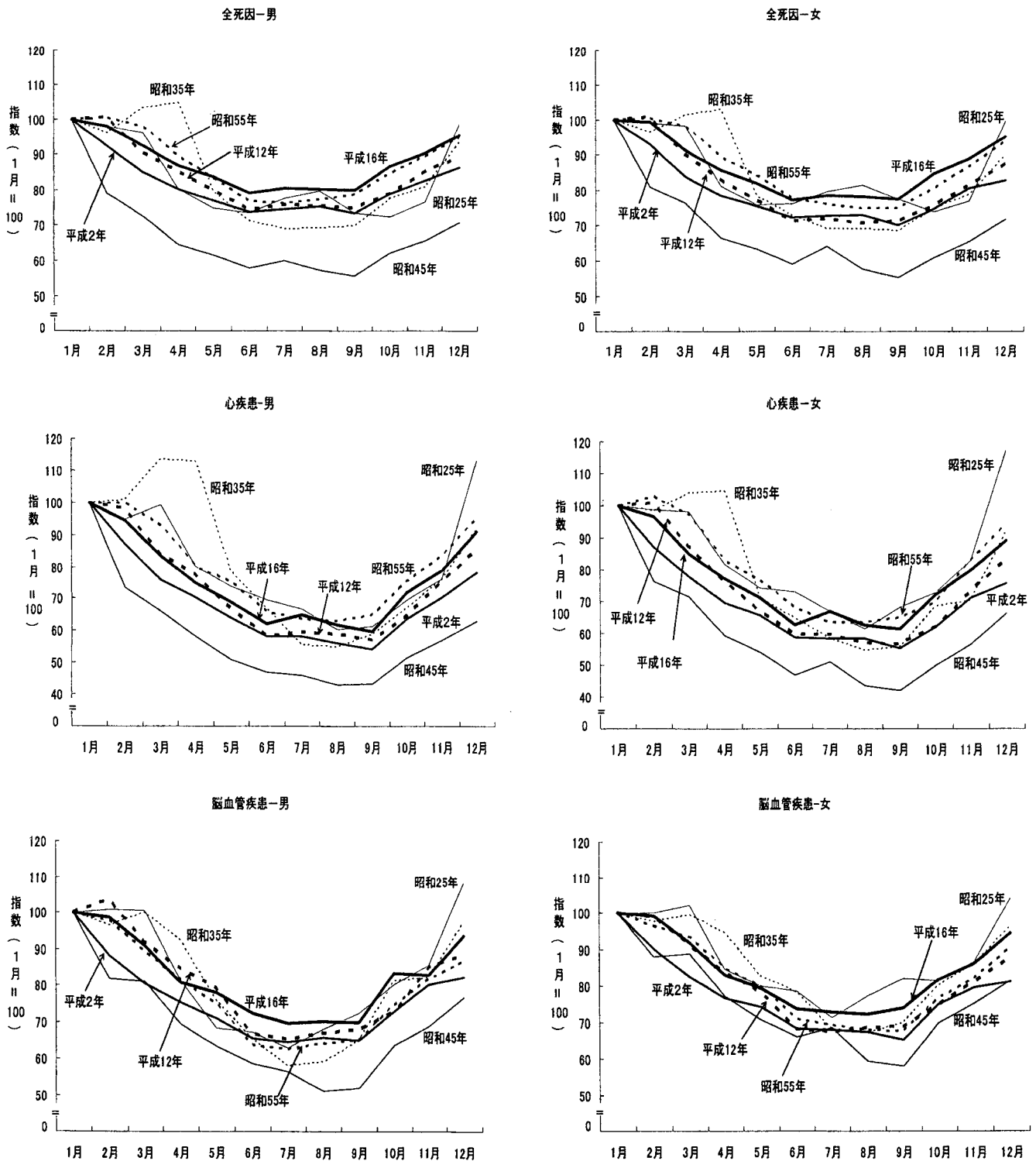
表 8 主な死因別にみた月別 1 日平均死亡指数 (1 月=100) - 平成 16 年 -

死因・性	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
全死因	総数	100.0	98.9	92.0	86.4	82.8	78.2	79.5	79.2	78.7	85.9	89.7	95.4
	男	100.0	98.3	92.6	87.0	83.6	78.9	80.4	80.1	79.7	86.7	90.3	95.4
	女	100.0	99.6	91.4	85.8	81.9	77.3	78.4	78.2	77.5	84.8	89.0	95.3
心疾患	総数	100.0	95.5	84.4	76.1	70.1	62.5	65.9	62.3	60.8	72.1	79.5	90.3
	男	100.0	94.3	83.6	74.9	69.0	62.1	64.9	62.0	59.9	72.0	79.0	91.2
	女	100.0	96.7	85.2	77.2	71.3	62.8	66.9	62.6	61.6	72.1	80.0	89.5
脳血管疾患	総数	100.0	99.0	91.6	82.0	78.8	73.1	71.3	71.3	72.0	82.7	84.7	94.3
	男	100.0	98.7	91.2	80.9	78.1	72.3	69.6	70.2	70.0	83.6	82.9	93.8
	女	100.0	99.4	92.0	83.0	79.4	73.7	72.9	72.4	73.8	81.7	86.4	94.8
悪性新生物	総数	100.0	98.0	97.5	97.4	96.5	95.9	96.8	99.2	98.8	100.3	100.3	99.4
	男	100.0	98.7	97.9	97.2	96.7	95.7	96.9	99.0	99.2	100.2	100.9	98.5
	女	100.0	96.9	96.9	97.6	96.3	96.2	96.7	99.5	98.3	100.5	99.5	100.7
肺炎	総数	100.0	106.3	89.1	80.7	76.1	68.9	67.8	67.5	67.2	74.2	83.9	92.7
	男	100.0	104.0	89.3	80.8	75.7	67.4	68.3	66.9	67.7	74.4	84.8	91.5
	女	100.0	109.0	88.9	80.6	76.6	70.6	67.1	68.2	66.6	73.9	82.8	94.1
4大死因以外	総数	100.0	99.1	92.7	86.3	81.7	76.5	79.0	78.1	77.5	85.9	90.1	96.0
	男	100.0	97.9	93.5	87.2	82.7	77.1	79.9	78.5	78.2	86.0	90.2	96.4
	女	100.0	100.5	91.7	85.3	80.6	75.7	78.0	77.7	76.8	85.8	90.0	95.5

(2) 性・年次別の状況

これを年次別にみると、男女ともにいずれの年次においても冬季が多く夏季が少なくなっている。「脳血管疾患」では各年における月別1日平均死亡指数の差は縮小してきている。(図13、表9、表10)

図13 心疾患-脳血管疾患死亡の性・年次別にみた月別1日平均死亡指数(1月=100)

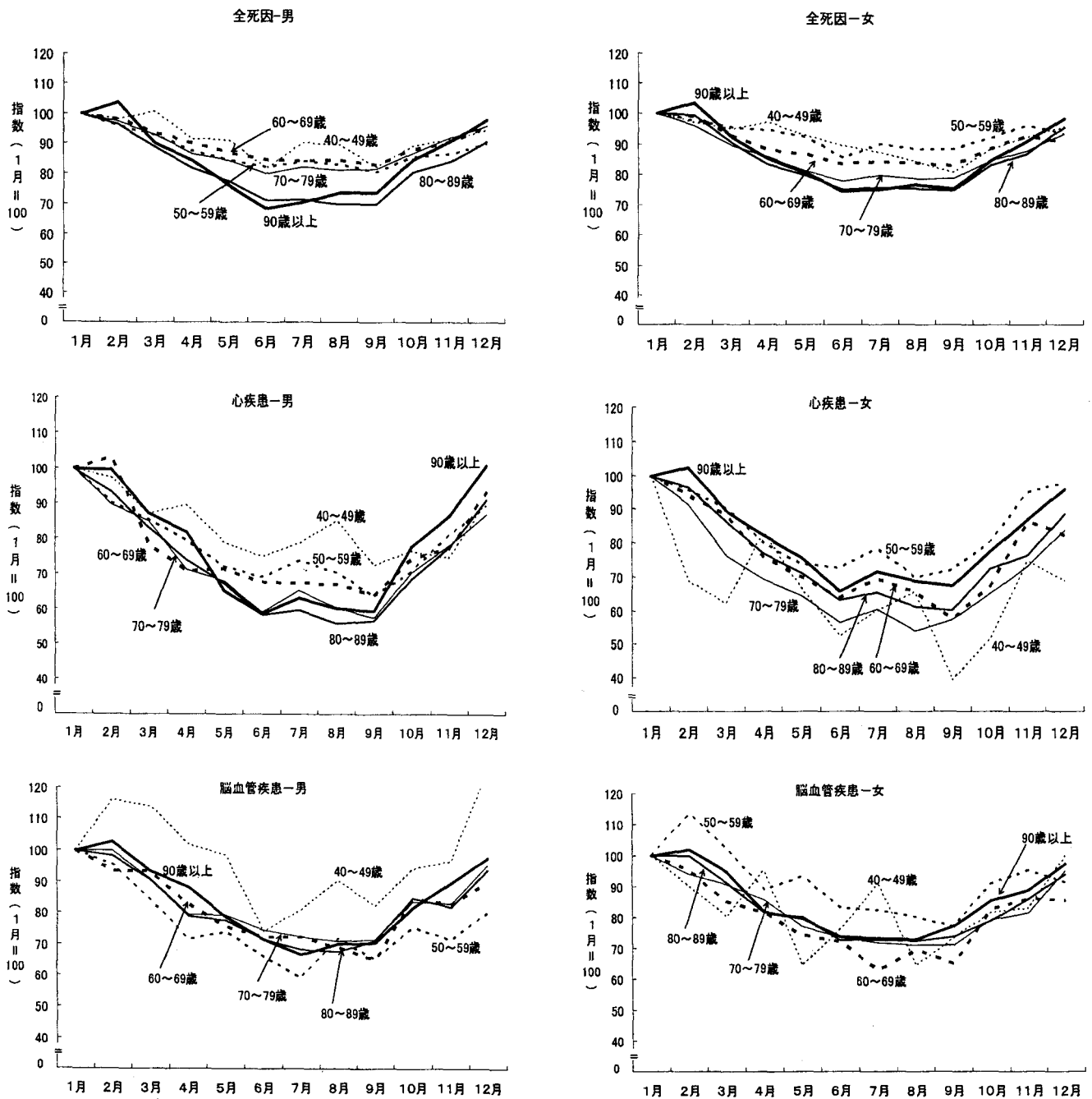


(3) 性・年齢階級別の状況

平成 16 年の 1 日平均死亡数 (1 月=100) を性・年齢階級別にみると、「全死因」では年齢が高くなるにしたがって夏季が少なくなっており、特に男の「80~89 歳」「90 歳以上」は顕著になっている。

「心疾患」と「脳血管疾患」について年齢階級別にみると、男女ともに「40~49 歳」「50~59 歳」では月ごとの変動が大きく夏季の凹みは不明瞭となっており、特に「40~49 歳」の 1 日平均死亡数が少ないため、月ごとの変動が大きくなっている。男の 70 歳以上、女の 60 歳以上では夏季の凹みが大きく、性別にみると男の方が大きくなっている。(図 14、表 11、表 12)

図 14 心疾患-脳血管疾患死亡の性・年齢(10 歳階級)別の月別 1 日平均死亡指数(1 月=100)
-平成 16 年-



注:「39 歳以下」は死亡数が少なく数値が不安定なため、図 14 では省略する。

(4) 性・病類別の状況

性・病類別にみると、男女ともに「心疾患」より「脳血管疾患」の方が病類による差が大きくなっている。特に女の「くも膜下出血」は「脳内出血」「脳梗塞」に比べ夏季の凹みが小さくなっている。(図 15、表 13、表 14)

図 15 心疾患－脳血管疾患死亡の性・病類別月別1日平均死亡指数(1月=100)－平成16年－

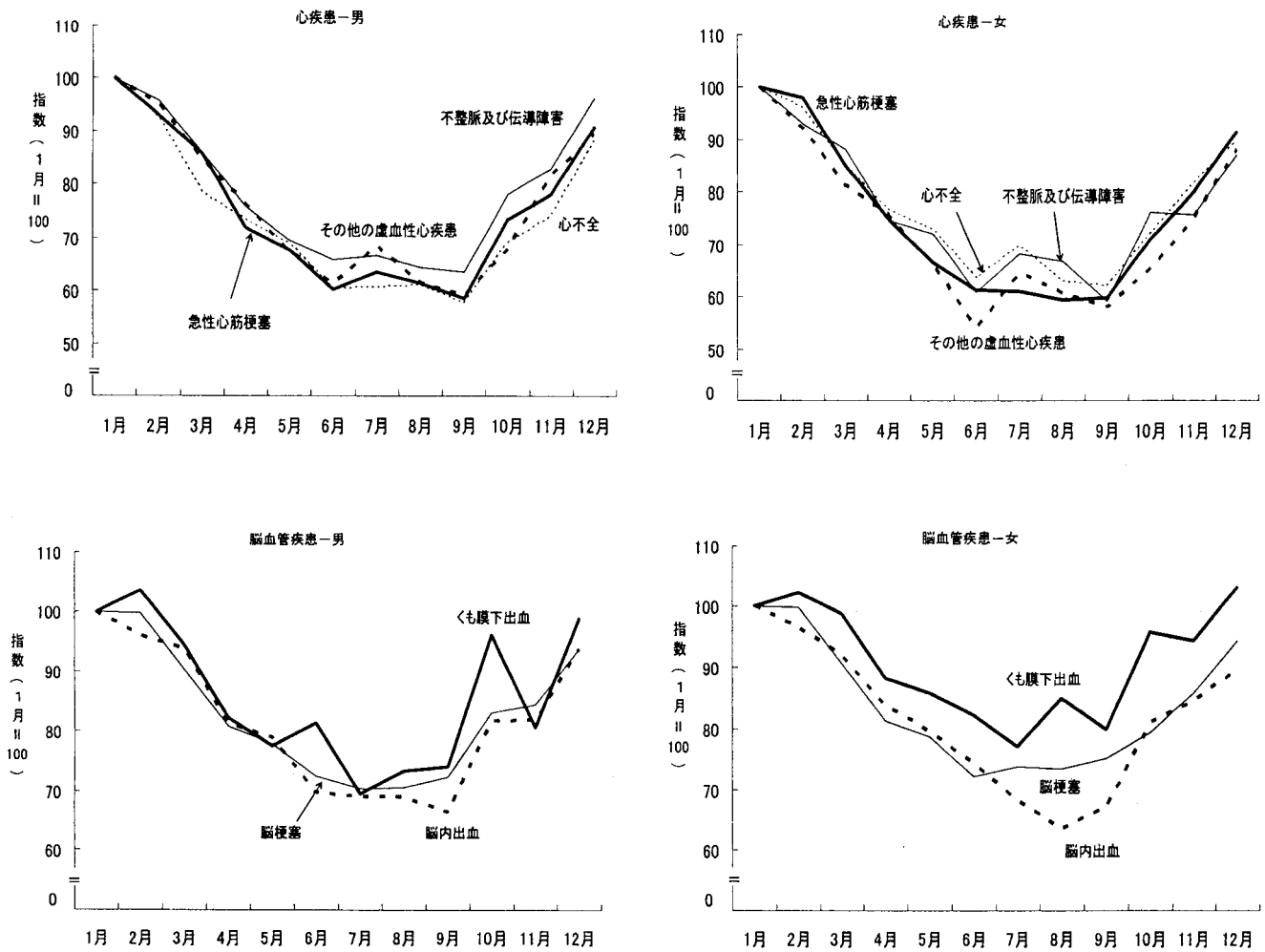


表 13 心疾患－脳血管疾患死亡の性・病類別月別1日平均死亡指数(1月=100)－平成16年－

性・病類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男												
心疾患	100.0	94.3	83.6	74.9	69.0	62.1	64.9	62.0	59.9	72.0	79.0	91.2
急性心筋梗塞	100.0	93.2	85.9	72.0	67.6	60.2	63.5	61.5	58.5	73.5	78.2	90.8
その他の虚血性心疾患	100.0	95.2	84.8	76.5	67.6	61.3	68.6	61.5	59.2	67.9	81.7	89.3
不整脈及び伝導障害	100.0	95.8	86.0	76.1	69.6	65.8	66.7	64.5	63.5	78.1	82.9	96.3
心不全	100.0	92.8	78.6	73.5	68.9	60.4	60.7	61.0	57.6	69.1	74.1	88.2
脳血管疾患	100.0	98.7	91.2	80.9	78.1	72.3	69.6	70.2	70.0	83.6	82.9	93.8
くも膜下出血	100.0	103.6	94.3	82.3	77.7	81.4	69.6	73.4	74.2	96.2	80.6	98.9
脳内出血	100.0	96.0	93.9	81.3	79.0	69.8	69.0	69.1	66.5	81.7	81.9	93.9
脳梗塞	100.0	99.8	90.4	80.9	78.0	72.6	70.4	70.7	72.3	83.1	84.4	93.8
女												
心疾患	100.0	96.7	85.2	77.2	71.3	62.8	66.9	62.6	61.6	72.1	80.0	89.5
急性心筋梗塞	100.0	97.9	84.9	74.9	66.5	61.3	61.1	59.3	59.7	71.2	80.1	91.4
その他の虚血性心疾患	100.0	92.2	81.2	75.7	66.4	54.1	64.6	60.7	58.2	65.4	75.3	88.1
不整脈及び伝導障害	100.0	93.2	88.2	74.7	72.3	60.9	68.3	66.8	59.1	76.2	75.8	87.0
心不全	100.0	96.2	85.0	76.7	73.0	63.6	70.0	62.9	62.0	72.2	81.7	89.7
脳血管疾患	100.0	99.4	92.0	83.0	79.4	73.7	72.9	72.4	73.8	81.7	86.4	94.8
くも膜下出血	100.0	102.3	98.8	88.3	85.8	82.2	77.1	85.0	79.9	95.9	94.5	103.2
脳内出血	100.0	96.5	92.1	83.8	79.6	74.4	68.4	63.5	67.1	81.0	84.4	89.8
脳梗塞	100.0	99.9	90.8	81.3	78.6	72.2	73.8	73.5	75.2	79.4	85.9	94.4

表 14 心疾患－脳血管疾患死亡の性・病類別月別1日平均死亡数－平成16年－

(単位:人)

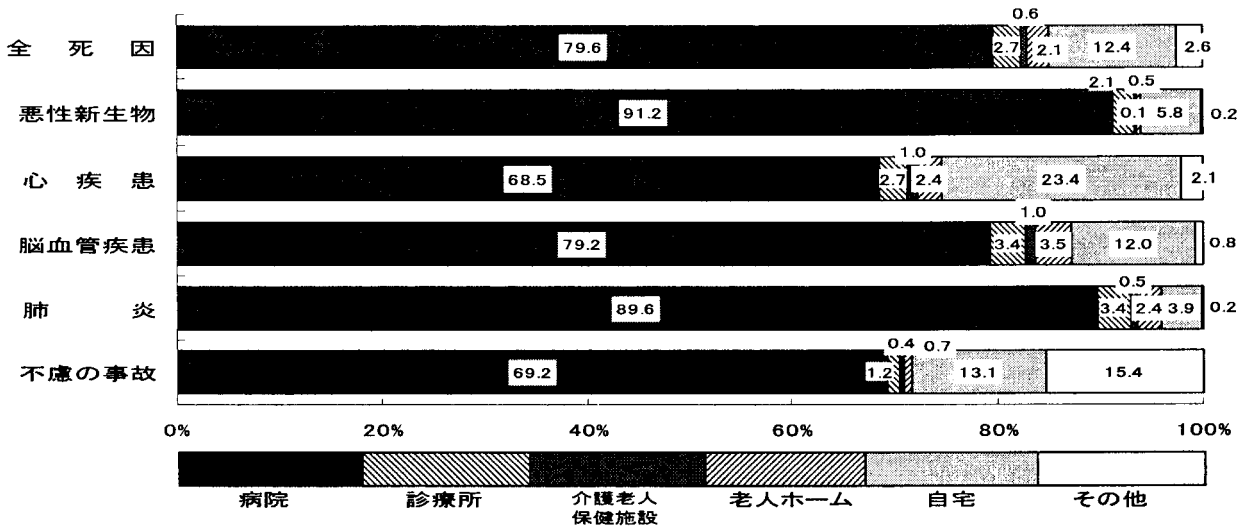
性・病類	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
男													
心疾患	211.7	278.3	262.5	232.7	208.5	191.9	172.8	180.7	172.6	166.7	200.5	219.8	253.8
急性心筋梗塞	66.1	87.6	81.7	75.3	63.1	59.3	52.7	55.6	53.9	51.3	64.4	68.5	79.6
その他の虚血性心疾患	40.5	53.3	50.7	45.2	40.7	36.0	32.7	36.5	32.7	31.5	36.2	43.5	47.6
不整脈及び伝導障害	27.5	34.9	33.5	30.0	26.6	24.3	23.0	23.3	22.5	22.2	27.3	29.0	33.6
心不全	57.5	78.0	72.4	61.3	57.3	53.8	47.1	47.4	47.6	44.9	53.9	57.8	68.8
脳血管疾患	168.2	203.6	200.9	185.7	164.7	158.9	147.3	141.8	142.9	142.6	170.3	168.8	190.9
くも膜下出血	15.1	17.6	18.2	16.6	14.5	13.7	14.3	12.3	12.9	13.1	16.9	14.2	17.4
脳内出血	48.2	58.9	56.6	55.3	47.9	46.5	41.1	40.6	40.7	39.2	48.1	48.3	55.3
脳梗塞	100.3	120.8	120.6	109.2	97.8	94.2	87.7	85.0	85.4	87.4	100.4	102.0	113.3
女													
心疾患	224.5	291.1	281.4	247.9	224.7	207.5	182.9	194.7	182.2	179.3	209.9	232.9	260.5
急性心筋梗塞	55.4	73.3	71.7	62.2	54.9	48.7	44.9	44.8	43.5	43.8	52.2	58.7	66.9
その他の虚血性心疾患	32.8	44.6	41.1	36.2	33.8	29.6	24.1	28.8	27.1	25.9	29.2	33.6	39.3
不整脈及び伝導障害	27.9	36.3	33.8	32.0	27.1	26.2	22.1	24.8	24.2	21.4	27.6	27.5	31.5
心不全	83.4	107.4	103.2	91.3	82.4	78.4	68.3	75.1	67.5	66.6	77.5	87.7	96.3
脳血管疾患	184.4	219.3	217.9	201.7	182.0	174.2	161.7	160.0	158.8	161.9	179.3	189.4	207.9
くも膜下出血	25.1	27.6	28.2	27.3	24.4	23.7	22.7	21.3	23.5	22.0	26.5	26.1	28.5
脳内出血	39.4	48.2	46.5	44.4	40.4	38.4	35.9	33.0	30.6	32.4	39.1	40.7	43.3
脳梗塞	114.7	137.0	136.9	124.4	111.4	107.7	98.9	101.1	100.7	103.1	108.8	117.8	129.4

10 死亡の場所別にみた心疾患－脳血管疾患死亡

(1) 平成 16 年の主な死因の死亡の場所

平成 16 年の主な死因について死亡の場所の構成割合をみると、いずれの死因でも「病院」の割合が多くなっている。また、「心疾患」の「自宅」の割合は、他の死因に比べて多くなっている。（図 16）

図 16 主な死因の死亡の場所別構成割合 -平成 16 年-

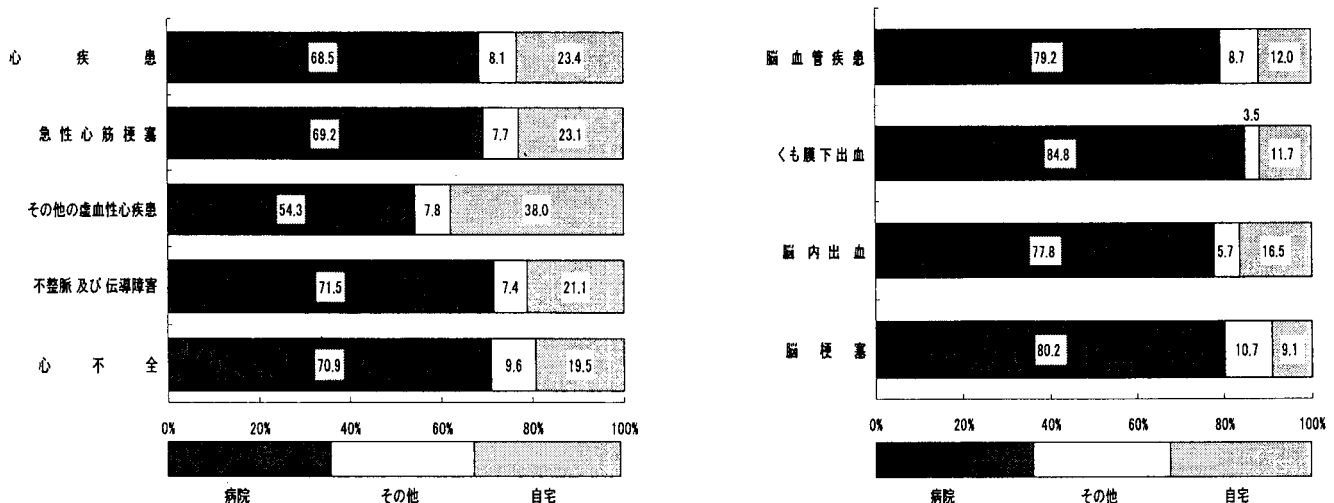


注:「その他」には助産所を含む。

(2) 病類別の状況

平成 16 年の「心疾患」と「脳血管疾患」について死亡の場所をそれぞれの病別にみると、「心疾患」では、「その他の虚血性心疾患」で「病院」が少なく「自宅」が多くなっている。「脳血管疾患」では、「くも膜下出血」で「病院」が多く、「脳内出血」で「自宅」が多くなっている。（図 17）

図 17 病別にみた心疾患－脳血管疾患の死亡の場所別構成割合 -平成 16 年-



注:「その他」には診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、助産所を含む。

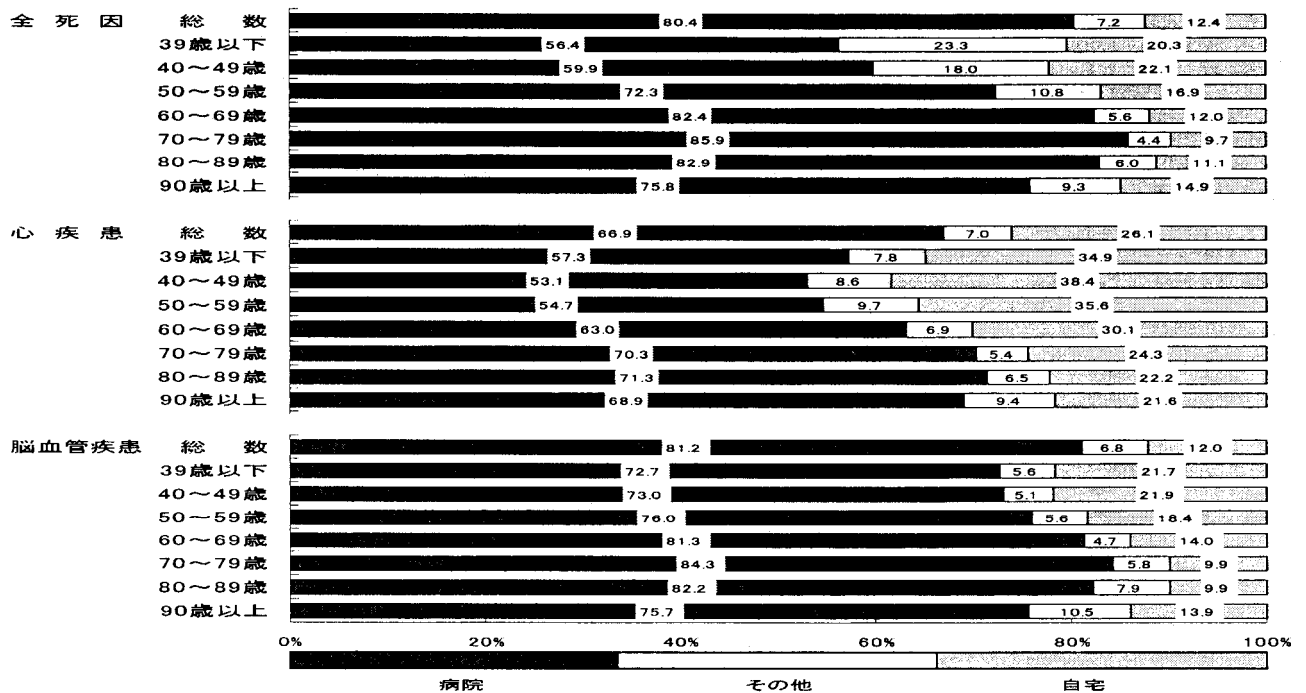
(3) 性・年齢階級別の状況

性・年齢階級別に死亡の場所の構成割合をみると、「全死因」では、男女とも若年層の「病院」の割合が少なくなっている。

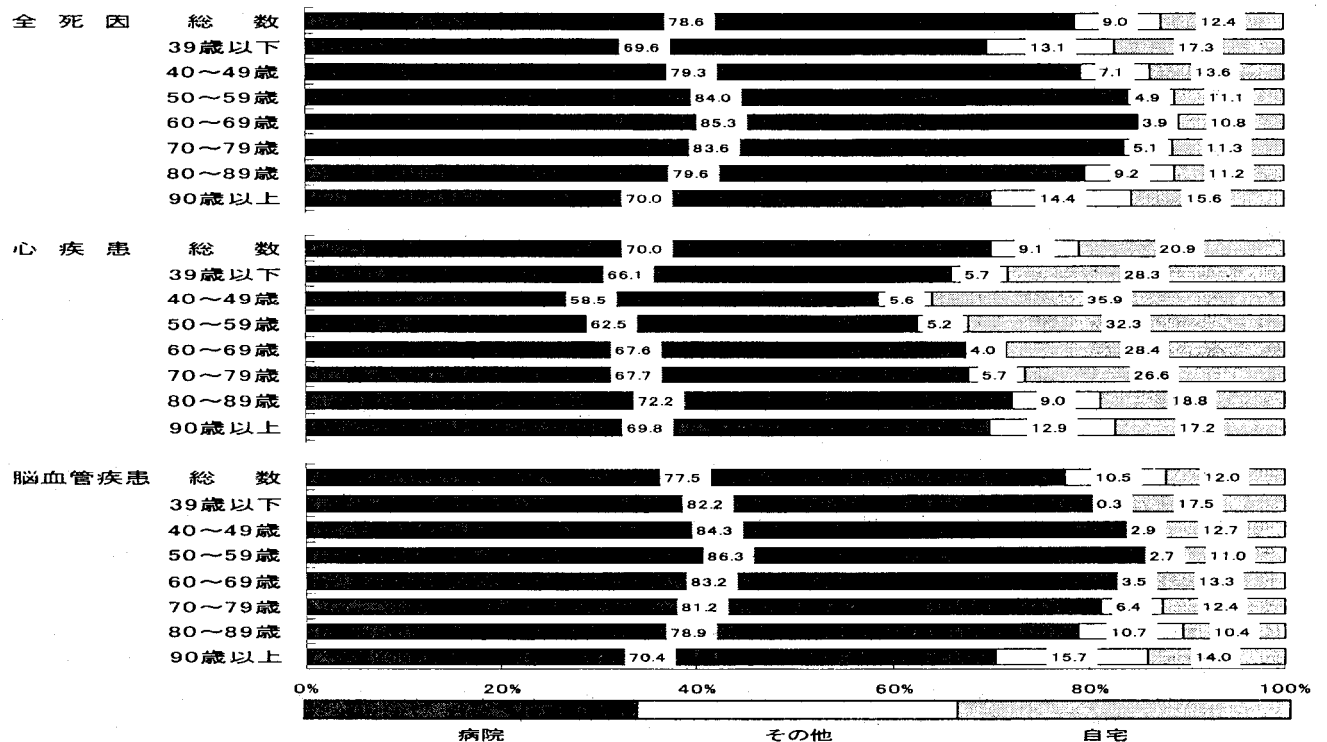
40歳代～80歳代の「心疾患」では年齢が高くなるにしたがって「病院」の割合が多くなるが、「脳血管疾患」では年齢による差が比較的小さくなっている。

(図 18)

図 18 性・年齢(10歳階級)別にみた心疾患—脳血管疾患の死亡の場所別構成割合—平成16年—男



女



注:「その他」には診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、助産所を含む。

(4) 都道府県別の状況

都道府県別に死亡の場所の構成割合をみると、「全死因」で「病院」の割合は北海道で最も高く、和歌山県で最も低くなっている。

「心疾患」と「脳血管疾患」についてみると、「病院」の割合は「心疾患」「脳血管疾患」とともに福岡県で最も高く、「心疾患」では和歌山県で、「脳血管疾患」では長野県で最も低くなっている。(表 15、図 19)

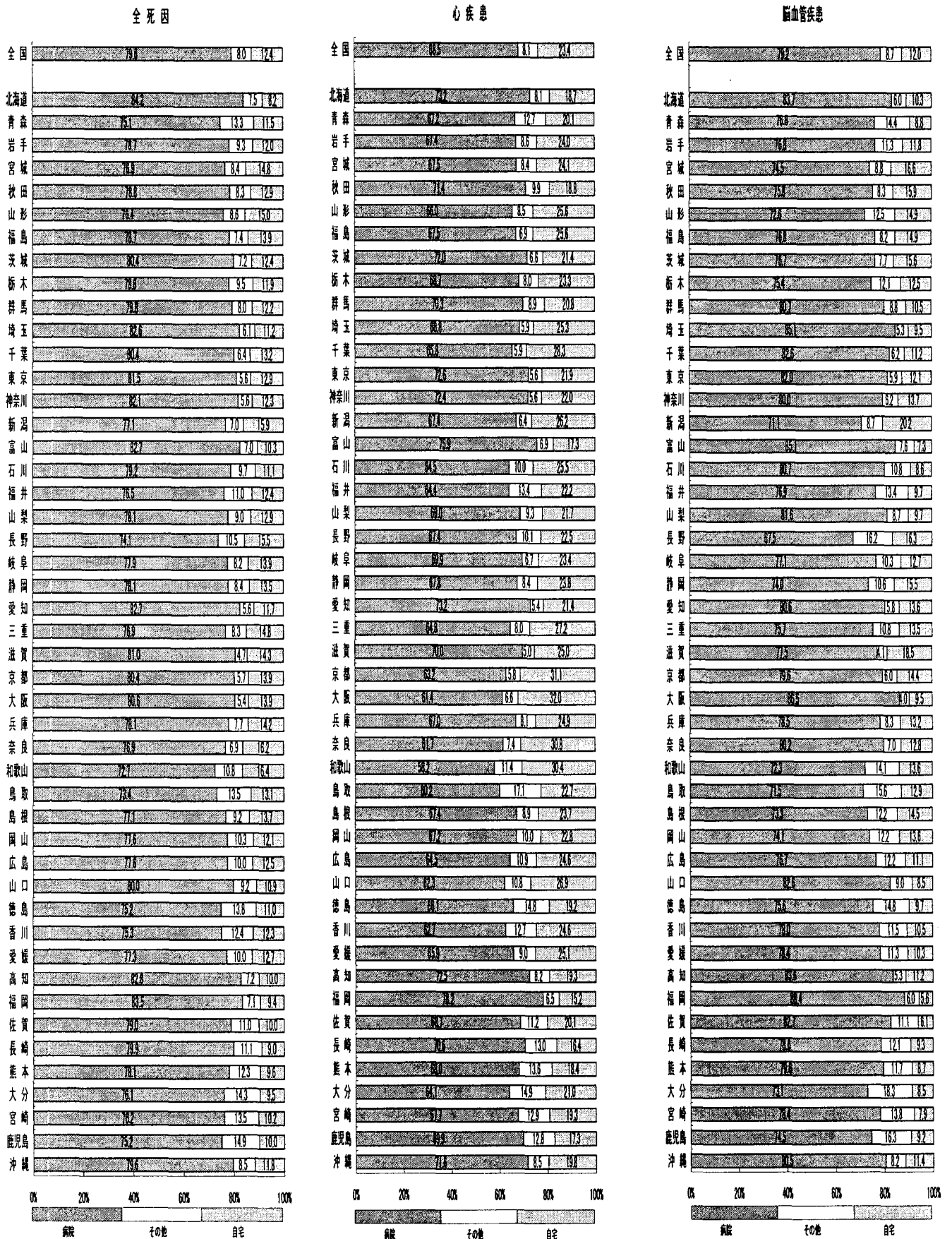
表 15 都道府県別にみた心疾患－脳血管疾患の死亡の場所別構成割合 ー平成 16 年ー

(単位:%)

都道府県	全死因							心疾患							脳血管疾患						
	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他	総数	病院	診療所	介護老人保健施設	老人ホーム	自宅	その他
全 国	100.0	79.6	2.7	0.6	2.1	12.4	2.6	100.0	68.5	2.7	1.0	2.4	23.4	2.1	100.0	79.2	3.4	1.0	3.5	12.0	0.8
北 海 道	100.0	84.2	2.9	0.4	1.2	8.2	3.1	100.0	73.2	3.4	0.7	2.1	18.7	2.0	100.0	83.7	2.6	0.4	1.8	10.3	1.1
青 森	100.0	75.1	6.6	1.3	1.9	11.5	3.5	100.0	67.2	7.3	1.5	1.9	20.1	2.1	100.0	76.8	6.5	2.8	4.1	8.8	1.0
岩 手	100.0	78.7	2.8	1.5	1.9	12.0	3.1	100.0	67.4	2.1	2.0	1.9	24.0	2.5	100.0	76.8	3.9	2.3	4.4	11.8	0.8
宮 城	100.0	76.9	2.6	0.8	1.6	14.8	3.3	100.0	67.5	3.2	0.9	2.3	24.1	1.9	100.0	74.5	3.1	1.6	2.9	16.6	1.1
秋 田	100.0	78.8	2.2	0.7	2.7	12.9	2.7	100.0	71.4	3.6	1.9	3.1	18.8	1.4	100.0	75.8	2.5	0.9	3.9	15.9	1.0
山 形	100.0	76.4	2.2	0.7	3.5	15.0	2.2	100.0	66.0	2.6	0.8	3.9	25.6	1.3	100.0	72.6	2.7	1.2	7.5	14.9	1.0
福 島	100.0	78.7	2.5	0.6	1.5	13.9	2.8	100.0	67.5	2.8	1.0	1.2	25.6	1.8	100.0	76.8	3.7	0.7	3.0	14.9	0.9
茨 城	100.0	80.4	2.8	0.5	1.5	12.4	2.4	100.0	72.0	2.6	0.8	1.7	21.4	1.4	100.0	76.7	4.3	0.8	1.7	15.6	0.9
栃 木	100.0	78.6	4.2	0.8	2.5	11.9	2.1	100.0	68.7	3.1	1.0	2.2	23.3	1.6	100.0	75.4	5.5	1.3	4.6	12.5	0.7
群 馬	100.0	79.8	2.7	1.0	1.9	12.2	2.4	100.0	70.3	3.4	1.5	1.9	20.8	2.0	100.0	80.7	3.9	1.8	2.5	10.5	0.6
埼 玉	100.0	82.6	2.5	0.3	1.2	11.2	2.1	100.0	68.8	2.3	0.6	1.6	25.3	1.4	100.0	85.1	2.5	0.4	1.8	9.5	0.7
千 葉	100.0	80.4	2.3	0.5	1.1	13.2	2.5	100.0	65.8	1.7	0.7	1.3	28.3	2.1	100.0	82.6	2.9	0.9	1.6	11.2	0.8
東 京	100.0	81.5	1.6	0.2	1.8	12.9	2.0	100.0	72.6	1.6	0.4	1.9	21.9	1.6	100.0	82.0	2.4	0.2	2.6	12.1	0.7
神 奈 川	100.0	82.1	1.4	0.3	1.6	12.3	2.3	100.0	72.4	1.5	0.5	1.6	22.0	2.0	100.0	80.0	2.3	0.4	2.8	13.7	0.8
新 潟	100.0	77.1	0.6	1.2	3.0	15.9	2.3	100.0	67.4	0.4	1.5	2.7	26.2	1.8	100.0	71.1	0.9	1.8	5.3	20.2	0.8
富 山	100.0	82.7	1.8	0.7	2.3	10.3	2.2	100.0	75.9	2.0	1.3	2.3	17.3	1.3	100.0	85.1	2.6	1.1	3.7	7.3	0.2
石 川	100.0	79.2	3.0	1.5	2.4	11.1	2.9	100.0	64.5	3.4	1.4	2.6	25.5	2.6	100.0	80.7	2.4	2.7	4.6	8.6	1.0
福 井	100.0	76.5	3.9	1.2	3.6	12.4	2.3	100.0	64.4	5.0	1.9	3.9	22.2	2.6	100.0	76.9	4.2	1.3	7.3	9.7	0.6
山 梨	100.0	78.1	3.3	0.7	2.2	12.9	2.8	100.0	69.0	2.4	1.4	3.1	21.7	2.4	100.0	81.6	3.4	1.5	3.1	9.7	0.7
長 野	100.0	74.1	2.1	1.6	4.6	15.5	2.2	100.0	67.4	2.1	2.5	4.2	22.5	1.3	100.0	67.5	2.9	2.9	9.6	16.3	0.7
岐 阜	100.0	77.9	3.3	0.8	1.6	13.9	2.5	100.0	69.9	2.8	0.6	1.8	23.4	1.5	100.0	77.1	5.5	1.9	1.8	12.7	1.0
静 岡	100.0	78.1	2.6	0.6	3.0	13.5	2.2	100.0	67.8	2.5	1.0	2.8	23.8	2.0	100.0	74.0	4.4	0.9	4.6	15.5	0.6
愛 知	100.0	82.7	1.9	0.5	1.0	11.7	2.2	100.0	73.2	1.8	0.8	1.4	21.4	1.5	100.0	80.6	2.9	0.8	1.5	13.6	0.7
三 重	100.0	76.9	2.2	1.1	2.8	14.8	2.2	100.0	64.8	1.6	1.4	3.1	27.2	1.9	100.0	75.7	3.8	1.9	4.6	13.5	0.5
滋 賀	100.0	81.0	0.7	0.2	1.6	14.3	2.2	100.0	70.0	0.7	0.3	2.1	25.0	1.9	100.0	77.5	1.2	0.3	1.6	18.5	1.0
京 都	100.0	80.4	0.5	0.3	2.3	13.9	2.6	100.0	63.2	0.4	0.4	2.0	31.1	2.9	100.0	79.6	0.8	0.5	4.0	14.4	0.7
大 阪	100.0	80.6	0.9	0.2	1.2	13.9	3.0	100.0	61.4	0.8	0.5	2.1	32.0	3.2	100.0	86.5	1.2	0.3	1.8	9.5	0.7
兵 庫	100.0	78.1	2.1	0.4	2.4	14.2	2.8	100.0	67.0	2.2	0.6	2.9	24.9	2.4	100.0	78.5	2.7	0.5	4.3	13.2	0.7
良 奈	100.0	76.9	0.8	0.2	2.7	16.2	3.2	100.0	61.7	1.0	0.4	3.0	30.8	3.0	100.0	80.2	0.9	0.2	5.0	12.8	1.0
和 歌 山	100.0	72.7	3.6	1.2	3.6	16.4	2.5	100.0	58.2	3.0	1.6	4.8	30.4	2.0	100.0	72.3	5.9	2.1	4.8	13.6	1.2
鳥 取	100.0	73.4	4.6	2.3	3.4	13.1	3.2	100.0	60.2	5.2	4.3	4.1	22.7	3.4	100.0	71.5	4.9	4.4	5.9	12.9	0.5
島 根	100.0	77.1	1.6	1.0	3.9	13.7	2.7	100.0	67.4	1.4	1.0	4.9	23.7	1.6	100.0	73.3	2.4	1.6	7.1	14.5	1.2
岡 山	100.0	77.6	4.3	1.0	2.6	12.1	2.3	100.0	67.2	3.4	1.4	3.6	22.8	1.6	100.0	74.1	6.1	1.6	3.6	13.6	0.9
広 島	100.0	77.6	3.4	0.5	3.2	12.5	2.8	100.0	64.5	3.5	1.1	4.1	24.6	2.2	100.0	76.7	4.6	0.6	5.7	11.1	1.2
山 口	100.0	80.0	3.2	0.6	3.0	10.9	2.4	100.0	62.3	3.1	1.5	3.6	26.9	2.6	100.0	82.6	2.8	0.8	4.4	8.5	1.0
徳 島	100.0	75.2	5.4	2.4	3.6	11.0	2.4	100.0	66.1	5.2	3.2	4.6	19.2	1.8	100.0	75.6	6.3	3.3	4.4	9.7	0.8
香 川	100.0	75.3	5.3	1.4	3.1	12.3	2.6	100.0	62.7	4.7	2.5	3.6	24.6	2.0	100.0	78.0	5.3	1.7	4.0	10.5	0.5
愛 媛	100.0	77.3	4.5	0.9	1.9	12.7	2.7	100.0	65.9	3.7	1.0	1.8	25.1	2.5	100.0	78.4	6.5	1.3	3.1	10.3	0.3
高 知	100.0	82.8	2.2	0.4	1.0	10.0	3.7	100.0	72.5	2.8	1.0	1.5	19.3	2.9	100.0	83.6	1.9	0.2	1.4	11.2	1.8
福 岡	100.0	83.5	2.5	0.5	1.4	9.4	2.6	100.0	78.2	2.2	0.9	1.8	15.2	1.6	100.0	88.4	2.7	0.6	2.2	5.6	0.4
佐 賀	100.0	79.0	4.6	1.0	2.9	10.0	2.6	100.0	68.7	4.3	1.4	3.5	20.1	2.0	100.0	82.7	4.0	1.9	4.6	6.1	0.6
長 崎	100.0	79.9	5.1	0.7	2.8	9.0	2.4	100.0	70.6	5.9	1.5	3.7	16.4	1.9	100.0	78.6	5.5	1.0	4.9	9.3	0.7
熊 本	100.0	78.1	6.1	0.6	3.2	9.6	2.3	100.0	68.0	6.6	1.1	3.8	18.4	2.0	100.0	79.6	5.8	0.8	4.4	8.7	0.8
大 分	100.0	76.1	6.8	1.3	3.7	9.5	2.5	100.0	64.1	6.0	1.5	5.7	21.0	1.7	100.0	73.1	8.2	2.4	7.3	8.5	0.5
宮 崎	100.0	76.2	7.8	0.7	2.4	10.2	2.6	100.0	67.7	7.7	1.2	2.2	19.3	1.8	100.0	78.4	9.1	0.9	3.6	7.9	0.2
鹿 児 島	100.0	75.2	8.7	0.6	3.1	10.0	2.4	100.0	69.9	7.3	0.8	3.0	17.3	1.7	100.0	74.5	9.0	0.9	5.4	9.2	1.0
沖 縄	100.0	79.6	2.1	0.6	1.9	11.8	4.0	100.0	71.6	2.4	1.4	1.5	19.8	3.2	100.0	80.5	1.7	1.3	3.2	11.4	2.0

注:1)「その他」には助産所を含む。
2) 都道府県は死亡した人の住所による。

図 19 都道府県別にみた心疾患—脳血管疾患の死亡の場所別構成割合 —平成 16 年—



注: 1) 「その他」には診療所、介護老人保健施設、老人ホーム、助産所を含む。
 2) 都道府県は死亡した人の住所による。

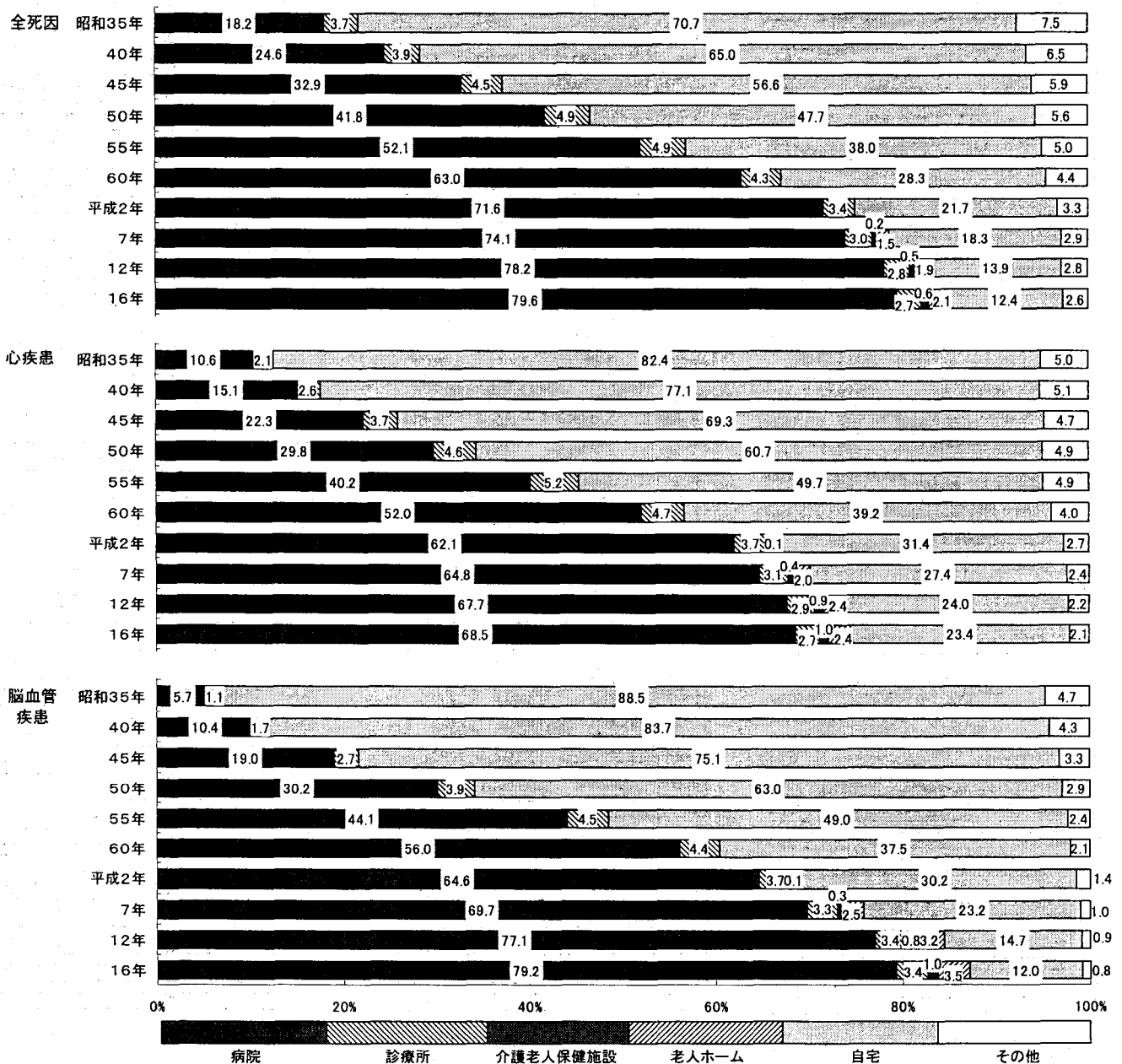
(5) 死因別にみた年次推移

死因別の死亡の場所の年次推移をみると、「全死因」で、昭和35年には70.7%が「自宅」で死亡していたが、昭和55年には「病院」の割合が50%を超え、平成16年には79.6%となっている。

「心疾患」と「脳血管疾患」では、昭和45年までは「病院」の割合が「脳血管疾患」より「心疾患」の方が多くなっていたが、その後「脳血管疾患」の方が多くなり、平成16年には「心疾患」68.5%、「脳血管疾患」79.2%となっている。

平成12年と平成16年の「自宅」の割合は、「心疾患」「脳血管疾患」ともほぼ同じ割合となっている。(図20)

図20 心疾患-脳血管疾患死亡の場所別構成割合の年次推移



注:「その他」には助産所を含む。

11 入院・外来受療率との関係

「心疾患」と「脳血管疾患」の粗死亡率（人口10万対）と患者調査における「高血圧性疾患」と「糖尿病」の外来受療率（人口10万対）について都道府県別にみると、「心疾患」と「脳血管疾患」の粗死亡率が高い都道府県では「高血圧性疾患」の外来受療率が高くなる傾向がある（表16、図21）。

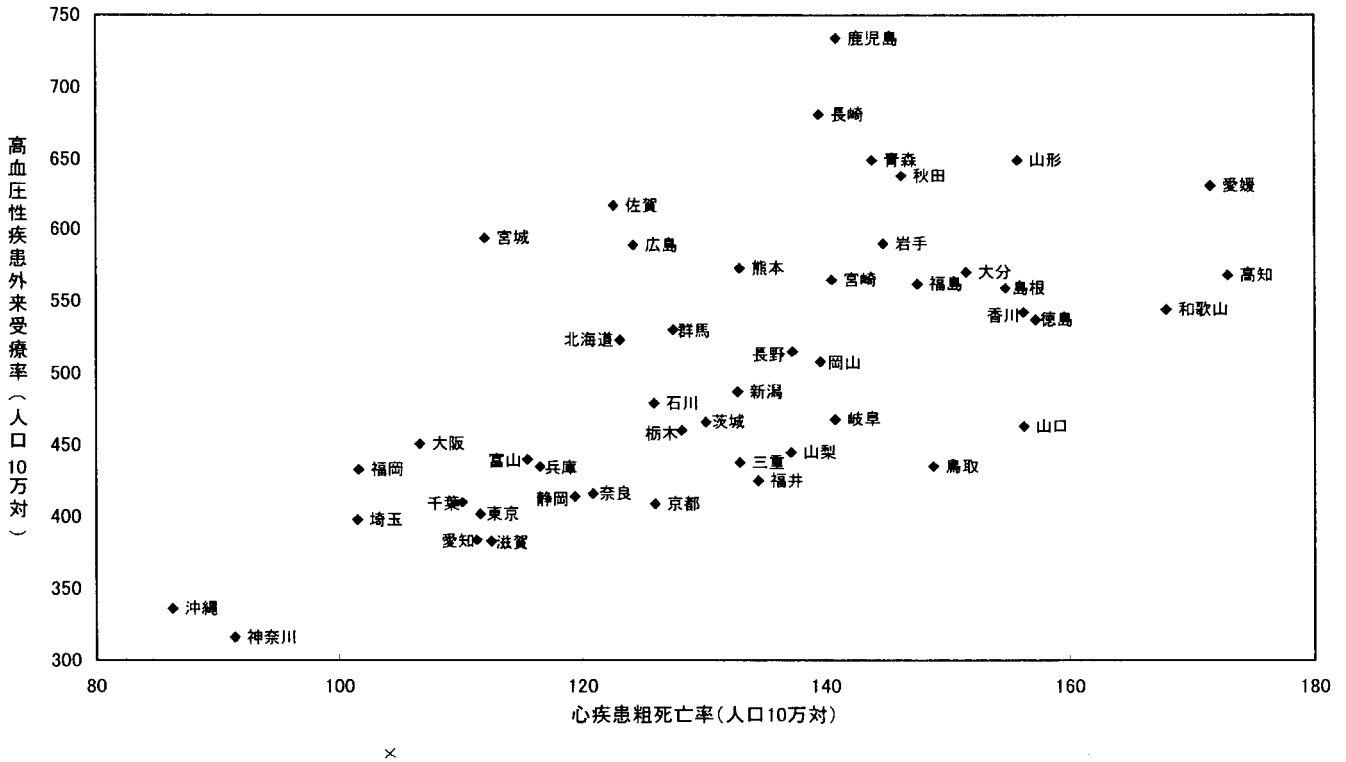
表 16 都道府県別にみた心疾患－脳血管疾患粗死亡率(人口 10 万対)及び高血圧性疾患－糖尿病受療率(人口 10 万対)の年次比較

都道府県	平成11年							平成14年						
	粗死亡率(人口10万対)		受療率(人口10万対)				粗死亡率(人口10万対)		受療率(人口10万対)					
	心疾患	脳血管疾患	高血圧性疾患		糖尿病		心疾患	脳血管疾患	高血圧性疾患		糖尿病			
入院			外来	入院	外来	入院			外来	入院	外来			
全 国	120.4	110.8	17	514	32	146	121.0	103.4	11	466	27	146		
北 海 道	126.4	102.3	42	620	58	193	123.1	99.3	27	523	48	179		
	139.6	140.1	16	663	37	173	143.8	133.2	14	649	33	193		
	148.5	162.6	10	661	32	173	144.7	149.7	13	590	32	120		
	109.9	122.0	10	575	27	166	112.0	112.8	8	594	21	169		
	137.2	182.2	16	705	29	153	146.2	165.7	4	638	26	162		
山 形 県	150.8	172.1	5	760	18	176	155.7	153.8	4	649	14	173		
	144.5	148.2	17	610	36	114	147.5	129.8	13	562	28	135		
	123.6	126.7	10	510	26	135	130.2	121.1	9	466	25	129		
	128.6	131.5	9	633	26	145	128.2	132.1	6	460	24	153		
	129.2	124.6	7	473	21	118	127.5	119.1	8	530	17	138		
埼 玉 県	97.1	83.1	9	455	21	122	101.5	83.3	5	398	18	119		
	107.7	94.5	8	432	20	110	110.1	88.0	5	410	17	112		
	113.2	99.8	10	415	24	143	111.6	91.3	6	402	20	108		
	86.1	90.6	8	416	20	101	91.4	81.2	6	316	16	114		
	131.2	156.2	8	608	24	133	132.8	147.9	5	487	19	119		
富 山 県	128.2	135.2	21	425	41	137	115.5	120.1	16	440	42	174		
	124.5	123.6	22	489	44	178	125.9	109.6	14	479	32	137		
	140.1	114.5	16	437	38	143	134.5	105.7	21	425	39	162		
	142.9	120.9	6	400	16	118	137.2	115.1	6	445	20	167		
	130.1	165.2	6	527	19	115	137.3	159.0	4	515	13	146		
岐 静 県	129.3	113.2	7	557	24	160	140.8	107.6	6	468	19	147		
	122.4	116.4	7	517	20	118	119.4	113.1	3	414	16	137		
	110.3	90.9	6	378	20	138	111.3	85.7	4	384	19	135		
	128.8	117.3	9	517	24	153	133.0	110.4	6	438	20	151		
	112.2	96.3	9	491	20	132	112.5	88.4	6	383	21	139		
京 大 阪 府	125.1	104.8	15	413	32	136	126.0	94.0	9	409	28	164		
	104.0	79.2	21	443	34	153	106.6	75.9	12	451	30	171		
	118.3	95.2	14	561	31	182	116.5	89.0	7	435	26	171		
	118.8	97.8	11	511	26	153	120.9	82.8	6	416	19	160		
	166.9	127.0	13	713	35	195	167.9	108.1	15	544	32	160		
鳥 島 岡 山 県	153.4	152.5	4	566	24	118	148.8	129.7	5	435	21	156		
	158.2	163.9	9	741	29	183	154.7	143.9	10	559	30	212		
	134.3	128.7	14	520	34	132	139.6	114.6	9	508	29	169		
	126.3	110.8	18	675	38	224	124.2	102.4	11	589	34	220		
	157.1	146.6	53	590	46	153	156.2	137.6	25	463	42	138		
徳 香 愛 高 福 県	164.7	142.7	31	565	88	252	157.2	121.7	21	537	67	232		
	140.7	130.0	19	549	42	199	156.2	118.2	17	542	36	225		
	166.4	134.4	20	671	45	224	171.5	124.4	18	631	46	170		
	176.6	154.1	48	679	79	190	172.9	158.2	24	568	48	192		
	105.6	98.8	37	495	54	157	101.6	93.1	19	433	39	125		
佐 長 熊 大 宮 県	122.7	124.5	26	653	39	160	122.6	117.5	23	617	35	193		
	141.4	119.1	51	745	52	127	139.5	119.3	26	681	46	137		
	141.5	120.7	37	643	58	138	133.0	114.2	27	573	47	159		
	156.3	131.5	48	552	50	153	151.5	124.8	27	570	38	153		
	134.4	125.2	28	685	37	114	140.5	117.9	15	565	31	152		
鹿 児 島 県	152.6	159.4	45	640	50	158	140.9	145.7	30	734	47	152		
	83.8	62.4	46	288	41	86	86.3	60.9	11	336	21	77		

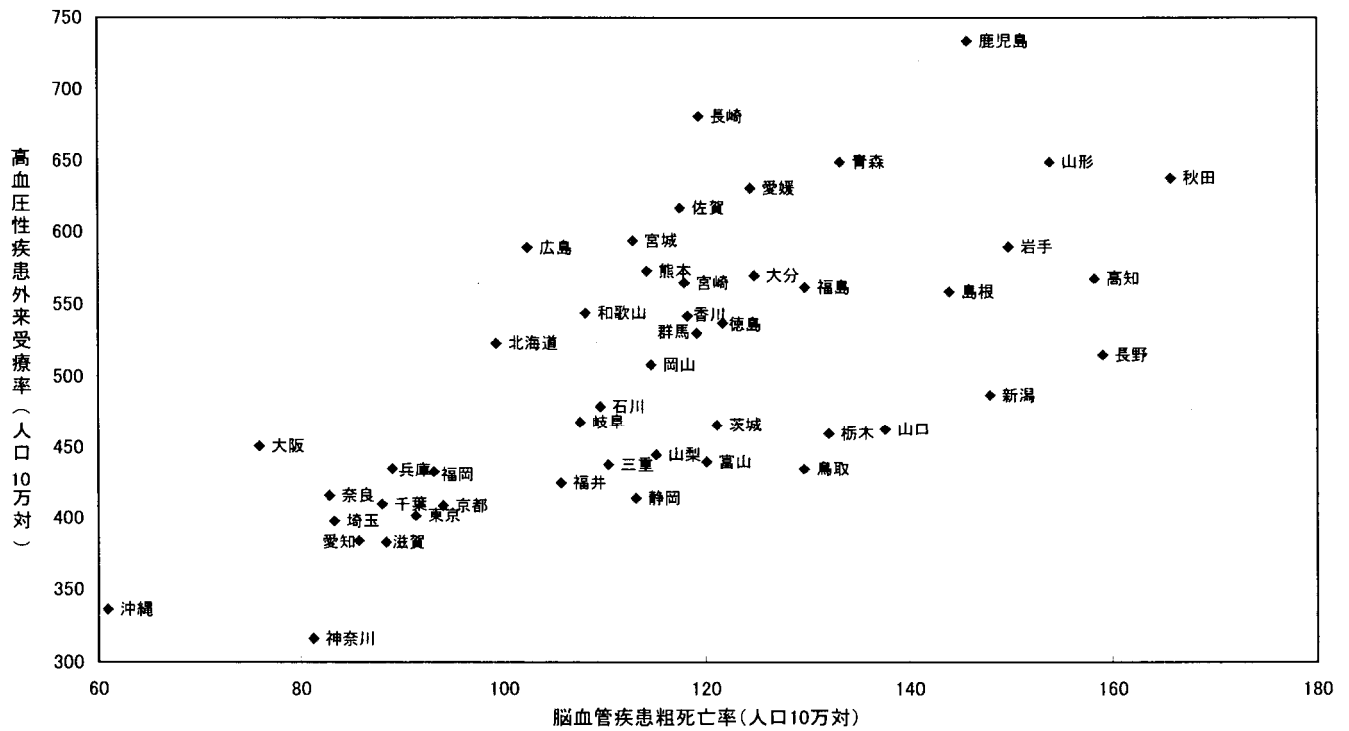
注:「受療率」は患者調査による。

図 21 粗死亡率と受療率の関係 —平成 14 年—

心疾患粗死亡率—高血圧性疾患外来受療率

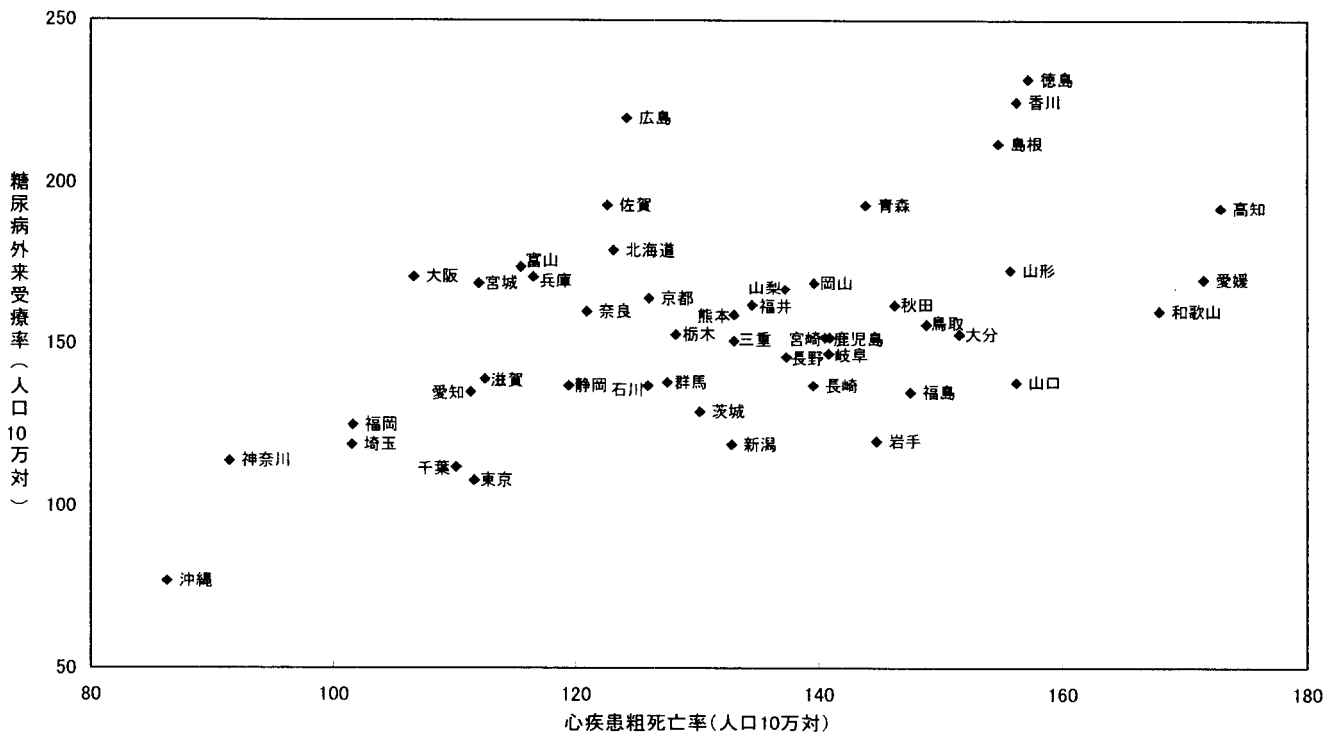


脳血管疾患粗死亡率—高血圧性疾患外来受療率

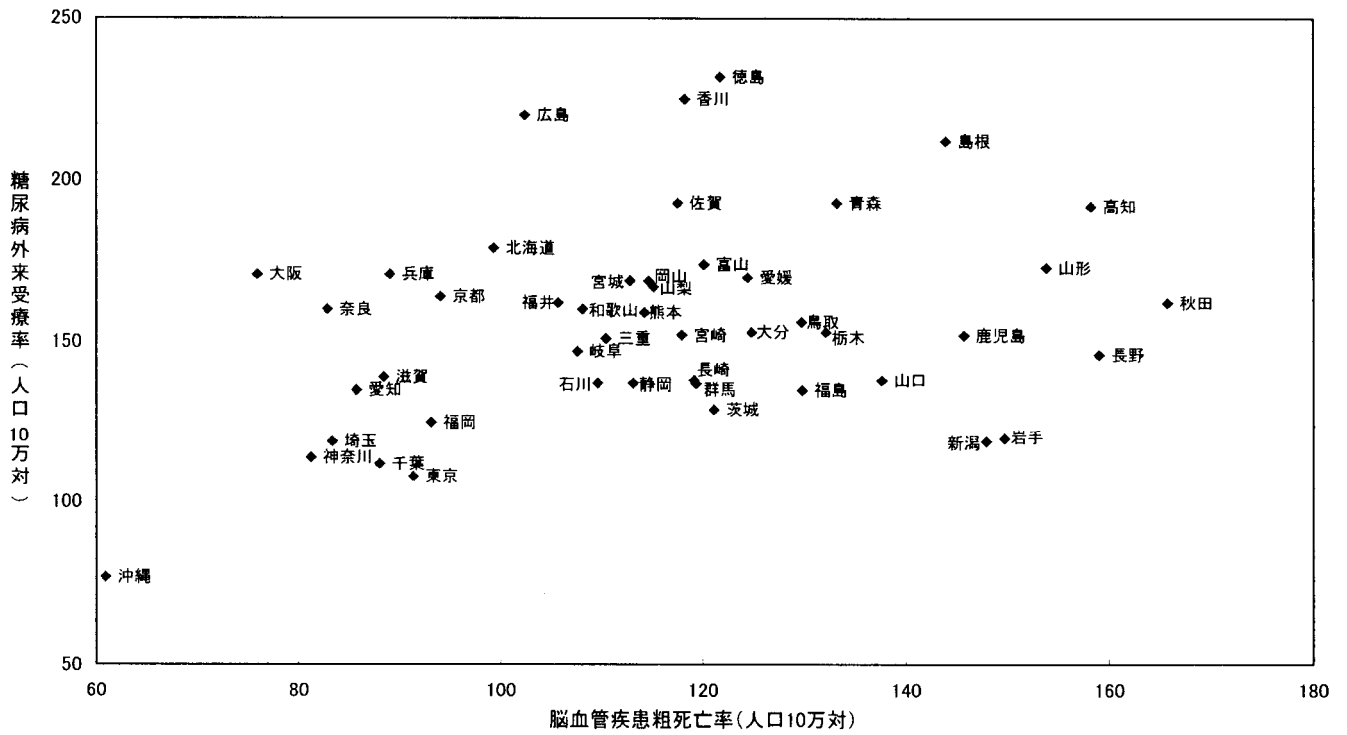


注:「受療率」は患者調査による。

心疾患粗死亡率－糖尿病外来受療率



脳血管疾患粗死亡率－糖尿病外来受療率



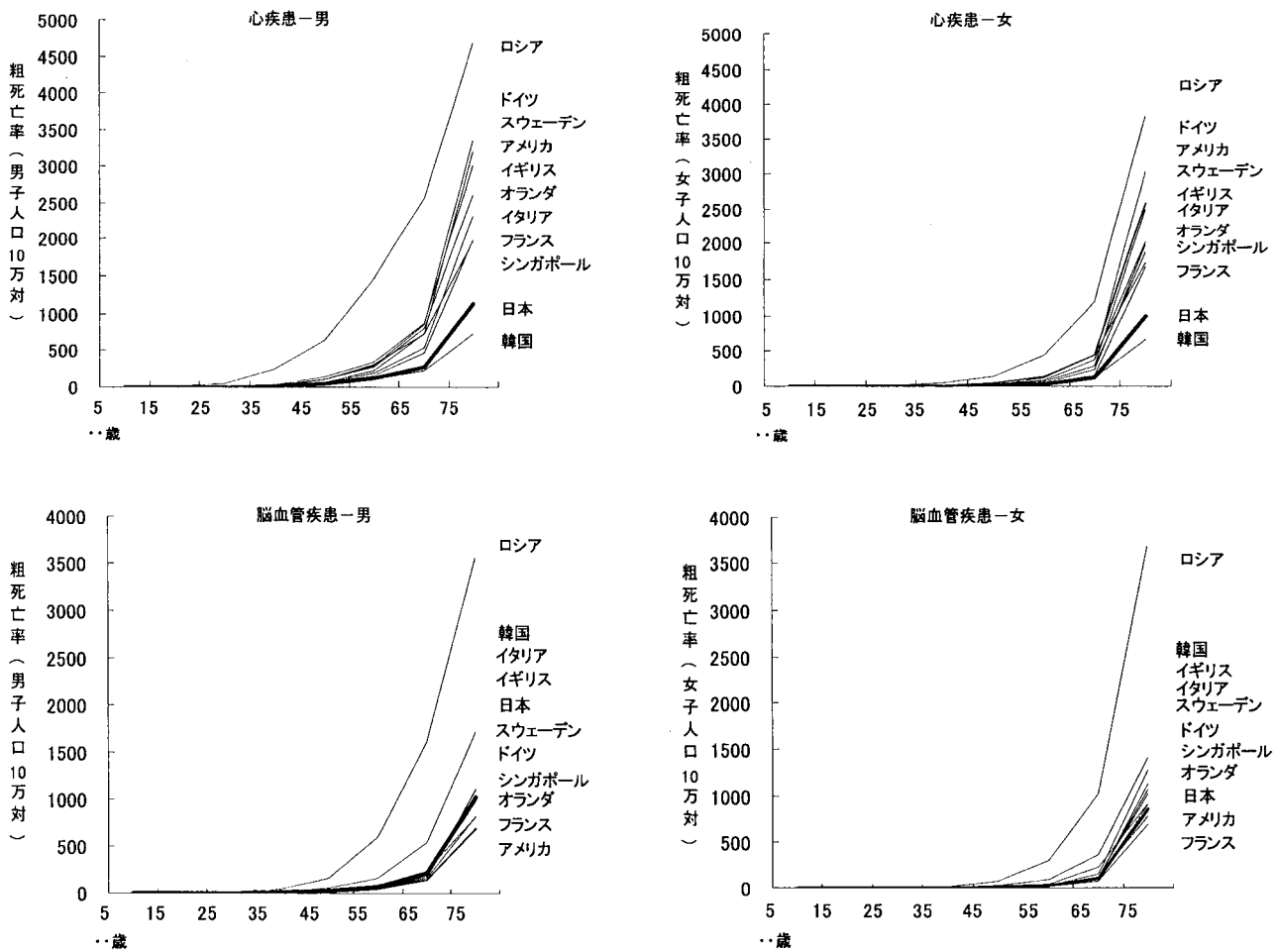
注:「受療率」は患者調査による。

12 諸外国との比較

諸外国の「心疾患」と「脳血管疾患」の粗死亡率(人口10万対)を年齢階級別にみると、「ロシア」が若い年齢層から高くなっている。また、直近の年齢調整死亡率(人口10万対)をみると、我が国は欧米諸国と比較して、「心疾患」では男女ともに低く、「脳血管疾患」では男でやや高くなっている。

近年の年次推移をみると、「心疾患」は「ロシア」を除いた欧米諸国では減少傾向にあるが、我が国では横ばいとなっている。「脳血管疾患」では、「ロシア」を除いて横ばいとなっている。(図22、表17、表18、図23)

図22 性・年齢(10歳階級)別心疾患-脳血管疾患粗死亡率(人口10万対)の国際比較



資料:WHO「World Health Statistics Annual」

- 注:1) 日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。
- 2) ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。
- 3) 国名は75歳以上の粗死亡率の高い順である。

表17 性・心疾患-脳血管疾患年齢調整死亡率(人口10万対)の国際比較

性	日本 2002年	アメリカ 2000年	韓国 2002年	シンガポール 2001年	フランス 2000年	ドイツ 2001年	イタリア 2001年	オランダ 2003年	ロシア 2002年	スウェーデン 2001年	イギリス 2002年
心疾患											
男	69.1	187.9	51.2	140.8	108.7	186.4	127.6	136.8	512.0	165.2	159.5
女	43.4	122.5	32.8	90.5	65.3	123.3	80.9	82.1	243.0	99.9	92.4
脳血管疾患											
男	55.2	35.4	102.6	46.6	34.4	46.5	49.2	38.9	267.0	45.6	50.9
女	37.4	35.3	73.1	44.1	28.1	40.8	43.2	37.1	201.1	42.4	51.7

資料:WHO「World Health Statistics Annual」

- 注:1) 年齢調整死亡率の基準人口は世界人口である。日本も世界人口を用いた。
- 2) 日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。
- 3) ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。

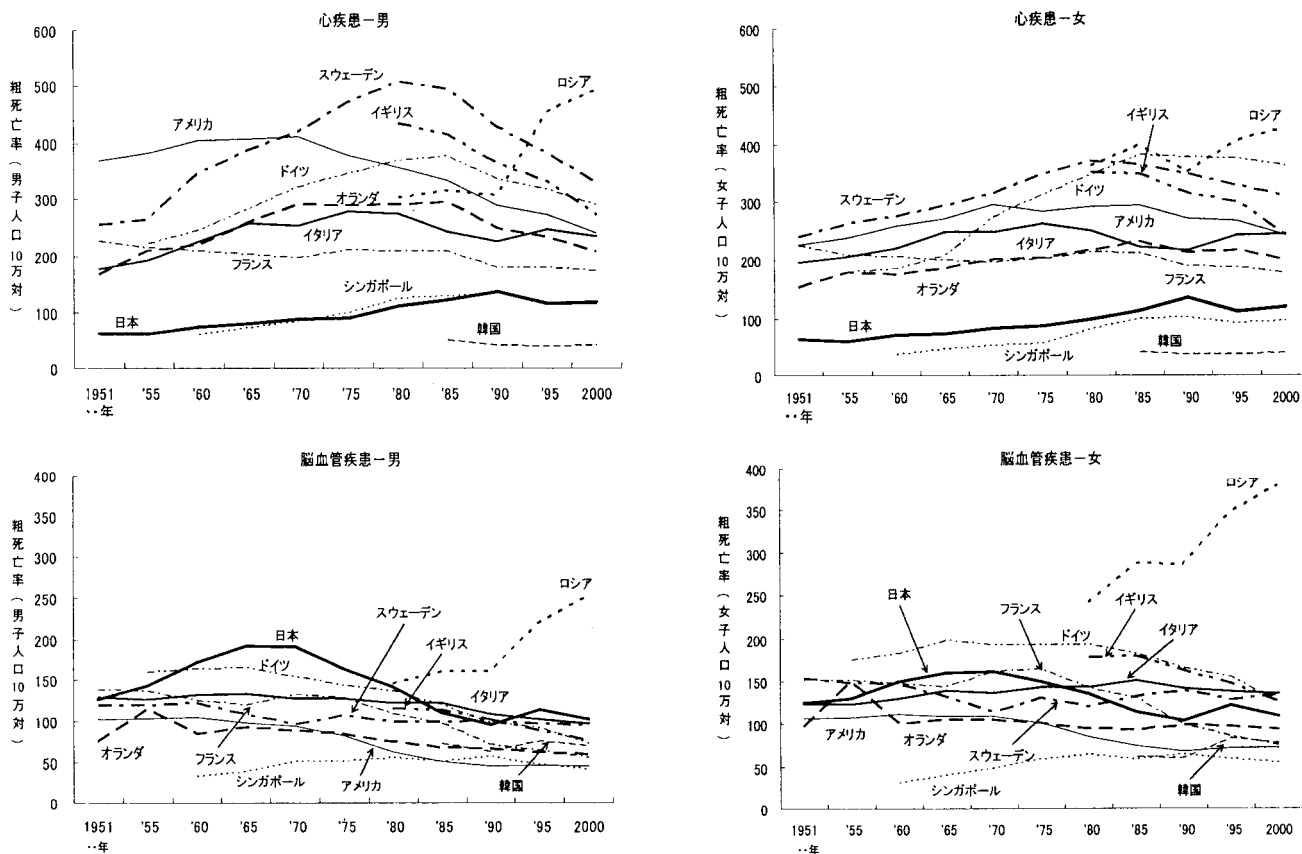
表 18 性・年齢(10歳階級)別心疾患-脳血管疾患粗死亡率(人口10万対)の国際比較

年齢階級	日本 2002年	アメリカ 2000年	韓国 2002年	シンガポール 2001年	フランス 2000年	ドイツ 2001年	イタリア 2001年	オランダ 2003年	ロシア 2002年	スウェーデン 2001年	イギリス 2002年
心疾患-男											
総数	122.9	241.8	39.0	121.1	172.4	285.2	236.1	193.8	553.4	321.6	262.7
5~14歳	0.7	0.7	0.8	0.0	0.4	0.6	1.1	0.4	0.7	0.9	0.4
15~24	3.5	3.1	2.4	3.8	1.8	2.1	3.2	2.8	8.8	1.9	2.0
25~34	7.6	8.8	5.8	5.0	3.9	6.1	8.7	5.7	59.8	3.5	6.0
35~44	19.7	38.2	17.4	25.1	22.0	26.9	22.9	24.7	239.0	15.1	27.0
45~54	53.7	131.9	43.0	103.7	67.5	101.5	73.9	83.4	637.9	78.3	103.0
55~64	115.1	356.3	100.9	317.0	157.5	292.2	192.5	214.3	1460.3	225.5	278.8
65~74	282.8	872.0	228.7	737.5	465.9	855.4	543.0	624.5	2563.3	733.2	792.9
75歳以上	1125.7	3011.9	734.4	1974.4	1981.8	3362.8	2315.1	2399.7	4688.7	3208.7	2605.3
心疾患-女											
総数	122.0	244.4	36.5	90.8	176.0	357.3	241.8	185.2	458.6	308.1	235.2
5~14歳	0.6	0.5	0.5	0.8	0.4	0.7	0.8	0.2	0.6	0.5	0.4
15~24	1.4	2.0	1.1	1.9	1.0	1.3	1.5	1.8	3.3	1.2	1.3
25~34	2.7	4.7	2.2	2.9	2.0	2.6	2.4	3.4	15.8	1.5	2.4
35~44	6.1	15.4	4.1	7.5	5.0	8.6	6.2	10.4	56.5	5.3	7.2
45~54	15.0	45.9	12.4	21.8	15.2	27.9	19.2	25.7	150.8	22.0	25.7
55~64	36.7	150.6	39.2	120.7	39.4	84.6	59.9	65.0	449.2	73.0	91.0
65~74	129.4	455.6	135.0	456.9	168.1	382.3	239.5	284.9	1199.9	290.3	374.0
75歳以上	997.7	2585.4	661.1	1735.2	1671.6	3037.3	1980.1	1885.9	3835.8	2495.1	2021.8
脳血管疾患-男											
総数	101.0	46.9	72.7	38.1	55.7	71.2	95.7	55.9	275.4	92.5	88.3
5~14歳	0.1	0.2	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.2
15~24	0.6	0.5	1.1	0.5	0.7	0.7	0.6	0.3	2.1	0.6	0.6
25~34	2.6	1.5	3.8	1.5	1.4	1.3	1.3	1.1	9.0	1.1	1.6
35~44	11.8	5.8	16.3	5.0	5.2	4.7	4.7	4.4	43.1	3.8	5.6
45~54	36.5	17.5	52.3	17.9	14.7	15.8	14.9	13.7	159.3	14.6	18.5
55~64	76.7	47.2	168.5	77.0	39.0	49.4	44.6	38.4	605.4	40.9	49.2
65~74	224.1	145.0	538.6	234.9	140.6	191.0	176.5	165.4	1619.3	174.8	202.0
75歳以上	1027.3	690.4	1717.6	829.5	699.8	989.2	1121.1	823.6	3553.4	1022.4	1101.4
脳血管疾患-女											
総数	105.6	71.8	81.7	44.3	74.2	118.8	132.4	85.2	396.6	131.6	138.0
5~14歳	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2
15~24	0.6	0.5	1.1	0.5	0.3	0.7	0.4	0.8	1.2	0.0	0.5
25~34	1.5	1.5	1.5	1.1	1.6	1.2	1.4	1.7	4.0	0.3	1.3
35~44	4.9	5.7	6.7	2.8	3.9	4.3	3.5	6.5	17.7	2.7	5.4
45~54	17.4	14.5	25.4	8.1	8.3	10.5	10.3	13.6	76.9	11.5	15.7
55~64	36.3	35.3	87.7	43.4	18.0	24.3	23.5	24.2	304.0	27.4	35.6
65~74	107.7	115.1	366.8	222.0	76.1	115.0	108.6	100.7	1022.1	118.5	146.1
75歳以上	860.2	783.6	1414.8	913.0	690.7	1022.5	1120.4	898.7	3687.4	1072.6	1274.4

資料:WHO「World Health Statistics Annual」

注:1)日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。
2)ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。

図 23 性・心疾患-脳血管疾患粗死亡率(人口10万対)の年次推移の国際比較



資料:WHO「World Health Statistics Annual」

注:1)日本の心疾患は「I26 肺塞栓症」及び「I28 その他の肺血管の疾患」を含む。
2)ロシアの心疾患は急性リウマチ熱を含む。
3)1990年以前のドイツは旧西ドイツの数値である。

第1表 主要死因別粗死亡率(人口10万対)の年次推移

年次	結核	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	胃腸炎	
1899	明治32年	155.7	44.7	48.6	170.5	99.8	50.1	13.7	127.2	149.7
1900	33年	163.7	46.4	48.1	159.2	102.3	45.3	13.4	131.0	133.8
1901	34年	172.7	49.9	49.3	169.6	111.8	40.6	17.7	111.4	126.5
1902	35年	183.6	54.7	53.0	166.7	119.0	44.6	17.9	117.4	122.5
1903	36年	186.9	56.1	52.0	162.3	106.7	44.9	19.4	124.0	110.7
1904	37年	189.1	56.3	55.1	168.2	113.0	46.2	19.4	136.8	119.3
1905	38年	206.0	57.2	55.5	163.4	128.4	43.9	17.4	139.9	137.2
1906	39年	204.2	59.2	54.8	156.1	114.3	46.2	16.3	128.0	127.9
1907	40年	203.7	60.0	60.4	165.7	132.0	47.9	16.9	132.8	147.9
1908	41年	206.1	63.5	59.6	153.8	138.1	46.0	17.4	123.4	143.5
1909	42年	234.0	67.5	67.1	139.6	145.6	43.9	18.8	128.7	214.7
1910	43年	230.2	67.1	65.0	131.9	142.1	44.7	19.1	120.2	213.4
1911	44年	222.1	68.6	63.3	131.9	139.7	45.7	18.8	113.9	210.6
1912	大正元年	225.8	68.1	61.7	133.4	146.1	47.2	18.7	114.2	200.3
1913	2年	215.9	69.6	60.6	130.1	157.0	43.5	20.2	110.7	194.2
1914	3年	217.8	71.0	62.4	131.8	160.7	49.0	20.9	118.3	227.3
1915	4年	219.7	71.6	63.7	128.8	163.1	46.1	19.2	112.5	223.7
1916	5年	227.7	73.7	69.2	138.2	186.0	44.7	17.9	127.8	235.7
1917	6年	230.5	72.7	69.9	144.1	183.3	49.7	17.1	132.3	239.9
1918	7年	257.1	73.6	81.8	157.6	375.5	49.6	18.5	149.9	266.1
1919	8年	240.9	71.7	62.6	153.3	274.5	45.7	18.0	126.2	248.6
1920	9年	223.7	72.6	63.5	157.6	313.9	46.8	19.0	131.3	254.2
1921	10年	213.0	72.1	66.0	159.7	200.7	43.3	20.0	133.5	273.4
1922	11年	218.7	71.6	65.0	159.3	196.3	44.4	20.1	132.4	267.5
1923	12年	203.4	72.7	72.6	162.8	205.2	122.7	19.8	131.8	284.2
1924	13年	194.0	70.8	69.1	174.6	209.6	43.7	19.1	125.7	258.0
1925	14年	194.1	70.6	66.8	161.2	216.2	41.8	20.5	117.3	238.2
1926	昭和元年	186.1	71.0	62.5	162.5	178.0	42.2	20.6	111.3	232.7
1927	2年	193.7	70.3	63.2	164.9	194.6	47.6	20.8	121.1	243.1
1928	3年	191.1	72.0	63.8	164.5	201.0	41.6	20.8	123.4	234.1
1929	4年	194.6	69.8	65.4	170.9	191.0	42.0	20.1	124.8	247.2
1930	5年	185.6	70.6	63.8	162.8	156.8	40.8	21.6	118.8	221.4
1931	6年	186.2	69.0	64.0	164.0	197.7	38.6	21.9	130.8	214.1
1932	7年	179.4	69.1	58.7	161.6	169.6	40.2	22.2	116.7	206.9
1933	8年	187.9	70.7	59.5	164.2	157.6	44.8	22.0	123.0	207.6
1934	9年	192.5	71.5	62.2	167.5	181.7	46.9	21.3	127.4	200.2
1935	10年	190.8	72.3	57.6	165.4	151.7	41.9	20.5	114.0	173.2
1936	11年	207.0	71.6	61.2	168.5	160.0	43.1	22.0	130.7	184.0
1937	12年	204.8	73.0	60.6	168.1	153.3	42.8	20.2	119.6	180.3
1938	13年	209.6	72.3	66.8	178.6	166.4	44.6	17.2	138.6	175.7
1939	14年	216.3	72.9	66.5	183.3	184.3	41.1	15.1	133.3	167.9
1940	15年	212.9	72.1	63.3	177.7	154.4	39.5	13.7	124.5	159.2
1941	16年	215.3	73.9	59.4	174.6	145.2	40.2	13.6	125.1	142.8
1942	17年	223.1	74.5	60.1	173.2	146.5	43.0	13.0	132.6	142.0
1943	18年	235.3	73.5	62.3	166.0	159.8	46.0	12.1	136.1	153.2
1947	22年	187.2	69.0	62.2	129.4	130.1	49.3	15.7	100.3	136.8
1948	23年	179.9	70.8	61.3	117.9	66.2	48.7	15.9	79.5	109.9
1949	24年	168.9	73.2	64.5	122.6	68.7	41.9	17.4	80.2	92.6

注: 1) 死因分類の改正により、年次別比較には完全な内容の一致をみることはできない。

2) 昭和25年の「脳血管疾患」には、B46b(352の一部、B22の後遺症及び1年以上経過したもの)を含むため、昭和25年報告書とは一致しない。

3) 平成6年の「心疾患」の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成7年1月施行)における「死亡の原因欄」には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないで下さい」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

4) 昭和18年のみは樺太を含む数値である。

5) 昭和22～47年は沖縄県を含まない。

6) 昭和19～21年は資料不備のため省略した。

7) 昭和60年の粗死亡率の算出においては、「昭和60年国勢調査抽出速報集計結果」を用いた。

8) 平成7年以降の「胃腸炎」については、平成7年に死因分類が変わったため掲載していない。

年次		結核	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	老衰	胃腸炎
1950	25年	146.4	77.4	64.2	127.1	65.1	39.5	19.6	70.2	82.4
1951	26年	110.3	78.5	63.6	125.2	59.8	37.8	18.2	70.7	67.7
1952	27年	82.2	80.9	61.3	128.5	49.9	36.4	18.4	69.3	53.1
1953	28年	66.5	82.2	64.9	133.7	53.7	39.3	20.4	77.6	46.1
1954	29年	62.4	85.3	60.2	132.4	42.7	39.4	23.4	69.5	39.0
1955	30年	52.3	87.1	60.9	136.1	38.4	37.3	25.2	67.1	31.7
1956	31年	48.6	90.7	66.0	148.4	38.6	36.8	24.5	75.8	30.0
1957	32年	46.9	91.3	73.1	151.7	48.0	37.9	24.3	80.5	25.7
1958	33年	39.4	95.5	64.8	148.6	38.3	38.9	25.7	55.5	25.1
1959	34年	35.5	98.2	67.7	153.7	36.8	44.8	22.7	56.7	23.3
1960	35年	34.2	100.4	73.2	160.7	40.2	41.7	21.6	58.0	21.2
1961	36年	29.6	102.3	72.1	165.4	33.8	44.1	19.6	58.2	19.5
1962	37年	29.3	103.2	76.2	169.4	36.6	40.3	17.6	57.5	18.0
1963	38年	24.2	105.5	70.4	171.4	27.2	41.3	16.1	50.4	16.1
1964	39年	23.6	107.3	70.3	171.7	26.3	41.6	15.1	48.4	14.6
1965	40年	22.8	108.4	77.0	175.8	30.4	40.9	14.7	50.0	12.9
1966	41年	20.3	110.9	71.9	173.8	22.9	43.0	15.2	44.6	11.3
1967	42年	17.8	113.0	75.7	173.1	23.5	41.9	14.2	43.3	10.6
1968	43年	16.8	114.6	80.2	173.5	25.0	40.2	14.5	39.4	10.2
1969	44年	16.1	116.2	81.7	174.4	24.9	42.2	14.5	37.1	9.4
1970	45年	15.4	116.3	86.7	175.8	27.1	42.5	15.3	38.1	8.3
1971	46年	13.0	117.7	82.0	169.6	22.1	40.7	15.6	34.0	7.7
1972	47年	11.9	120.4	81.2	166.7	21.9	40.1	17.0	30.8	7.1
1973	48年	11.1	121.2	87.3	166.9	25.0	37.2	17.4	30.9	7.0
1974	49年	10.4	122.2	89.8	163.0	26.1	33.0	17.5	29.7	6.3
1975	50年	9.5	122.6	89.2	156.7	27.4	30.3	18.0	26.9	5.6
1976	51年	8.5	125.3	92.2	154.5	26.6	28.0	17.6	26.4	4.9
1977	52年	7.8	128.4	91.2	149.8	23.3	26.7	17.9	25.0	4.4
1978	53年	7.2	131.3	93.3	146.2	24.7	26.2	17.6	24.4	4.3
1979	54年	5.8	135.7	96.9	137.7	23.7	25.3	18.0	25.5	3.5
1980	55年	5.5	139.1	106.2	139.5	28.4	25.1	17.7	27.6	3.3
1981	56年	4.9	142.0	107.5	134.3	28.7	24.8	17.1	25.5	2.9
1982	57年	4.5	144.2	106.7	125.0	29.9	24.7	17.5	23.3	2.5
1983	58年	4.5	148.3	111.3	122.8	33.9	25.0	21.0	24.7	2.4
1984	59年	4.1	152.5	113.9	117.2	32.5	24.6	20.4	24.1	2.1
1985	60年	3.9	156.1	117.3	112.2	37.5	24.6	19.4	23.1	1.9
1986	61年	3.4	158.5	117.9	106.9	39.1	23.7	21.2	22.2	1.6
1987	62年	3.3	164.2	118.4	101.7	40.3	23.2	19.6	20.8	1.4
1988	63年	3.2	168.4	129.4	105.5	46.8	24.8	18.7	21.6	1.3
1989	平成元年	2.9	173.6	128.1	98.5	48.1	25.4	17.3	19.4	1.1
1990	2年	3.0	177.2	134.8	99.4	55.6	26.2	16.4	19.7	1.3
1991	3年	2.7	181.7	137.2	96.2	56.9	26.9	16.1	18.8	1.2
1992	4年	2.7	187.8	142.2	95.6	60.2	28.1	16.9	18.9	1.2
1993	5年	2.6	190.4	145.6	96.0	65.5	28.0	16.6	18.7	1.1
1994	6年	2.5	196.4	128.6	96.9	67.2	29.1	16.9	18.9	1.3
1995	7年	2.6	211.6	112.0	117.9	64.1	36.5	17.2	17.3	...
1996	8年	2.3	217.5	110.8	112.6	56.9	31.4	17.8	16.7	...
1997	9年	2.2	220.4	112.2	111.0	63.1	31.1	18.8	17.2	...
1998	10年	2.2	226.7	114.3	110.0	63.8	31.1	25.4	17.1	...
1999	11年	2.3	231.6	120.4	110.8	74.9	32.0	25.0	18.2	...
2000	12年	2.1	235.2	116.8	105.5	69.2	31.4	24.1	16.9	...
2001	13年	2.0	238.8	117.8	104.7	67.8	31.4	23.3	17.6	...
2002	14年	1.8	241.7	121.0	103.4	69.4	30.7	23.8	18.0	...
2003	15年	1.9	245.4	126.5	104.7	75.3	30.7	25.5	18.6	...
2004	16年	1.8	253.9	126.5	102.3	75.7	30.3	24.0	19.1	...

第2表 年次別にみた死因順位(第1~10位) 総数

3-1

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	死亡人数 (人口10万人)	死因	死亡人数 (人口10万人)	死因	死亡人数 (人口10万人)	死因	死亡人数 (人口10万人)	死因	死亡人数 (人口10万人)
1899 明治32年	肺炎及び気管支炎	206.1	脳血管疾患	170.5	全結核	155.7	胃腸炎	149.7	老衰	127.2
1900 33	肺炎及び気管支炎	226.1	全結核	163.7	脳血管疾患	159.2	胃腸炎	133.8	老衰	131.0
1905 38	肺炎及び気管支炎	247.4	全結核	206.0	脳血管疾患	163.4	老衰	139.9	胃腸炎	137.2
1910 43	肺炎及び気管支炎	262.0	全結核	230.2	胃腸炎	213.4	脳血管疾患	131.9	老衰	120.2
1915 大正4年	肺炎及び気管支炎	261.1	胃腸炎	223.7	全結核	219.7	脳血管疾患	128.8	老衰	112.5
1920 9	肺炎及び気管支炎	408.0	胃腸炎	254.2	全結核	223.7	インフルエンザ	193.7	脳血管疾患	157.6
1925 14	肺炎及び気管支炎	275.6	胃腸炎	238.2	全結核	194.1	脳血管疾患	161.2	老衰	117.3
1930 昭和5年	胃腸炎	221.4	肺炎及び気管支炎	200.1	全結核	185.6	脳血管疾患	162.8	老衰	118.8
1935 10	全結核	190.8	肺炎及び気管支炎	186.7	胃腸炎	173.2	脳血管疾患	165.4	老衰	114.0
1940 15	全結核	212.9	肺炎及び気管支炎	185.8	脳血管疾患	177.7	胃腸炎	159.2	老衰	124.5
1947 22	全結核	187.2	肺炎及び気管支炎	174.8	胃腸炎	136.8	脳血管疾患	129.4	老衰	100.3
1948 23	全結核	179.9	脳血管疾患	117.9	胃腸炎	109.9	肺炎及び気管支炎	98.6	老衰	79.5
1949 24	全結核	168.9	脳血管疾患	122.6	肺炎及び気管支炎	100.0	胃腸炎	92.6	老衰	80.2
1950 25	全結核	146.4	脳血管疾患	127.1	肺炎及び気管支炎	93.2	胃腸炎	82.4	悪性新生物	77.4
1951 26	脳血管疾患	125.2	全結核	110.3	肺炎及び気管支炎	82.2	悪性新生物	78.5	老衰	70.7
1952 27	脳血管疾患	128.5	全結核	82.2	悪性新生物	80.9	老衰	69.3	肺炎及び気管支炎	67.1
1953 28	脳血管疾患	133.7	悪性新生物	82.2	老衰	77.6	肺炎及び気管支炎	71.3	全結核	66.5
1954 29	脳血管疾患	132.4	悪性新生物	85.3	老衰	69.5	全結核	62.4	心疾患	60.2
1955 30	脳血管疾患	136.1	悪性新生物	87.1	老衰	67.1	心疾患	60.9	全結核	52.3
1956 31	脳血管疾患	148.4	悪性新生物	90.7	老衰	75.8	心疾患	66.0	全結核	48.6
1957 32	脳血管疾患	151.7	悪性新生物	91.3	老衰	80.5	心疾患	73.1	肺炎及び気管支炎	59.2
1958 33	脳血管疾患	148.6	悪性新生物	95.5	心疾患	64.8	老衰	55.5	肺炎及び気管支炎	47.6
1959 34	脳血管疾患	153.7	悪性新生物	98.2	心疾患	67.7	老衰	56.7	肺炎及び気管支炎	45.2
1960 35	脳血管疾患	160.7	悪性新生物	100.4	心疾患	73.2	老衰	58.0	肺炎及び気管支炎	49.3
1961 36	脳血管疾患	165.4	悪性新生物	102.3	心疾患	72.1	老衰	58.2	不慮の事故	44.1
1962 37	脳血管疾患	169.4	悪性新生物	103.2	心疾患	76.2	老衰	57.5	肺炎及び気管支炎	45.0
1963 38	脳血管疾患	171.4	悪性新生物	105.5	心疾患	70.4	老衰	50.4	不慮の事故	41.3
1964 39	脳血管疾患	171.7	悪性新生物	107.3	心疾患	70.3	老衰	48.4	不慮の事故	41.6
1965 40	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	108.4	心疾患	77.0	老衰	50.0	不慮の事故	40.9
1966 41	脳血管疾患	173.8	悪性新生物	110.9	心疾患	71.9	老衰	44.6	不慮の事故	43.0
1967 42	脳血管疾患	173.1	悪性新生物	113.0	心疾患	75.7	老衰	43.3	不慮の事故	41.9
1968 43	脳血管疾患	173.5	悪性新生物	114.6	心疾患	80.2	不慮の事故	40.2	老衰	39.4
1969 44	脳血管疾患	174.4	悪性新生物	116.2	心疾患	81.7	不慮の事故	42.2	老衰	37.1
1970 45	脳血管疾患	175.8	悪性新生物	116.3	心疾患	86.7	不慮の事故	42.5	老衰	38.1
1971 46	脳血管疾患	169.6	悪性新生物	117.7	心疾患	82.0	不慮の事故	40.7	老衰	34.0
1972 47	脳血管疾患	166.7	悪性新生物	120.4	心疾患	81.2	不慮の事故	40.1	老衰	30.8
1973 48	脳血管疾患	166.9	悪性新生物	121.2	心疾患	87.3	不慮の事故	37.2	肺炎及び気管支炎	31.3
1974 49	脳血管疾患	163.0	悪性新生物	122.2	心疾患	89.8	不慮の事故	33.0	肺炎及び気管支炎	32.6
1975 50	脳血管疾患	156.7	悪性新生物	122.6	心疾患	89.2	肺炎及び気管支炎	33.7	不慮の事故	30.3
1976 51	脳血管疾患	154.5	悪性新生物	125.3	心疾患	92.2	肺炎及び気管支炎	32.6	不慮の事故	28.0
1977 52	脳血管疾患	149.8	悪性新生物	128.4	心疾患	91.2	肺炎及び気管支炎	28.6	不慮の事故	26.7
1978 53	脳血管疾患	146.2	悪性新生物	131.3	心疾患	93.3	肺炎及び気管支炎	30.3	不慮の事故	26.2
1979 54	脳血管疾患	137.7	悪性新生物	135.7	心疾患	96.9	肺炎及び気管支炎	28.5	老衰	25.5
1980 55	脳血管疾患	139.5	悪性新生物	139.1	心疾患	106.2	肺炎及び気管支炎	33.7	老衰	27.6
1981 56	悪性新生物	142.0	脳血管疾患	134.3	心疾患	107.5	肺炎及び気管支炎	33.7	老衰	25.5
1982 57	悪性新生物	144.2	脳血管疾患	125.0	心疾患	106.7	肺炎及び気管支炎	35.0	不慮の事故及び有害作用	24.7
1983 58	悪性新生物	148.3	脳血管疾患	112.8	心疾患	111.3	肺炎及び気管支炎	39.3	不慮の事故及び有害作用	25.0
1984 59	悪性新生物	152.5	脳血管疾患	117.2	心疾患	113.9	肺炎及び気管支炎	37.6	不慮の事故及び有害作用	24.6
1985 60	悪性新生物	156.1	心疾患	117.3	脳血管疾患	112.2	肺炎及び気管支炎	42.7	不慮の事故及び有害作用	24.6
1986 61	悪性新生物	158.5	心疾患	117.9	脳血管疾患	106.9	肺炎及び気管支炎	43.9	不慮の事故及び有害作用	23.7
1987 62	悪性新生物	164.2	心疾患	118.4	脳血管疾患	101.7	肺炎及び気管支炎	44.9	不慮の事故及び有害作用	23.2
1988 63	悪性新生物	168.4	心疾患	129.4	脳血管疾患	105.5	肺炎及び気管支炎	51.6	不慮の事故及び有害作用	24.8
1989 平成元年	悪性新生物	173.6	心疾患	128.1	脳血管疾患	98.5	肺炎及び気管支炎	52.7	不慮の事故及び有害作用	25.4
1990 2	悪性新生物	177.2	心疾患	134.8	脳血管疾患	99.4	肺炎及び気管支炎	60.7	不慮の事故及び有害作用	26.2
1991 3	悪性新生物	181.7	心疾患	137.2	脳血管疾患	96.2	肺炎及び気管支炎	62.0	不慮の事故及び有害作用	26.9
1992 4	悪性新生物	187.8	心疾患	142.2	脳血管疾患	95.6	肺炎及び気管支炎	65.0	不慮の事故及び有害作用	28.1
1993 5	悪性新生物	190.4	心疾患	145.6	脳血管疾患	96.0	肺炎及び気管支炎	70.6	不慮の事故及び有害作用	28.0
1994 6	悪性新生物	196.4	心疾患	128.6	脳血管疾患	96.9	肺炎及び気管支炎	72.4	不慮の事故及び有害作用	29.1
1995 7	悪性新生物	211.6	脳血管疾患	117.9	心疾患	112.0	肺炎	64.1	不慮の事故	36.5
1996 8	悪性新生物	217.5	脳血管疾患	112.6	心疾患	110.8	肺炎	56.9	不慮の事故	31.4
1997 9	悪性新生物	220.4	心疾患	112.6	脳血管疾患	111.0	肺炎	63.1	不慮の事故	31.1
1998 10	悪性新生物	226.7	心疾患	114.3	脳血管疾患	110.0	肺炎	63.8	不慮の事故	31.1
1999 11	悪性新生物	231.6	心疾患	120.4	脳血管疾患	110.8	肺炎	74.9	不慮の事故	32.0
2000 12	悪性新生物	235.2	心疾患	116.8	脳血管疾患	105.5	肺炎	69.2	不慮の事故	31.4
2001 13	悪性新生物	238.8	心疾患	117.8	脳血管疾患	104.7	肺炎	67.8	不慮の事故	31.4
2002 14	悪性新生物	241.7	心疾患	121.0	脳血管疾患	103.4	肺炎	69.4	不慮の事故	30.7
2003 15	悪性新生物	245.4	心疾患	126.5	脳血管疾患	104.7	肺炎	75.3	不慮の事故	30.7
2004 16	悪性新生物	253.9	心疾患	126.5	脳血管疾患	102.3	肺炎	75.7	不慮の事故	30.3

注: 1) 死因順位は人口動態統計、各種分類表の「死因順位に用いる分類項目」によるものである。

2) 昭和22~47年は、沖縄県を含まない。

3) 昭和24年以前は25年以降と大きく死因分類が変わっているため第5位まで掲載した。

4) 昭和42年以前の「その他の新生児固有の疾患」は、「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」である。

5) 平成6年までの老衰は、「精神病の記載のない老衰」である。

6) 平成7年以降の「心疾患」は、「心疾患(高血圧性を除く)」である。

7) 平成6年の「心疾患」の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書(平成7年1月1日施行)における「死亡の原因欄」には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

第6位		第7位		第8位		第9位		第10位		年次
死 因	死亡率 (人口10万別)	死 因	死亡率 (人口10万別)	死 因	死亡率 (人口10万別)	死 因	死亡率 (人口10万別)	死 因	死亡率 (人口10万別)	
										1899 明治32年
										1900 33
										1905 38
										1910 43
										1915 大正4年
										1920 9
										1925 14
										1930 昭和5年
										1935 10
										1940 15
										1947 22
										1948 23
										1949 24
老衰	70.2	心疾患	64.2	その他の新生児固有の疾患	62.2	不慮の事故	39.5	腎炎及びネフローゼ	32.4	1950 25
胃腸炎	67.7	心疾患	63.6	その他の新生児固有の疾患	56.0	不慮の事故	37.8	腎炎及びネフローゼ	29.2	1951 26
心疾患	61.3	胃腸炎	53.1	その他の新生児固有の疾患	47.3	不慮の事故	36.4	腎炎及びネフローゼ	25.8	1952 27
心疾患	64.9	胃腸炎	46.1	その他の新生児固有の疾患	42.1	不慮の事故	39.3	腎炎及びネフローゼ	23.2	1953 28
肺炎及び気管支炎	54.7	不慮の事故	39.4	胃腸炎	39.0	その他の新生児固有の疾患	36.2	自殺	23.4	1954 29
肺炎及び気管支炎	48.3	不慮の事故	37.3	胃腸炎	31.7	その他の新生児固有の疾患	31.4	自殺	25.2	1955 30
肺炎及び気管支炎	48.4	不慮の事故	36.8	その他の新生児固有の疾患	30.5	胃腸炎	30.0	自殺	24.5	1956 31
全結核	46.9	不慮の事故	37.9	その他の新生児固有の疾患	26.4	胃腸炎	25.7	自殺	24.3	1957 32
全結核	39.4	不慮の事故	38.9	自殺	25.7	胃腸炎	25.1	その他の新生児固有の疾患	23.4	1958 33
不慮の事故	44.8	全結核	35.5	胃腸炎	23.3	自殺	22.7	その他の新生児固有の疾患	21.0	1959 34
不慮の事故	41.7	全結核	34.2	自殺	21.6	胃腸炎	21.2	その他の新生児固有の疾患	18.5	1960 35
肺炎及び気管支炎	41.6	全結核	29.6	自殺	19.6	胃腸炎	19.5	その他の新生児固有の疾患	17.4	1961 36
不慮の事故	40.3	全結核	29.3	高血圧性疾患	18.4	胃腸炎	18.0	自殺	17.6	1962 37
肺炎及び気管支炎	33.2	全結核	24.2	高血圧性疾患	18.2	自殺	16.1	胃腸炎	16.1	1963 38
肺炎及び気管支炎	32.1	全結核	23.6	高血圧性疾患	18.7	自殺	15.1	胃腸炎	14.6	1964 39
肺炎及び気管支炎	37.3	全結核	22.8	高血圧性疾患	19.3	自殺	14.7	胃腸炎	12.9	1965 40
肺炎及び気管支炎	28.2	全結核	20.3	高血圧性疾患	18.6	自殺	15.2	胃腸炎	11.3	1966 41
肺炎及び気管支炎	28.7	高血圧性疾患	18.3	全結核	17.8	自殺	14.2	その他の新生児固有の疾患	11.4	1967 42
肺炎及び気管支炎	31.8	高血圧性疾患	17.9	全結核	16.8	自殺	14.5	肝硬変	11.2	1968 43
肺炎及び気管支炎	31.6	高血圧性疾患	17.0	全結核	16.1	自殺	14.5	肝硬変	11.8	1969 44
肺炎及び気管支炎	34.1	高血圧性疾患	17.7	全結核	15.4	自殺	15.3	肝硬変	12.5	1970 45
肺炎及び気管支炎	28.4	高血圧性疾患	16.7	自殺	15.6	全結核	13.0	肝硬変	12.5	1971 46
肺炎及び気管支炎	28.1	自殺	17.0	高血圧性疾患	16.5	肝硬変	12.8	全結核	11.9	1972 47
老衰	30.9	高血圧性疾患	17.5	自殺	17.4	肝硬変	13.2	全結核	11.1	1973 48
老衰	29.7	高血圧性疾患	18.4	自殺	17.5	肝硬変	13.4	全結核	10.4	1974 49
老衰	26.9	自殺	18.0	高血圧性疾患	17.8	肝硬変	13.6	全結核	9.5	1975 50
老衰	26.4	高血圧性疾患	17.6	自殺	17.6	肝硬変	13.8	全結核	8.5	1976 51
老衰	25.0	自殺	17.9	高血圧性疾患	17.0	肝硬変	13.6	糖尿病	8.4	1977 52
老衰	24.4	自殺	17.6	高血圧性疾患	16.4	肝硬変	14.0	糖尿病	8.5	1978 53
不慮の事故及び有害作用	25.3	自殺	18.0	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	14.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	8.0	1979 54
不慮の事故及び有害作用	25.1	自殺	17.7	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	13.7	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	8.8	1980 55
不慮の事故及び有害作用	24.8	自殺	17.1	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	13.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.1	1981 56
老衰	23.3	自殺	17.5	慢性肝疾患及び肝硬変	14.0	高血圧性疾患	11.7	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.7	1982 57
老衰	24.7	自殺	21.0	慢性肝疾患及び肝硬変	14.1	高血圧性疾患	11.3	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.3	1983 58
老衰	24.1	自殺	20.4	慢性肝疾患及び肝硬変	14.2	高血圧性疾患	10.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.6	1984 59
老衰	23.1	自殺	19.4	慢性肝疾患及び肝硬変	14.3	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.2	高血圧性疾患	10.6	1985 60
老衰	22.2	自殺	21.2	慢性肝疾患及び肝硬変	14.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.6	高血圧性疾患	9.7	1986 61
老衰	20.8	自殺	19.6	慢性肝疾患及び肝硬変	13.7	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.8	高血圧性疾患	8.8	1987 62
老衰	21.6	自殺	18.7	慢性肝疾患及び肝硬変	13.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.0	高血圧性疾患	8.4	1988 63
老衰	19.4	自殺	17.3	慢性肝疾患及び肝硬変	13.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.4	高血圧性疾患	7.6	1989 平成元年
老衰	19.7	自殺	16.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.0	慢性肝疾患及び肝硬変	13.7	糖尿病	7.7	1990 2
老衰	18.8	自殺	16.1	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.8	慢性肝疾患及び肝硬変	13.7	糖尿病	7.8	1991 3
老衰	18.9	自殺	16.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.8	慢性肝疾患及び肝硬変	13.8	糖尿病	8.0	1992 4
老衰	18.7	自殺	16.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.9	慢性肝疾患及び肝硬変	13.6	糖尿病	8.3	1993 5
老衰	18.9	自殺	16.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	15.1	慢性肝疾患及び肝硬変	13.3	糖尿病	8.8	1994 6
老衰	17.3	自殺	17.2	肝疾患	13.7	腎不全	13.0	糖尿病	11.4	1995 7
自殺	17.8	老衰	16.7	肝疾患	13.2	腎不全	13.0	糖尿病	10.3	1996 8
自殺	18.8	老衰	17.2	腎不全	13.3	肝疾患	13.3	糖尿病	9.9	1997 9
自殺	25.4	老衰	17.1	腎不全	13.3	肝疾患	12.9	糖尿病	10.0	1998 10
自殺	25.0	老衰	18.2	腎不全	14.1	肝疾患	13.2	慢性閉塞性肺疾患	10.4	1999 11
自殺	24.1	老衰	16.9	腎不全	13.7	肝疾患	12.8	慢性閉塞性肺疾患	10.2	2000 12
自殺	23.3	老衰	17.6	腎不全	14.0	肝疾患	12.6	慢性閉塞性肺疾患	10.4	2001 13
自殺	23.8	老衰	18.0	腎不全	14.4	肝疾患	12.3	慢性閉塞性肺疾患	10.3	2002 14
自殺	25.5	老衰	18.6	腎不全	14.9	肝疾患	12.5	慢性閉塞性肺疾患	10.8	2003 15
自殺	24.0	老衰	19.1	腎不全	15.2	肝疾患	12.6	慢性閉塞性肺疾患	10.7	2004 16

第2表 年次別にみた死因順位(第1~10位) 男

3-2

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)
1951 昭和26年	脳血管疾患	126.3	全結核	121.0	老衰	85.6	悪性新生物	81.6	心疾患	64.0
1952 27	脳血管疾患	130.5	全結核	91.2	悪性新生物	85.0	肺炎及び気管支炎	71.8	心疾患	61.3
1953 28	脳血管疾患	136.7	悪性新生物	87.5	肺炎及び気管支炎	75.3	全結核	74.6	心疾患	66.3
1954 29	脳血管疾患	138.2	悪性新生物	91.5	全結核	72.0	心疾患	61.6	不慮の事故	60.3
1955 30	脳血管疾患	143.1	悪性新生物	94.0	心疾患	62.2	全結核	60.7	不慮の事故	56.8
1956 31	脳血管疾患	156.5	悪性新生物	98.4	心疾患	67.6	老衰	61.0	全結核	57.5
1957 32	脳血管疾患	162.6	悪性新生物	100.0	心疾患	76.0	肺炎及び気管支炎	63.6	老衰	63.5
1958 33	脳血管疾患	158.4	悪性新生物	104.4	心疾患	67.1	不慮の事故	59.1	肺炎及び気管支炎	50.9
1959 34	脳血管疾患	164.5	悪性新生物	107.7	心疾患	70.3	不慮の事故	66.1	肺炎及び気管支炎	49.0
1960 35	脳血管疾患	172.1	悪性新生物	111.0	心疾患	75.8	不慮の事故	64.9	肺炎及び気管支炎	53.2
1961 36	脳血管疾患	178.9	悪性新生物	112.8	心疾患	74.1	不慮の事故	69.3	肺炎及び気管支炎	44.4
1962 37	脳血管疾患	183.7	悪性新生物	114.5	心疾患	79.6	不慮の事故	63.2	肺炎及び気管支炎	48.2
1963 38	脳血管疾患	186.2	悪性新生物	117.7	心疾患	73.3	不慮の事故	65.0	老衰	37.1
1964 39	脳血管疾患	186.5	悪性新生物	120.9	心疾患	73.3	不慮の事故	63.5	老衰	35.1
1965 40	脳血管疾患	192.2	悪性新生物	122.1	心疾患	80.5	不慮の事故	63.6	肺炎及び気管支炎	40.1
1966 41	脳血管疾患	189.3	悪性新生物	125.0	心疾患	75.3	不慮の事故	66.9	老衰	31.9
1967 42	脳血管疾患	188.2	悪性新生物	127.4	心疾患	79.6	不慮の事故	64.9	老衰	31.4
1968 43	脳血管疾患	189.5	悪性新生物	129.8	心疾患	84.4	不慮の事故	62.2	肺炎及び気管支炎	33.9
1969 44	脳血管疾患	190.9	悪性新生物	132.3	心疾患	86.4	不慮の事故	65.1	肺炎及び気管支炎	34.6
1970 45	脳血管疾患	192.1	悪性新生物	132.9	心疾患	91.1	不慮の事故	65.6	肺炎及び気管支炎	37.4
1971 46	脳血管疾患	184.3	悪性新生物	133.5	心疾患	86.6	不慮の事故	62.0	肺炎及び気管支炎	31.2
1972 47	脳血管疾患	179.9	悪性新生物	137.5	心疾患	85.2	不慮の事故	61.1	肺炎及び気管支炎	30.9
1973 48	脳血管疾患	178.0	悪性新生物	138.5	心疾患	91.1	不慮の事故	56.6	肺炎及び気管支炎	33.9
1974 49	脳血管疾患	172.5	悪性新生物	140.6	心疾患	92.5	不慮の事故	50.0	肺炎及び気管支炎	35.8
1975 50	脳血管疾患	164.2	悪性新生物	140.5	心疾患	92.0	不慮の事故	45.4	肺炎及び気管支炎	36.9
1976 51	脳血管疾患	161.2	悪性新生物	144.6	心疾患	95.2	不慮の事故	42.0	肺炎及び気管支炎	36.0
1977 52	脳血管疾患	155.4	悪性新生物	148.7	心疾患	95.0	不慮の事故	40.1	肺炎及び気管支炎	31.6
1978 53	悪性新生物	151.9	脳血管疾患	151.4	心疾患	97.0	不慮の事故	39.1	肺炎及び気管支炎	34.2
1979 54	悪性新生物	158.6	脳血管疾患	141.0	心疾患	102.2	不慮の事故及び有害作用	37.5	肺炎及び気管支炎	32.3
1980 55	悪性新生物	163.7	脳血管疾患	142.9	心疾患	112.2	肺炎及び気管支炎	38.5	不慮の事故及び有害作用	37.0
1981 56	悪性新生物	167.4	脳血管疾患	136.2	心疾患	111.5	肺炎及び気管支炎	38.5	不慮の事故及び有害作用	36.7
1982 57	悪性新生物	170.7	脳血管疾患	126.1	心疾患	111.2	肺炎及び気管支炎	40.3	不慮の事故及び有害作用	36.3
1983 58	悪性新生物	176.8	脳血管疾患	122.6	心疾患	115.4	肺炎及び気管支炎	45.2	不慮の事故及び有害作用	36.4
1984 59	悪性新生物	182.3	心疾患	118.4	脳血管疾患	116.1	肺炎及び気管支炎	43.9	不慮の事故及び有害作用	36.1
1985 60	悪性新生物	187.4	心疾患	121.5	脳血管疾患	110.6	肺炎及び気管支炎	49.3	不慮の事故及び有害作用	36.1
1986 61	悪性新生物	191.1	心疾患	121.3	脳血管疾患	104.0	肺炎及び気管支炎	50.6	不慮の事故及び有害作用	34.5
1987 62	悪性新生物	199.5	心疾患	121.5	脳血管疾患	98.4	肺炎及び気管支炎	52.1	不慮の事故及び有害作用	33.7
1988 63	悪性新生物	203.5	心疾患	131.1	脳血管疾患	101.4	肺炎及び気管支炎	59.7	不慮の事故及び有害作用	35.6
1989 平成元年	悪性新生物	211.4	心疾患	129.5	脳血管疾患	94.6	肺炎及び気管支炎	61.0	不慮の事故及び有害作用	36.3
1990 2	悪性新生物	216.4	心疾患	135.7	脳血管疾患	95.6	肺炎及び気管支炎	70.0	不慮の事故及び有害作用	36.8
1991 3	悪性新生物	222.5	心疾患	138.4	脳血管疾患	92.2	肺炎及び気管支炎	71.8	不慮の事故及び有害作用	37.9
1992 4	悪性新生物	230.5	心疾患	142.6	脳血管疾患	91.0	肺炎及び気管支炎	75.5	不慮の事故及び有害作用	39.0
1993 5	悪性新生物	234.2	心疾患	145.4	脳血管疾患	91.0	肺炎及び気管支炎	81.0	不慮の事故及び有害作用	38.5
1994 6	悪性新生物	241.5	心疾患	129.6	脳血管疾患	91.2	肺炎及び気管支炎	83.0	不慮の事故及び有害作用	39.6
1995 7	悪性新生物	262.0	心疾患	114.4	脳血管疾患	114.2	肺炎	69.6	不慮の事故	46.3
1996 8	悪性新生物	269.7	心疾患	112.9	脳血管疾患	108.8	肺炎	63.0	不慮の事故	41.7
1997 9	悪性新生物	273.0	心疾患	114.0	脳血管疾患	107.5	肺炎	69.1	不慮の事故	41.1
1998 10	悪性新生物	281.0	心疾患	116.0	脳血管疾患	106.9	肺炎	69.6	不慮の事故	40.7
1999 11	悪性新生物	286.5	心疾患	120.6	脳血管疾患	108.3	肺炎	81.3	不慮の事故	41.6
2000 12	悪性新生物	291.3	心疾患	117.3	脳血管疾患	102.7	肺炎	76.0	不慮の事故	40.9
2001 13	悪性新生物	294.5	心疾患	118.1	脳血管疾患	102.5	肺炎	74.3	不慮の事故	40.6
2002 14	悪性新生物	298.8	心疾患	121.7	脳血管疾患	101.0	肺炎	76.4	不慮の事故	39.4
2003 15	悪性新生物	303.3	心疾患	126.6	脳血管疾患	102.7	肺炎	82.1	不慮の事故	38.9
2004 16	悪性新生物	313.5	心疾患	125.8	脳血管疾患	99.9	肺炎	83.3	不慮の事故	38.4

注:1) 死因順位は人口動態統計、各種分類表の「死因順位に用いる分類項目」によるものである。

2) 昭和26~47年は、沖縄県を含まない。

3) 昭和32年以前は統計数値が得られないため、第5位までとなっている。

4) 昭和42年以前の「その他の新生児固有の疾患」は、「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」である。

5) 平成6年までの老衰は、「精神病の記載のない老衰」である。

6) 平成7年以降の「心疾患」は、「心疾患(高血圧性を除く)」である。

7) 平成6年の「心疾患」の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書(平成7年1月1日施行)における「死亡の原因欄」には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

第6位		第7位		第8位		第9位		第10位		年次
死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	
										1951 昭和26年
										1952 27
										1953 28
										1954 29
										1955 30
										1956 31
										1957 32
全結核	48.1	老衰	43.1	自殺	30.7	その他の新生児固有の疾患	26.4	胃腸炎	22.5	1958 33
全結核	43.8	老衰	43.7	自殺	26.6	その他の新生児固有の疾患	24.0	胃腸炎	21.2	1959 34
老衰	44.8	全結核	43.1	自殺	25.1	その他の新生児固有の疾患	21.3	胃腸炎	19.0	1960 35
老衰	43.8	全結核	37.8	自殺	22.3	その他の新生児固有の疾患	20.4	胃腸炎	17.4	1961 36
老衰	43.5	全結核	37.9	自殺	20.4	その他の新生児固有の疾患	18.5	高血圧性疾患	18.3	1962 37
肺炎及び気管支炎	35.8	全結核	31.7	自殺	18.9	高血圧性疾患	18.0	その他の新生児固有の疾患	17.0	1963 38
肺炎及び気管支炎	34.5	全結核	31.1	高血圧性疾患	18.2	自殺	17.5	その他の新生児固有の疾患	15.6	1964 39
老衰	36.3	全結核	30.6	高血圧性疾患	19.0	自殺	17.3	その他の新生児固有の疾患	15.0	1965 40
肺炎及び気管支炎	30.7	全結核	27.2	高血圧性疾患	18.1	自殺	17.4	肝硬変	13.9	1966 41
肺炎及び気管支炎	31.0	全結核	24.1	高血圧性疾患	17.8	自殺	16.2	肝硬変	14.7	1967 42
老衰	28.4	全結核	23.0	高血圧性疾患	17.3	自殺	16.5	肝硬変	15.4	1968 43
老衰	26.7	全結核	22.1	自殺	16.4	肝硬変	16.3	高血圧性疾患	16.2	1969 44
老衰	26.9	全結核	21.6	肝硬変	17.6	自殺	17.4	高血圧性疾患	16.7	1970 45
老衰	24.1	全結核	18.5	自殺	17.9	肝硬変	17.8	高血圧性疾患	15.4	1971 46
老衰	21.9	自殺	19.7	肝硬変	18.7	全結核	16.8	高血圧性疾患	15.2	1972 47
老衰	22.2	自殺	20.2	肝硬変	19.1	全結核	15.9	高血圧性疾患	15.8	1973 48
老衰	20.5	自殺	20.0	肝硬変	19.7	高血圧性疾患	16.2	全結核	14.9	1974 49
自殺	21.4	肝硬変	19.9	老衰	18.8	高血圧性疾患	15.9	全結核	13.5	1975 50
自殺	21.2	肝硬変	20.5	老衰	18.6	高血圧性疾患	15.6	全結核	12.4	1976 51
自殺	22.0	肝硬変	20.0	老衰	17.6	高血圧性疾患	14.8	全結核	11.3	1977 52
自殺	22.0	肝硬変	20.7	老衰	17.6	高血圧性疾患	14.3	全結核	10.6	1978 53
自殺	22.6	慢性肝疾患及び肝硬変	21.1	老衰	18.1	高血圧性疾患	12.1	結核	8.6	1979 54
自殺	22.4	慢性肝疾患及び肝硬変	20.9	老衰	19.7	高血圧性疾患	11.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	8.9	1980 55
自殺	22.0	慢性肝疾患及び肝硬変	20.7	老衰	18.3	高血圧性疾患	10.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.4	1981 56
自殺	22.7	慢性肝疾患及び肝硬変	20.4	老衰	16.5	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.8	高血圧性疾患	9.6	1982 57
自殺	28.9	慢性肝疾患及び肝硬変	20.4	老衰	17.5	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.5	高血圧性疾患	9.2	1983 58
自殺	27.6	慢性肝疾患及び肝硬変	20.5	老衰	17.3	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.8	高血圧性疾患	8.8	1984 59
自殺	26.0	慢性肝疾患及び肝硬変	20.4	老衰	16.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.4	高血圧性疾患	8.5	1985 60
自殺	27.8	慢性肝疾患及び肝硬変	19.7	老衰	15.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.8	高血圧性疾患	7.7	1986 61
自殺	25.6	慢性肝疾患及び肝硬変	19.3	老衰	14.5	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.8	糖尿病	7.1	1987 62
自殺	23.8	慢性肝疾患及び肝硬変	19.5	老衰	14.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	12.9	糖尿病	7.6	1988 63
自殺	21.5	慢性肝疾患及び肝硬変	18.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.3	老衰	13.1	糖尿病	7.3	1989 平成元年
自殺	20.4	慢性肝疾患及び肝硬変	19.1	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.8	老衰	13.4	糖尿病	7.5	1990 2
自殺	20.6	慢性肝疾患及び肝硬変	18.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.7	老衰	12.7	糖尿病	7.7	1991 3
自殺	22.3	慢性肝疾患及び肝硬変	19.1	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.4	老衰	12.6	糖尿病	7.9	1992 4
自殺	22.3	慢性肝疾患及び肝硬変	18.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.9	老衰	12.1	糖尿病	8.2	1993 5
自殺	23.1	慢性肝疾患及び肝硬変	18.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.8	老衰	12.1	糖尿病	8.7	1994 6
自殺	23.4	肝疾患	19.0	慢性閉塞性肺疾患	15.5	腎不全	12.8	糖尿病	11.7	1995 7
自殺	24.3	肝疾患	18.3	慢性閉塞性肺疾患	13.9	腎不全	12.3	糖尿病	10.5	1996 8
自殺	26.0	肝疾患	18.6	慢性閉塞性肺疾患	14.3	腎不全	12.6	老衰	10.4	1997 9
自殺	36.5	肝疾患	18.2	慢性閉塞性肺疾患	14.2	腎不全	12.6	糖尿病	10.5	1998 10
自殺	36.5	肝疾患	18.7	慢性閉塞性肺疾患	15.8	腎不全	13.5	糖尿病	10.8	1999 11
自殺	35.2	肝疾患	18.0	慢性閉塞性肺疾患	15.6	腎不全	13.1	糖尿病	10.6	2000 12
自殺	34.2	肝疾患	17.7	慢性閉塞性肺疾患	15.7	腎不全	13.3	糖尿病	10.3	2001 13
自殺	35.2	肝疾患	17.1	慢性閉塞性肺疾患	15.9	腎不全	13.7	糖尿病	10.8	2002 14
自殺	38.0	肝疾患	17.4	慢性閉塞性肺疾患	16.8	腎不全	14.1	糖尿病	10.9	2003 15
自殺	35.6	肝疾患	17.4	慢性閉塞性肺疾患	16.5	腎不全	14.3	糖尿病	10.9	2004 16

第2表 年次別にみた死因順位(第1~10位) 女

3-3

年次	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)
1951 昭和26年	脳血管疾患	124.1	老衰	107.6	全結核	100.1	悪性新生物	75.4	胃腸炎	67.1
1952 27	脳血管疾患	126.6	老衰	82.5	悪性新生物	77.0	全結核	73.5	肺炎及び気管支炎	62.5
1953 28	脳血管疾患	130.8	老衰	92.1	悪性新生物	77.2	肺炎及び気管支炎	67.5	心疾患	63.5
1954 29	脳血管疾患	126.9	老衰	82.3	悪性新生物	79.3	心疾患	58.8	全結核	53.2
1955 30	脳血管疾患	129.4	悪性新生物	80.3	老衰	80.0	心疾患	59.6	肺炎及び気管支炎	45.3
1956 31	脳血管疾患	140.5	老衰	90.1	悪性新生物	83.3	心疾患	64.4	肺炎及び気管支炎	44.8
1957 32	脳血管疾患	141.2	老衰	96.8	悪性新生物	82.9	心疾患	70.3	肺炎及び気管支炎	54.9
1958 33	脳血管疾患	139.2	悪性新生物	86.9	老衰	67.5	心疾患	62.5	肺炎及び気管支炎	44.3
1959 34	脳血管疾患	143.2	悪性新生物	89.0	老衰	69.2	心疾患	65.2	肺炎及び気管支炎	41.5
1960 35	脳血管疾患	149.7	悪性新生物	90.2	心疾患	70.8	老衰	70.7	肺炎及び気管支炎	45.6
1961 36	脳血管疾患	152.5	悪性新生物	92.1	老衰	72.1	心疾患	70.2	肺炎及び気管支炎	39.0
1962 37	脳血管疾患	155.6	悪性新生物	92.3	心疾患	72.8	老衰	71.0	肺炎及び気管支炎	42.0
1963 38	脳血管疾患	157.1	悪性新生物	93.7	心疾患	67.6	老衰	63.2	肺炎及び気管支炎	30.6
1964 39	脳血管疾患	157.5	悪性新生物	94.3	心疾患	67.4	老衰	61.2	肺炎及び気管支炎	29.8
1965 40	脳血管疾患	160.0	悪性新生物	95.2	心疾患	73.6	老衰	63.1	肺炎及び気管支炎	34.6
1966 41	脳血管疾患	158.9	悪性新生物	97.2	心疾患	68.6	老衰	56.9	肺炎及び気管支炎	25.8
1967 42	脳血管疾患	158.5	悪性新生物	99.1	心疾患	72.0	老衰	54.8	肺炎及び気管支炎	26.6
1968 43	脳血管疾患	158.1	悪性新生物	99.8	心疾患	76.2	老衰	50.1	肺炎及び気管支炎	29.8
1969 44	脳血管疾患	158.5	悪性新生物	100.7	心疾患	77.1	老衰	47.0	肺炎及び気管支炎	28.8
1970 45	脳血管疾患	161.4	悪性新生物	101.2	心疾患	83.1	老衰	49.2	肺炎及び気管支炎	31.1
1971 46	脳血管疾患	155.4	悪性新生物	102.5	心疾患	77.5	老衰	43.5	肺炎及び気管支炎	25.7
1972 47	脳血管疾患	153.9	悪性新生物	103.9	心疾患	77.4	老衰	39.2	肺炎及び気管支炎	25.4
1973 48	脳血管疾患	156.2	悪性新生物	104.5	心疾患	83.6	老衰	39.3	肺炎及び気管支炎	28.7
1974 49	脳血管疾患	153.9	悪性新生物	104.6	心疾患	87.2	老衰	38.5	肺炎及び気管支炎	29.6
1975 50	脳血管疾患	149.4	悪性新生物	105.2	心疾患	86.4	老衰	34.7	肺炎及び気管支炎	30.6
1976 51	脳血管疾患	148.1	悪性新生物	106.7	心疾患	89.3	老衰	33.9	肺炎及び気管支炎	29.3
1977 52	脳血管疾患	144.4	悪性新生物	108.8	心疾患	87.6	老衰	32.2	肺炎及び気管支炎	25.6
1978 53	脳血管疾患	141.3	悪性新生物	111.3	心疾患	89.7	老衰	31.1	肺炎及び気管支炎	26.5
1979 54	脳血管疾患	134.5	悪性新生物	113.5	心疾患	91.9	老衰	32.7	肺炎及び気管支炎	24.7
1980 55	脳血管疾患	136.5	悪性新生物	115.5	心疾患	100.5	老衰	35.4	肺炎及び気管支炎	29.2
1981 56	脳血管疾患	132.4	悪性新生物	117.3	心疾患	103.7	老衰	32.4	肺炎及び気管支炎	29.0
1982 57	脳血管疾患	124.0	悪性新生物	118.4	心疾患	102.3	肺炎及び気管支炎	30.0	老衰	29.9
1983 58	脳血管疾患	123.0	悪性新生物	120.8	心疾患	107.4	肺炎及び気管支炎	33.6	老衰	31.8
1984 59	悪性新生物	123.7	脳血管疾患	118.3	心疾患	109.6	肺炎及び気管支炎	31.5	老衰	30.7
1985 60	悪性新生物	125.9	脳血管疾患	113.9	心疾患	113.2	肺炎及び気管支炎	36.3	老衰	29.6
1986 61	悪性新生物	126.9	心疾患	114.6	脳血管疾患	109.7	肺炎及び気管支炎	37.4	老衰	28.7
1987 62	悪性新生物	130.1	心疾患	115.4	脳血管疾患	105.0	肺炎及び気管支炎	37.9	老衰	26.9
1988 63	悪性新生物	134.5	心疾患	127.7	脳血管疾患	109.3	肺炎及び気管支炎	43.7	老衰	28.2
1989 平成元年	悪性新生物	137.1	心疾患	126.7	脳血管疾患	102.3	肺炎及び気管支炎	44.7	老衰	25.5
1990 2	悪性新生物	139.3	心疾患	134.0	脳血管疾患	103.0	肺炎及び気管支炎	51.8	老衰	25.8
1991 3	悪性新生物	142.4	心疾患	136.0	脳血管疾患	100.0	肺炎及び気管支炎	52.6	老衰	24.8
1992 4	悪性新生物	146.7	心疾患	141.8	脳血管疾患	99.6	肺炎及び気管支炎	55.0	老衰	25.0
1993 5	悪性新生物	148.3	心疾患	145.9	脳血管疾患	100.7	肺炎及び気管支炎	60.6	老衰	25.0
1994 6	悪性新生物	153.1	心疾患	127.6	脳血管疾患	102.4	肺炎及び気管支炎	62.2	老衰	25.5
1995 7	悪性新生物	163.1	脳血管疾患	121.4	心疾患	109.6	肺炎	58.7	不慮の事故	27.0
1996 8	悪性新生物	167.2	脳血管疾患	116.2	心疾患	108.9	肺炎	51.1	老衰	22.8
1997 9	悪性新生物	169.9	脳血管疾患	114.4	心疾患	110.4	肺炎	57.4	老衰	23.6
1998 10	悪性新生物	174.6	脳血管疾患	113.1	心疾患	112.6	肺炎	58.3	老衰	23.6
1999 11	悪性新生物	179.1	心疾患	120.3	脳血管疾患	113.2	肺炎	68.8	老衰	25.3
2000 12	悪性新生物	181.4	心疾患	116.3	脳血管疾患	108.2	肺炎	62.7	老衰	23.7
2001 13	悪性新生物	185.4	心疾患	117.5	脳血管疾患	106.8	肺炎	61.5	老衰	25.0
2002 14	悪性新生物	187.1	心疾患	120.4	脳血管疾患	105.6	肺炎	62.7	老衰	25.6
2003 15	悪性新生物	190.1	心疾患	126.4	脳血管疾患	106.6	肺炎	68.7	老衰	26.6
2004 16	悪性新生物	197.1	心疾患	127.2	脳血管疾患	104.5	肺炎	68.5	老衰	27.8

注:1) 死因順位は人口動態統計、各種分類表の「死因順位に用いる分類項目」によるものである。

2) 昭和26~47年は、沖縄県を含まない。

3) 昭和32年以前は統計数値が得られないため、第5位までとなっている。

4) 昭和42年以前の「その他の新生児固有の疾患」は、「その他の新生児固有の疾患及び性質不明の未熟児」である。

5) 平成6年までの老衰は、「精神病の記載のない老衰」である。

6) 平成7年以降の「心疾患」は、「心疾患(高血圧性を除く)」である。

7) 平成6年の「心疾患」の減少は、新しい死亡診断書(死体検案書)(平成7年1月1日施行)における「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」という注意書きの事前周知の影響によるものと考えられる。

第6位		第7位		第8位		第9位		第10位		年次
死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	死因	粗死亡率 (人口10万対)	
										1951 昭和26年
										1952 27
										1953 28
										1954 29
										1955 30
										1956 31
										1957 32
全結核	31.1	胃腸炎	27.7	自殺	20.8	その他の新生児固有の疾患	20.4	不慮の事故	19.3	1958 33
全結核	27.4	胃腸炎	25.4	不慮の事故	24.2	自殺	18.9	その他の新生児固有の疾患	18.1	1959 34
										1960 35
全結核	25.6	胃腸炎	23.3	不慮の事故	19.3	自殺	18.2	腎炎及びネフローゼ	16.5	1961 36
全結核	21.7	胃腸炎	21.6	不慮の事故	19.9	高血圧性疾患	17.3	自殺	16.9	1962 37
全結核	21.0	胃腸炎	19.9	高血圧性疾患	18.6	不慮の事故	18.3	自殺	14.8	1963 38
不慮の事故	18.4	高血圧性疾患	18.3	胃腸炎	17.9	全結核	17.1	自殺	13.4	1964 39
高血圧性疾患	19.2	不慮の事故	18.5	全結核	16.4	胃腸炎	16.1	自殺	12.9	1965 40
										1966 41
高血圧性疾患	19.6	不慮の事故	19.0	全結核	15.2	胃腸炎	14.4	自殺	12.2	1967 42
不慮の事故	19.9	高血圧性疾患	19.0	全結核	13.6	自殺	13.1	胃腸炎	12.8	1968 43
不慮の事故	19.8	高血圧性疾患	18.8	自殺	12.2	胃腸炎	11.9	全結核	11.7	1969 44
不慮の事故	19.0	高血圧性疾患	18.5	自殺	12.5	胃腸炎	11.1	全結核	10.8	1970 45
不慮の事故	20.0	高血圧性疾患	17.8	自殺	12.7	胃腸炎	10.5	全結核	10.2	1971 46
										1972 47
不慮の事故	20.4	高血圧性疾患	18.9	自殺	13.3	全結核	9.5	胃腸炎	9.5	1973 48
不慮の事故	20.1	高血圧性疾患	17.9	自殺	13.3	胃腸炎	8.6	腎炎及びネフローゼ	7.8	1974 49
不慮の事故	19.9	高血圧性疾患	17.7	自殺	14.4	胃腸炎	8.0	糖尿病	7.5	1975 50
高血圧性疾患	19.1	不慮の事故	18.6	自殺	14.8	胃腸炎	8.0	糖尿病	7.8	1976 51
高血圧性疾患	20.5	不慮の事故	16.6	自殺	15.0	糖尿病	8.1	胃腸炎	7.5	1977 52
										1978 53
高血圧性疾患	19.7	不慮の事故	15.7	自殺	14.6	糖尿病	8.2	肝硬変	7.5	1979 54
高血圧性疾患	19.6	不慮の事故	14.5	自殺	14.1	糖尿病	8.5	肝硬変	7.2	1980 55
高血圧性疾患	19.2	自殺	13.8	不慮の事故	13.8	糖尿病	8.6	肝硬変	7.4	1981 56
高血圧性疾患	18.4	不慮の事故	13.7	自殺	13.4	糖尿病	8.7	肝硬変	7.6	1982 57
高血圧性疾患	15.8	自殺	13.6	不慮の事故及び有害作用	13.5	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	7.8	慢性肝疾患及び肝硬変	7.5	1983 58
										1984 59
高血圧性疾患	15.7	不慮の事故及び有害作用	13.6	自殺	13.2	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	8.7	慢性肝疾患及び肝硬変	7.7	1985 60
高血圧性疾患	15.1	不慮の事故及び有害作用	13.3	自殺	12.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	8.9	慢性肝疾患及び肝硬変	7.9	1986 61
高血圧性疾患	13.7	不慮の事故及び有害作用	13.6	自殺	12.5	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	9.6	慢性肝疾患及び肝硬変	7.9	1987 62
不慮の事故及び有害作用	13.9	自殺	13.4	高血圧性疾患	13.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.1	慢性肝疾患及び肝硬変	8.0	1988 63
不慮の事故及び有害作用	13.4	自殺	13.3	高血圧性疾患	13.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	10.5	糖尿病	8.3	1989 平成元年
										1990 2
不慮の事故及び有害作用	13.5	自殺	13.1	高血圧性疾患	12.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.1	慢性肝疾患及び肝硬変	8.4	1991 3
自殺	14.9	不慮の事故及び有害作用	13.2	高血圧性疾患	11.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.4	慢性肝疾患及び肝硬変	8.5	1992 4
自殺	13.8	不慮の事故及び有害作用	13.2	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	11.8	高血圧性疾患	10.7	慢性肝疾患及び肝硬変	8.3	1993 5
不慮の事故及び有害作用	14.3	自殺	13.7	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.1	高血圧性疾患	10.3	慢性肝疾患及び肝硬変	8.5	1994 6
不慮の事故及び有害作用	14.8	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.5	自殺	13.1	高血圧性疾患	9.3	慢性肝疾患及び肝硬変	8.6	1995 7
										1996 8
不慮の事故及び有害作用	15.9	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	14.1	自殺	12.4	高血圧性疾患	9.4	慢性肝疾患及び肝硬変	8.5	1997 9
不慮の事故及び有害作用	16.4	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	13.9	自殺	11.8	高血圧性疾患	9.1	慢性肝疾患及び肝硬変	8.7	1998 10
不慮の事故及び有害作用	17.6	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	15.2	自殺	11.7	慢性肝疾患及び肝硬変	8.8	高血圧性疾患	8.8	1999 11
不慮の事故及び有害作用	18.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	15.0	自殺	11.1	慢性肝疾患及び肝硬変	8.5	糖尿病	8.4	2000 12
不慮の事故及び有害作用	19.0	腎炎、ネフローゼ症候群及びネフローゼ	15.5	自殺	10.9	糖尿病	8.9	慢性肝疾患及び肝硬変	8.3	2001 13
										2002 14
老衰	23.4	腎不全	13.2	自殺	11.3	糖尿病	11.2	肝疾患	8.6	2003 15
不慮の事故	21.5	腎不全	13.7	自殺	11.5	糖尿病	10.1	肝疾患	8.4	2004 16
不慮の事故	21.5	腎不全	14.0	自殺	11.9	糖尿病	9.5	肝疾患	8.2	
不慮の事故	21.8	自殺	14.7	腎不全	13.9	糖尿病	9.6	肝疾患	7.8	
不慮の事故	22.7	腎不全	14.7	自殺	14.1	糖尿病	9.8	肝疾患	8.0	
不慮の事故	22.3	腎不全	14.4	自殺	13.4	糖尿病	9.1	肝疾患	7.8	
不慮の事故	22.6	腎不全	14.8	自殺	12.9	糖尿病	9.0	肝疾患	7.7	
不慮の事故	22.3	腎不全	15.1	自殺	12.8	糖尿病	9.3	肝疾患	7.7	
不慮の事故	22.9	腎不全	15.7	自殺	13.5	糖尿病	9.6	肝疾患	7.8	
不慮の事故	22.5	腎不全	16.0	自殺	12.8	糖尿病	9.2	肝疾患	8.0	

第3表 全死因・心疾患・脳血管疾患の性別死亡数・粗死亡率(人口10万対)・年齢調整死亡率(人口10万対)の年次推移

年次	全死因										心疾患						脳血管疾患							
	総数		男			女			総数		男		女		総数		男		女					
	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)			
1899 明治32年	932 087	2 147.5	476 249	2 181.0		455 828	2 113.4		21 113	48.6	10 533	48.2		10 580	49.1	73 989	170.5	39 959	183.0	34 030	157.8			
1900 33年	910 744	2 077.1	464 072	2 104.5		446 664	2 049.3		21 107	48.1	10 351	46.9		10 756	49.3	69 799	159.2	37 857	171.7	31 942	146.5			
1901 34年	925 810	2 087.1	468 524	2 101.2		457 278	2 072.8		21 869	49.3	10 597	47.5		11 272	51.1	75 250	169.6	40 470	181.5	34 780	157.7			
1902 35年	959 126	2 133.1	486 410	2 151.7		472 710	2 114.3		23 837	53.0	11 733	51.9		12 104	54.1	74 935	166.7	40 444	178.9	34 491	154.3			
1903 36年	931 008	2 044.1	472 249	2 062.1		458 755	2 025.9		23 665	52.0	11 576	50.5		12 089	53.4	73 939	162.3	39 957	174.5	33 982	150.1			
1904 37年	955 400	2 070.9	481 445	2 075.6		473 950	2 066.0		25 435	55.1	12 051	52.0		13 384	58.3	77 588	168.2	41 844	180.4	35 744	155.8			
1905 38年	1 004 661	2 155.0	505 290	2 157.4		499 365	2 152.5		25 888	55.5	12 460	53.2		13 428	57.9	76 169	163.4	41 131	175.6	35 038	151.0			
1906 39年	955 256	2 030.8	480 077	2 034.3		475 176	2 027.3		25 792	54.8	12 004	50.9		13 788	58.8	73 449	156.1	39 979	169.4	33 470	142.8			
1907 40年	1 016 798	2 144.4	512 110	2 153.0		504 681	2 135.8		28 645	60.4	13 456	56.6		15 189	64.3	78 580	165.7	42 610	179.1	35 970	152.2			
1908 41年	1 029 447	2 146.2	517 755	2 153.6		511 687	2 138.8		28 575	59.6	13 476	56.1		15 099	63.1	73 760	153.8	40 168	167.1	33 592	140.4			
1909 42年	1 091 264	2 247.5	550 267	2 262.1		540 992	2 232.9		32 580	67.1	15 747	64.7		16 833	69.5	67 788	139.6	36 713	150.9	31 075	128.3			
1910 43年	1 064 234	2 163.8	535 076	2 170.7		529 156	2 156.8		31 976	65.0	15 100	61.3		16 876	68.8	64 888	131.9	35 578	144.3	29 310	119.5			
1911 44年	1 043 906	2 094.0	526 141	2 105.2		517 762	2 082.8		31 555	63.3	14 926	59.7		16 629	66.9	65 731	131.9	35 859	143.5	29 872	120.2			
1912 大正元年	1 037 016	2 050.4	523 604	2 064.3		513 410	2 036.4		31 223	61.7	14 776	58.3		16 447	65.2	67 489	133.4	36 787	145.0	30 702	121.8			
1913 2年	1 027 257	2 002.3	521 210	2 025.1		506 042	1 979.2		31 092	60.6	14 682	57.0		16 410	64.2	66 771	130.1	36 644	142.4	30 127	117.8			
1914 3年	1 101 815	2 117.3	559 337	2 142.6		542 473	2 091.7		32 476	62.4	15 558	59.6		16 918	65.2	68 571	131.8	37 202	142.5	31 369	121.0			
1915 4年	1 093 793	2 073.5	556 179	2 101.6		537 610	2 045.2		33 586	63.7	15 991	60.4		17 595	66.9	67 921	128.8	37 357	141.2	30 564	116.3			
1916 5年	1 187 832	2 220.4	604 156	2 250.9		583 674	2 189.7		37 022	69.2	17 867	66.6		19 155	71.9	73 912	138.2	40 458	150.7	33 454	125.5			
1917 6年	1 199 669	2 216.1	609 310	2 243.6		590 359	2 188.5		37 862	69.9	18 405	67.8		19 457	72.1	77 999	144.1	42 809	157.6	35 190	130.4			
1918 7年	1 493 162	2 727.8	753 392	2 744.3		739 770	2 711.2		44 760	81.8	21 104	76.9		23 656	86.7	86 262	157.6	47 370	172.5	38 892	142.5			
1919 8年	1 281 965	2 329.4	648 984	2 351.2		632 981	2 307.5		34 426	62.6	16 396	59.4		18 030	65.7	84 382	153.3	46 415	168.2	37 967	138.4			
1920 9年	1 422 096	2 541.1	720 655	2 569.7		701 441	2 512.4		35 540	63.5	16 775	59.8		18 765	67.2	88 186	157.6	49 181	175.4	39 005	139.7			
1921 10年	1 288 570	2 274.0	659 328	2 320.6		629 242	2 227.1		37 420	66.0	18 299	64.4		19 121	67.7	90 523	159.7	51 024	179.6	39 499	139.8			
1922 11年	1 286 941	2 242.4	655 740	2 276.9		631 201	2 207.7		37 312	65.0	17 777	61.7		19 535	68.3	91 433	159.3	51 183	177.7	40 250	140.8			
1923 12年	1 332 485	2 292.7	679 072	2 327.4		653 405	2 257.6		42 184	72.6	20 807	71.3		21 377	73.9	94 615	162.8	53 372	182.9	41 243	142.5			
1924 13年	1 254 946	2 131.5	642 969	2 174.5		611 977	2 088.2		40 676	69.1	19 524	66.0		21 152	72.2	102 810	174.6	57 851	195.6	44 959	153.4			
1925 14年	1 210 706	2 026.7	621 357	2 070.3		589 349	1 982.8		39 895	66.8	19 485	64.9		20 410	68.7	96 293	161.2	54 767	182.5	41 526	139.7			
1926 昭和元年	1 160 734	1 911.0	597 292	1 957.0		563 435	1 864.5		37 949	62.5	18 267	59.9		19 682	65.1	98 688	162.5	55 732	182.6	42 952	146.1			
1927 2年	1 214 323	1 969.4	624 311	2 015.1		590 012	1 923.3		38 971	63.2	18 717	60.4		20 254	66.0	101 705	164.9	57 186	184.6	44 519	145.1			
1928 3年	1 236 711	1 975.7	639 214	2 032.5		597 497	1 918.4		39 908	63.8	19 751	62.8		20 157	64.7	102 985	164.5	58 087	184.7	44 898	144.2			
1929 4年	1 261 228	1 987.4	645 994	2 025.7		615 234	1 948.8		41 532	65.4	20 508	64.3		21 024	66.6	108 439	170.9	60 242	188.9	48 197	152.7			
1930 5年	1 170 867	1 816.7	603 995	1 864.7		566 871	1 768.2		41 138	63.8	20 190	62.3		20 948	65.3	104 942	162.8	58 276	179.9	46 666	145.6			
1931 6年	1 240 891	1 895.7	642 146	1 951.9		598 745	1 839.0		41 867	64.0	20 666	62.8		21 201	65.1	107 352	164.0	59 760	181.6	47 592	146.2			
1932 7年	1 175 344	1 769.2	607 267	1 820.6		568 077	1 717.3		38 973	58.7	18 932	56.8		20 041	60.6	107 378	161.6	59 299	177.8	48 079	145.3			
1933 8年	1 193 987	1 770.7	618 496	1 827.5		575 491	1 713.4		40 111	59.5	19 662	58.1		20 449	60.9	110 719	164.2	61 114	180.6	49 605	147.7			
1934 9年	1 234 684	1 807.5	639 098	1 863.6		595 507	1 750.7		42 519	62.2	21 067	61.4		21 452	63.1	114 447	167.5	63 333	184.7	51 114	150.3			
1935 10年	1 161 936	1 677.8	603 566	1 737.7		558 367	1 617.5		39 902	57.6	19 936	57.4		19 966	57.8	114 554	165.4	62 983	181.3	51 571	149.4			
1936 11年	1 230 278	1 754.7	637 854	1 817.1		592 421	1 692.1		42 910	61.2	21 468	61.2		21 442	61.2	118 152	168.5	65 323	186.1	52 829	150.9			
1937 12年	1 207 899	1 710.2	625 625	1 781.0		582 274	1 640.1		42 822	60.6	21 480	61.1		21 342	60.1	118 761	168.1	65 097	185.3	53 664	151.2			
1938 13年	1 259 805	1 774.1	652 936	1 858.9		606 869	1 691.0		47 461	66.8	23 998	68.3		23 463	65.4	126 861	178.6	69 991	199.3	56 870	158.5			
1939 14年	1 268 760	1 777.5	658 589	1 869.6		610 171	1 687.7		47 442	66.5	23 783	67.5		23 659	65.4	130 826	183.3	71 912	204.1	58 914	163.0			
1940 15年	1 186 595	1 649.6	615 311	1 738.8		571 284	1 563.2		45 542	63.3	22 507	63.6		23 035	63.0	127 847	177.7	70 075	198.0	57 772	158.1			
1941 16年	1 149 559	1 603.7	597 373	1 721.2		552 186	1 493.4		42 543	59.4	20 974	60.4		21 569	58.3	125 124	174.6	67 357	194.1	57 767	156.2			
1942 17年	1 166 630	1 611.7	609 038	1 746.4		557 592	1 486.5		43 487	60.1	21 265	61.0		22 222	59.2	125 349	173.2	67 144	192.5	58 205	155.2			
1943 18年	1 219 073	1 672.6	638 135	1 835.5		580 938	1 524.1		45 428	62.3	21 894	63.0		23 534	61.7	120 985	166.0	64 538	185.6	56 447	148.1			
1947 22年	1 138 238	1 457.4	595 670	1 562.2	2 363.3	542 568	1 357.4	1 826.3	48 575	62.2	23 618	61.9	113.3	24 957	62.4	97.8	101 095	129.4	51 841	136.0	318.7	49 254	123.2	235.3
1948 23年	950 610	1 188.2	493 573	1 261.4	1 929.0	457 037	1 118.2	1 539.5	49 046	61.3	23 927	61.1	111.6	25 119	61.5	97.4	94 329	117.9	4					

年次		全死因									心疾患						脳血管疾患											
		総数			男			女			総数			男			女			総数			男			女		
		死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡率	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡率	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡率	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡率	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡率	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡率	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡率	死亡数	粗死亡率 (人口10万対)	死亡率	粗死亡率 (人口10万対)	年齢調整死亡率 (人口10万対)	死亡率
1955	30年	693 523	776.8	365 246	832.7	1 482.0	328 277	722.8	1 099.3	54 351	60.9	27 282	62.2	125.4	27 069	59.6	96.8	121 504	136.1	62 737	143.0	302.1	58 767	129.4	224.8			
1956	31年	724 460	802.6	381 395	859.9	1 557.2	343 065	747.4	1 146.2	59 543	66.0	29 993	67.6	136.4	29 550	64.4	104.3	133 931	148.4	69 427	156.5	326.7	64 504	140.5	241.1			
1957	32年	752 445	826.1	397 502	887.9	1 629.1	354 943	766.3	1 179.5	66 571	73.1	34 030	76.0	155.5	32 541	70.3	113.1	138 181	151.7	72 802	162.6	334.1	65 379	141.2	239.0			
1958	33年	684 189	746.3	363 647	804.0	1 438.5	320 542	685.2	1 036.1	59 603	68.8	30 358	67.1	136.7	29 245	62.5	100.5	136 767	148.6	71 842	158.4	321.6	65 125	139.2	232.5			
1959	34年	689 959	742.1	367 562	804.2	1 435.6	322 370	682.1	1 023.3	62 954	67.7	32 135	70.3	142.6	30 819	65.2	103.6	142 858	153.7	75 169	164.5	330.2	67 689	143.2	235.6			
1960	35年	706 599	756.4	377 526	822.9	1 476.1	329 073	692.2	1 042.3	68 400	73.2	34 755	75.8	153.3	33 645	70.8	111.9	150 109	160.7	78 965	172.1	341.1	71 144	149.6	242.7			
1961	36年	695 644	737.8	371 858	803.1	1 432.5	323 786	674.8	1 000.5	68 017	72.1	34 324	74.1	149.6	33 693	70.2	109.2	155 966	165.4	82 817	178.9	349.0	73 149	152.5	242.2			
1962	37年	710 265	746.2	380 826	814.7	1 464.6	329 439	680.2	1 004.2	72 493	76.2	37 230	79.6	160.7	35 263	72.8	112.4	161 228	169.4	85 877	183.7	355.0	75 351	155.6	244.1			
1963	38年	670 770	697.6	361 469	765.3	1 344.6	309 301	632.2	927.5	67 672	70.4	34 605	73.3	145.0	33 067	67.6	104.0	164 818	171.4	87 943	186.2	356.1	76 875	157.1	244.4			
1964	39年	673 067	692.6	363 531	761.4	1 324.6	309 536	626.0	906.9	68 328	70.3	34 986	73.3	142.9	33 342	67.4	101.9	166 901	171.7	89 040	186.5	353.6	77 861	157.5	241.4			
1965	40年	700 438	712.7	378 716	785.0	1 369.9	321 722	643.1	931.5	75 672	77.0	38 827	80.5	156.0	36 845	73.6	111.1	172 773	175.8	92 723	192.2	361.0	80 050	160.0	243.8			
1966	41年	670 342	676.7	363 356	747.2	1 273.2	306 986	608.7	867.3	71 188	71.9	36 607	75.3	142.3	34 581	68.6	101.8	172 186	173.8	92 066	189.3	349.1	80 120	158.9	237.7			
1967	42年	675 006	677.5	366 076	748.6	1 256.2	308 930	608.9	849.3	75 424	75.7	38 900	79.6	148.0	36 524	72.0	104.6	172 464	173.1	92 024	188.2	342.1	80 440	158.5	232.1			
1968	43年	686 555	681.1	372 931	753.7	1 254.8	313 624	611.2	839.6	80 866	80.2	41 766	84.4	155.6	39 100	76.2	109.0	174 905	173.5	93 773	189.5	340.6	81 132	158.1	227.5			
1969	44年	693 787	680.0	379 506	757.5	1 237.2	314 281	605.3	815.3	83 357	81.7	43 305	86.4	156.4	40 052	77.1	108.4	177 894	174.4	95 822	190.9	338.7	82 272	156.5	223.3			
1970	45年	712 962	691.4	387 880	766.6	1 234.6	325 082	619.0	823.3	89 411	86.7	45 988	90.9	161.7	43 423	82.7	114.5	181 315	175.8	96 910	191.5	333.8	84 405	160.7	222.6			
1971	46年	684 521	656.0	372 942	728.0	1 146.0	311 579	586.6	758.3	85 529	82.0	44 380	86.6	149.9	41 149	77.5	104.3	176 952	169.6	94 404	184.3	314.5	82 548	155.4	209.1			
1972	47年	683 751	646.6	372 833	719.1	1 120.9	310 918	576.9	735.4	85 885	81.2	44 192	85.2	146.6	41 693	77.4	102.8	176 228	166.7	93 290	179.9	304.7	82 938	153.9	203.9			
1973	48年	709 416	656.4	383 592	723.7	1 118.5	325 824	591.6	740.0	94 324	87.3	48 300	91.1	154.6	46 024	83.6	108.4	180 332	166.9	94 323	178.0	297.7	86 009	156.2	202.4			
1974	49年	710 510	649.4	381 869	711.4	1 087.7	328 641	589.7	724.3	98 251	89.8	49 655	92.5	154.5	48 596	87.2	110.9	178 365	163.0	92 620	172.5	283.9	85 745	153.9	194.9			
1975	50年	702 275	631.2	377 827	690.4	1 036.5	324 448	574.0	685.1	99 226	89.2	50 395	92.1	150.0	48 831	86.4	106.3	174 367	156.7	89 924	164.3	265.0	84 443	149.4	183.0			
1976	51年	703 270	625.6	378 630	684.3	1 012.5	324 640	568.7	664.0	103 638	92.2	52 673	95.2	152.0	50 965	89.3	106.9	173 745	154.5	89 189	161.2	254.4	84 556	148.1	176.8			
1977	52年	690 074	608.0	372 175	666.3	959.9	317 899	551.5	624.2	103 564	91.2	53 079	95.0	147.1	50 485	87.6	101.2	170 029	149.8	86 807	155.4	237.9	83 222	144.4	166.2			
1978	53年	695 821	607.6	375 625	666.5	939.9	320 196	550.6	604.8	106 786	93.3	54 643	97.0	146.0	52 143	89.7	100.0	167 452	146.2	85 308	151.4	226.1	82 144	141.3	156.8			
1979	54年	689 664	597.3	373 183	656.6	902.5	316 481	539.8	574.4	111 938	96.9	58 065	102.2	147.2	53 873	91.9	98.5	158 974	137.7	80 134	141.0	204.3	78 840	134.5	143.9			
1980	55年	722 801	621.4	390 644	682.9	923.5	332 157	561.8	579.8	123 505	106.2	64 103	112.1	158.0	59 402	100.5	103.9	162 317	139.5	81 650	142.7	202.0	80 667	136.4	140.9			
1981	56年	720 262	614.5	388 575	674.0	889.2	331 687	557.0	556.3	126 012	107.5	64 281	111.5	153.1	61 731	103.3	103.3	157 351	134.3	78 510	136.2	187.7	78 841	132.4	131.8			
1982	57年	711 883	603.2	385 494	664.0	849.6	326 389	544.4	523.4	125 905	106.7	64 578	111.2	147.5	61 327	102.3	97.5	147 537	125.0	73 192	126.1	168.1	74 345	124.0	118.2			
1983	58年	740 038	623.0	401 232	686.6	855.3	338 806	561.4	520.1	132 244	111.3	67 412	115.4	148.5	64 832	107.4	98.1	145 880	122.8	71 631	122.6	158.6	74 249	123.0	112.4			
1984	59年	740 247	619.3	402 220	684.1	831.1	338 027	556.6	498.4	136 162	113.9	69 582	118.4	143.8	66 580	109.6	96.2	140 093	117.2	68 262	116.1	146.1	71 831	128.3	103.9			
1985	60年	752 283	625.1	407 769	689.9	812.9	344 514	563.1	482.9	141 097	117.3	71 766	114.4	146.9	69 331	113.3	94.6	134 994	112.2	65 287	110.5	134.0	69 707	113.9	95.3			
1986	61年	750 620	620.6	406 918	684.6	785.0	343 702	558.8	461.7	142 581	117.9	72 072	121.3	142.4	70 509	114.6	91.6	129 289	106.9	61 832	104.0	122.4	67 457	109.7	88.0			
1987	62年	751 172	618.1	408 094	683.3	758.2	343 078	555.0	439.1	143 909	118.4	72 566	121.5	137.3	71 343	115.4	87.6	123 626	101.7	58 744	98.4	111.6	64 882	105.0	80.1			
1988	63年	793 014	649.9	428 094	713.9	770.8	364 920	588.0	445.9	157 920	129.4	78 640	131.1	143.8	79 280	127.7	92.4	128 695	105.5	60 832	104.4	111.4	67 863	109.3	79.5			
1989	平成元年	788 594	644.0	427 114	709.8	744.7	361 480	580.3	424.4	156 831	128.1	77 901	129.5	137.6	78 930	126.7	87.7	120 652	98.5	56 938	94.6	100.5	63 714	102.3	71.2			
1990	2年	820 305	668.4	443 718	736.5	747.9	376 587	602.8	423.0	165 478	134.8	81 774	135.7	139.1	83 704	134.0	88.5	121 944	99.4	57 627	95.6	97.9	64 317	103.0	68.6			
1991	3年	829 797	674.1	450 344	745.3	735.5	379 453	605.4	410.1	168 878	137.2	83 646	138.4	137.6	85 232	136.0	86.0	118 448	96.2	55 740	92.2	91.5	62 708	100.0	64.0			
1992	4年	856 643	693.8	465 544	768.3	735.2	391 099	622.0	404.5	175 546	142.2	86 384	142.6	137.1	89 162	141.8	85.5	118 058	95.6	55 431	91.5	87.7	62 627	99.6	60.9			
1993	5年	878 532	709.7	476 462	784.6	729.0	402 070	637.6	398.9	180 297	145.6	88 309	145.4	135.4	91 988	145.9	84.2	118 794	96.0	55 279	91.0	84.6	63 515	100.7	59.1			
1994	6年	875 933	706.0	476 080	782.5	705.7	399 853	632.4	380.3	159 579	128.6	78 868	129.6	116.7	80 711	127.6	70.7	120 239	96.9	55 510	91.2	82.0	64 729	102.4	57.1			
1995	7年	922 139	741.9	501 276	822.9	719.6	420 863	664.0	384.7	139 206	112.0	69 718	114.4	99.7	69 488	109.6	58.4	146 552	117.9	69 587	114.2	99.3	76 965	121.4	64.0			
1996	8年	896 211	718.6	488 605	799.5	677.4	407 606	641.0	357.2	138 229	110.8	68 977	112.9	95.1	69 252	108.9	55.2	140 366	112.6	66 479	108.8	91.3	73 887	116.2	58.5			
1997	9年	913 402	730.9	497 796	813.3	667.2	415 606	651.9	348.4	140 174	112.2	69 776	114.0	92.8	70 398	110.4	53.1	138 697	111.0	65 790	107.5	87.1	72 907	114.4	54.8			
1998	10年	936 484	747.7	512 128	835.3	664.7	424																					

第5表 脳血管疾患の性・病類・年齢(10歳階級)別粗死亡率(人口10万対)

病類・年齢階級	昭和26年 1951	30年 '55	35年 '60	40年 '65	45年 '70	50年 '75	55年 '80	60年 '85	平成2年 '90	7年 '95	12年 2000	16年 '04
男												
脳血管疾患												
総数	126.3	143.0	172.1	192.2	191.5	164.3	142.7	110.5	95.6	114.2	102.7	99.9
39歳以下	3.7	3.2	3.9	5.5	6.4	5.0	4.5	2.9	2.8	2.4	2.3	2.4
40～49歳	69.5	77.5	79.2	75.5	68.5	64.6	51.5	34.2	26.9	24.4	22.3	20.3
50～59歳	278.6	319.0	340.6	295.9	238.3	162.8	122.3	93.0	74.4	65.6	54.4	49.9
60～69歳	920.8	978.1	1 025.9	1 006.6	844.6	578.3	403.1	235.8	166.4	177.0	139.4	116.8
70～79歳	2 117.1	2 199.7	2 499.8	2 719.2	2 516.6	1 936.4	1 450.3	897.9	616.7	588.9	428.9	371.4
80～89歳	2 970.9	3 143.5	3 997.0	4 929.3	4 996.6	4 573.2	3 710.2	2 645.9	1 984.8	2 109.6	1 528.9	1 195.5
90歳以上		3 259.6	4 297.8	4 275.9	5 889.4	6 558.4	5 910.4	4 825.8	4 209.4	4 866.2	3 391.1	2 878.5
<も膜下出血												
総数	1.8	3.0	4.0	4.8	5.3	5.8	6.4	7.0	8.1	9.0	9.0	9.0
39歳以下	0.6	0.8	1.0	1.2	1.6	1.4	1.3	1.0	1.2	1.1	1.1	1.1
40～49歳	3.9	5.5	6.4	8.1	8.8	10.0	9.8	9.5	9.5	8.8	8.2	7.6
50～59歳	6.2	10.0	13.6	13.8	14.0	15.1	16.9	17.2	17.2	16.5	14.5	13.5
60～69歳	7.5	15.0	17.5	21.1	19.7	20.0	20.0	20.0	20.9	22.4	19.5	17.5
70～79歳	8.9	16.8	20.2	25.1	23.4	22.3	24.5	25.5	27.8	29.2	26.8	25.2
80～89歳	6.0	9.0	25.3	23.9	23.7	25.2	24.1	27.6	32.9	39.2	41.4	39.7
90歳以上		-	24.2	14.6	17.2	27.7	24.1	28.5	38.1	47.9	51.0	53.7
脳内出血												
総数	117.5	123.4	132.4	117.3	92.6	63.9	46.8	32.0	26.3	29.0	27.3	28.6
39歳以下	2.4	1.9	2.3	3.4	3.8	2.8	2.4	1.4	1.2	1.0	0.9	1.0
40～49歳	61.8	65.8	65.2	55.0	46.6	41.4	31.7	19.5	14.3	12.4	11.4	10.6
50～59歳	259.3	281.8	280.0	215.1	157.0	98.3	71.0	50.9	39.5	33.1	27.5	26.5
60～69歳	868.9	854.3	812.0	651.8	457.7	272.4	170.1	93.5	65.9	68.3	55.7	50.2
70～79歳	1 990.4	1 892.5	1 862.6	1 539.3	1 075.9	646.7	393.1	216.8	146.3	135.7	108.8	106.7
80～89歳	2 779.9	2 662.8	2 817.7	2 456.8	1 759.5	1 144.3	746.3	459.4	313.2	334.8	259.8	231.8
90歳以上		2 779.2	2 857.1	1 966.8	1 551.1	1 163.1	832.3	614.4	478.8	521.8	429.4	395.5
脳梗塞												
総数	4.1	9.4	22.7	46.1	60.5	62.4	65.0	54.9	50.5	70.1	63.5	59.6
39歳以下	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2
40～49歳	2.5	3.8	3.8	4.3	4.0	4.2	3.9	2.7	2.0	2.4	1.8	1.5
50～59歳	8.1	15.5	25.2	32.4	32.2	23.0	18.9	17.1	13.3	13.9	10.6	8.1
60～69歳	25.9	60.0	119.9	208.3	224.8	173.8	149.4	95.7	67.4	79.6	60.3	45.4
70～79歳	64.4	159.9	407.2	805.6	956.6	873.0	771.4	521.1	381.8	399.1	282.9	230.2
80～89歳	94.0	266.4	810.7	1 788.9	2 247.4	2 398.7	2 215.7	1 651.0	1 335.0	1 599.8	1 189.6	895.6
90歳以上		205.9	1 077.5	1 690.0	3 262.4	3 881.5	3 663.8	3 047.2	2 737.5	3 770.5	2 800.7	2 356.1
女												
脳血管疾患												
総数	124.1	129.4	149.6	160.0	160.7	149.4	136.4	113.9	103.0	121.4	108.2	104.5
39歳以下	3.8	3.1	3.0	2.8	3.0	2.6	2.2	1.6	1.3	1.4	1.3	1.2
40～49歳	69.3	61.9	52.1	41.2	32.5	27.2	24.4	18.0	14.8	13.1	11.1	9.7
50～59歳	244.9	238.7	214.2	167.2	130.1	92.2	66.7	49.4	36.4	33.1	27.3	24.3
60～69歳	709.8	677.4	658.6	600.4	481.1	332.4	236.7	141.5	96.1	88.9	65.8	52.8
70～79歳	1 662.7	1 674.6	1 897.2	1 926.9	1 719.7	1 357.3	987.6	609.9	419.2	364.9	251.7	193.2
80～89歳	2 456.6	2 485.0	3 149.5	3 833.8	3 969.4	3 730.8	3 072.8	2 239.9	1 651.9	1 558.6	1 102.4	857.0
90歳以上		2 497.3	3 598.4	4 063.5	5 186.7	5 977.4	5 562.5	4 531.8	3 906.0	4 209.5	2 992.2	2 498.7
<も膜下出血												
総数	1.9	2.9	3.8	4.4	5.0	6.0	7.5	10.0	11.9	14.1	14.5	14.2
39歳以下	0.7	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6
40～49歳	3.6	4.9	4.9	5.0	5.2	6.4	7.3	7.7	7.4	6.8	6.0	5.3
50～59歳	5.9	9.2	10.4	11.1	11.6	11.7	13.0	15.1	14.7	14.2	13.0	10.7
60～69歳	7.5	14.0	18.5	19.6	20.8	24.4	26.6	28.0	26.9	27.4	22.7	19.8
70～79歳	8.7	14.8	24.7	25.9	25.8	30.2	38.9	51.3	55.7	55.0	46.8	40.8
80～89歳	7.4	15.2	15.9	30.6	27.4	28.7	35.8	55.3	74.4	89.4	86.8	79.7
90歳以上		23.6	25.1	13.5	20.7	26.7	27.9	36.5	54.4	90.7	102.1	95.6
脳内出血												
総数	115.3	111.6	114.6	95.0	73.6	52.7	39.6	27.8	22.0	24.5	22.2	22.3
39歳以下	2.4	1.6	1.5	1.4	1.4	1.2	0.9	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4
40～49歳	60.9	51.0	39.4	27.5	19.6	15.0	12.4	7.5	5.4	4.6	3.6	3.4
50～59歳	228.6	210.3	173.3	115.7	80.6	53.4	34.0	23.0	14.4	12.3	10.1	9.7
60～69歳	668.1	591.3	522.7	389.3	258.5	156.1	99.1	51.3	32.6	29.0	21.1	17.9
70～79歳	1 565.6	1 458.8	1 447.8	1 116.5	770.5	464.5	290.1	158.2	102.8	92.4	67.8	56.1
80～89歳	2 293.8	2 117.4	2 312.8	2 027.3	1 464.2	966.2	641.6	411.1	274.5	264.8	200.6	171.4
90歳以上		2 007.3	2 373.9	1 830.6	1 544.6	1 171.8	856.3	596.8	451.3	456.1	351.6	313.2
脳梗塞												
総数	4.0	8.5	20.1	40.8	54.1	60.9	64.5	57.0	54.7	73.7	68.0	65.0
39歳以下	0.7	0.7	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1
40～49歳	3.4	3.9	4.7	4.7	3.7	2.6	2.0	1.4	1.2	1.3	1.1	0.6
50～59歳	6.5	12.0	17.2	22.1	20.2	13.2	10.9	7.0	5.2	5.4	3.4	3.1
60～69歳	19.4	40.3	71.7	120.2	121.9	91.1	74.5	46.1	29.9	29.3	19.7	13.3
70～79歳	44.7	108.5	275.5	542.3	618.4	584.9	483.4	308.5	218.1	198.7	129.8	90.8
80～89歳	84.0	192.5	563.1	1 260.1	1 713.9	1 926.3	1 779.4	1 335.3	1 032.9	1 085.4	780.7	583.9
90歳以上		283.4	848.4	1 617.3	2 542.6	3 403.5	3 367.1	2 787.8	2 466.1	3 111.0	2 417.4	2 014.8

注: 1) 昭和60年の粗死亡率の算出においては、昭和60年国勢調査確定人口を用いたため人口動態統計報告書とは一致しない。
2) 昭和26年の「80歳～89歳」の数値は、80歳以上の数値である。

14 参考

(1) 観察対象の範囲

観察対象は、次の表に示すとおりである。

地域範囲	昭和18年以前	沖縄を含む旧内地(樺太を除く)
	昭和22～25年	北海道、本州、四国、九州に属する地域のうち、北海道根室支庁の一部、東京都小笠原支庁、島根県竹島、鹿児島県大島郡十島村北緯30度以南、沖縄全県を除く地域
	昭和26～47年	昭和26年12月5日以降：鹿児島県大島郡十島村北緯29～30度(吐噶喇列島)を含む 昭和28年12月25日以降：同村北緯29度以南(奄美群島)を含む 昭和43年6月26日以降：東京都小笠原村を含む
	昭和48年以降	沖縄を含む。したがって、北海道、本州、四国、九州に属する地域のうち、北海道根室支庁の一部、島根県竹島を除く地域
観察対象の地域的属性	昭和18年以前 昭和22年以降	死亡の場所が前掲の地域にあるもの
観察対象の人的範囲	昭和18年以前	死亡者の本籍が沖縄、樺太を含む旧内地にあるもの
	昭和22年以降	死亡者の本籍が北海道、本州、四国、九州及び沖縄にあるもの(昭和58年3月以前には、北海道根室支庁の一部は含まない)
観察期間	大正11年以前	各年1月1日から翌年3月31日までに届け出られたもののうち、1月1日～同年12月31日までの期間に事件発生のもの
	大正12～ 昭和18年	各年1月1日から翌年1月31日までに届け出られたもののうち、1月1日～同年12月31日までの期間に事件発生のもの
	昭和22年	各年1月1日から12月31日までに届け出られたもののうち、同年中に事件発生のもの
	昭和23～42年	各年1月1日から翌年4月14日までに届け出られたもののうち、1月1日～同年12月31日までの期間に事件発生のもの
	昭和43～45年	各年1月1日から翌年2月14日までに届け出られたもののうち、1月1日～同年12月31日までの期間に事件発生のもの
	昭和46年以降	各年1月1日から翌年1月14日までに届け出られたもののうち、1月1日～同年12月31日までの期間に事件発生のもの
都道府県の分類の基準	昭和18年以前 昭和22～24年	発生地に基づき各年1月1日現在の行政区画によって分類
	昭和25～46年	死亡当時の住所に基づき事件発生当時の行政区画によって分類
	昭和47年以降	死亡当時の住所に基づき届出当時の行政区画によって分類

(2) 用語の解説

年 齢 : 死亡時の年齢である。

職業・産業 : 職業・産業の分類は、平成7年国勢調査及び平成12年国勢調査に用いた職業分類・産業分類の大分類に準拠している。

配偶関係 : 法律上の婚姻関係による。

心疾患

- ・急性心筋梗塞
心臓に酸素や栄養を送る冠状動脈が閉塞して心臓の筋肉が壊死を起こす疾患で激しい胸痛を伴う。
- ・その他の虚血性心疾患
狭心症等、心臓に酸素や栄養を送る冠状動脈が狭窄し、血流不足となって発症する疾患。
- ・不整脈及び伝導障害
不整脈には心臓を拍動させる刺激発生の異常と伝導障害によるものがある。伝導障害とは刺激の伝導経路に障害が起きた状態。
- ・心不全
心臓のポンプとしての機能が衰え、血液を送り出したり、戻ってきた血液を取り入れられなくなった状態。

脳血管疾患

- ・くも膜下出血
脳動脈瘤が破裂して、脳のくも膜下腔に出血を来す疾患で激しい頭痛を伴う。
- ・脳内出血
脳の微小動脈瘤の破裂等により、脳内に出血が起きた状態で出血の部位によって症状や重傷度が異なる。
- ・脳梗塞
脳の血管が閉塞して脳が壊死を起こす疾患で主に動脈硬化による脳血栓症と、血管内に生じた血栓によって脳血管が閉塞する脳塞栓症とがある。

(3) 比率の解説

① 総粗死亡率

$$= \frac{\text{年間の総死亡数}}{\text{10月1日現在の日本人口}} \times 100,000$$

② 心疾患(脳血管疾患)粗死亡率(総数・男・女)

$$= \frac{\text{年間の心疾患(脳血管疾患)死亡数(総数・男・女)}}{\text{10月1日現在の日本人口(総数・男・女)}} \times 100,000$$

③ 年齢階級別心疾患(脳血管疾患)粗死亡率(総数・男・女)

$$= \frac{\text{年間の年齢階級別心疾患(脳血管疾患)死亡数(総数・男・女)}}{\text{10月1日現在の日本人(総数・男・女)の年齢階級別人口}} \times 100,000$$

④ 性・年齢階級・配偶関係別心疾患(脳血管疾患)粗死亡率(男・女)

$$= \frac{\text{年齢階級・配偶関係別心疾患(脳血管疾患)死亡数(男・女)}}{\text{国勢調査による年齢階級・配偶関係別人口(男・女)}} \times 100,000$$

注：配偶関係は、総数・有配偶・未婚・死別・離別である。

⑤ 性・職業(産業)別粗死亡率(男・女)

$$= \frac{\text{性・職業(産業)別死亡数(男・女)}}{\text{国勢調査による性・職業(産業)別人口(男・女)}} \times 100,000$$

⑥ 1日平均心疾患(脳血管疾患)死亡数

$$= \frac{\text{月間の心疾患(脳血管疾患)死亡数}}{\text{当該月の日数(30、31、28又は29)}}$$

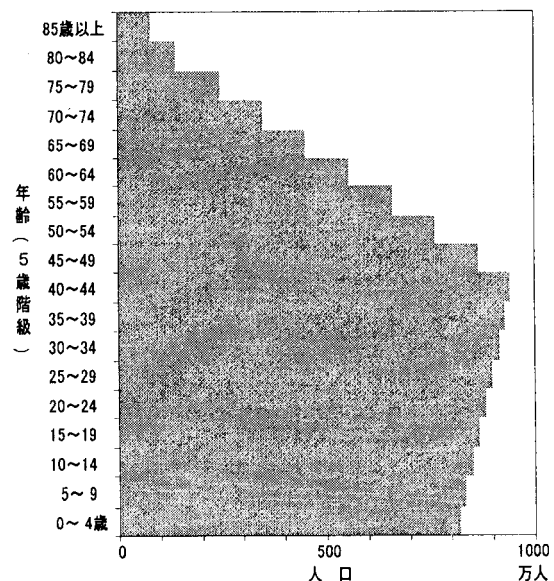
⑦ 心疾患(脳血管疾患)年齢調整死亡率

$$= \frac{\text{(観察集団の年齢階級別心疾患(脳血管疾患)粗死亡率} \times \text{基準人口集団の年齢階級別人口)} \text{の総和}}{\text{基準人口集団の総和}}$$

年齢調整死亡率とは、年齢構成の異なる人口集団の間での粗死亡率や、特定の年齢層に偏在する死因別粗死亡率について、その年齢構成の差を取り除いて比較ができるように調整した粗死亡率をいう。
本報告では国際比較を除き、基準人口は、昭和60年モデル人口である。

基準人口 - 昭和60年モデル人口 -

年齢	基準人口
0~4歳	8 180 000
5~9	8 338 000
10~14	8 497 000
15~19	8 655 000
20~24	8 814 000
25~29	8 972 000
30~34	9 130 000
35~39	9 289 000
40~44	9 400 000
45~49	8 651 000
50~54	7 616 000
55~59	6 581 000
60~64	5 546 000
65~69	4 511 000
70~74	3 476 000
75~79	2 441 000
80~84	1 406 000
85歳以上	784 000
総数	120 287 000



注：昭和60年モデル人口は、昭和60年国勢調査人口を基礎に、ベビーブームなどの極端な増減を補正し、四捨五入によって1000人単位としたものである。

—世界人口—

World standard population

Age group	World
0 Years	1 800
1～4	7 000
5～9	8 700
10～14	8 600
15～19	8 500
20～24	8 200
25～29	7 900
30～34	7 600
35～39	7 200
40～44	6 600
45～49	6 000
50～54	5 400
55～59	4 600
60～64	3 700
65～69	3 000
70～74	2 200
75～79	1 500
80～84	900
85+	600
Total	100 000

資料:WHO「World Health Statistics Annual」

(4) 死因年次推移分類の変遷

死 因	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
	M32～39年 1899-1906	M40～41年 1908-1909	M42～T11年 1909-1922	T12～S7年 1923-1932	S8～S18年 1933-1943	S21～24年 1946-1949	S25～32年 1950-1957	S33～42年 1958-1967	S43～53年 1968-1978	S54年～H6年 1979-1994	H7年～ 1995-
	中文類	中文類	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類	小分類	
心疾患(高血圧性を除く)	24,*44	29,*51	83-85,86	87-90	90-95	90-95	410-434	410-434	393-398, 410-429	393-398, 410-429	101-102.0, 105-109, 120-125, 127,130-151
慢性リウマチ性心疾患							410-416	410-416	393-398	393-398	105-109
急性心筋梗塞※							410	410	121-122
その他の虚血性心疾患※							411-414	411-414	120,124-125
慢性非リウマチ性心内臓疾患							421	421	424	424	134-138
心筋症							425	425	142
不整脈及び伝導障害※							433	433	427.2-427.9	426-427	144-149
心不全※							422	422	428	428	150
その他の心疾患							420, 430-432, 434	420, 430-432, 434	420-423, 426-427.1, 429	415-417, 420-423, 429	101-102.0, 127,130-133, 140,151
脳血管疾患	21	26	71-73	74-75,83	82	83	330-334	330-334	430-438	430-438	160-169
くも膜下出血※							330	330	430	430	160,169.0
脳出血※							331	331	431	431-432	161,169.1
脳梗塞※							332	332	432-434, 438.a	433-434, 437.7A-B	163,169.3
その他の脳血管疾患							333-334	333-334	435-437, 438.b	435-436, 437.0-6.8.9, 438	160-169の 上記以外

注:1) 死因名は第10回分類により、死因名、小分類、中分類は、第10回分類の死因基本分類表、死因簡単分類表に対応する。

2) *印はこの番号の一部であることを示す。このため変遷を観察する場合は数字を計上していない。

3) 明治32年～39年及び明治40,41年は同じ分類を使用しているが、分類番号が異なるのは、再掲を組み入れて通し番号にしているためである。

4) ※印は死因統計において選択死因と定められている死因である。

5) 心疾患について

① 昭和41年以前は狭心症を含まず、昭和54年以降は心臓麻痺、心臓衰弱を含む。

② 平成7年以降は、心臓併発症を伴うリウマチ熱(101)・心臓併発症を伴うリウマチ性舞蹈病(102.0)を含み、肺塞栓症(126)・その他の肺血管の疾患(128)を含まない。

6) 脳血管疾患について

① 昭和25年は、B22にB46.b(352)の一部、すなわちB22の後遺症及び1年以上経過したものを含めること。

② 平成7年以降は、能動静脈奇形の破裂(160.8の一部)を含み、一過性脳虚血(G45)を含まない。